

三重県 地震被害想定結果 (数表等)

平成26年3月

三重県防災対策部

目次

I 建物被害、火災被害及び人的被害に係る想定結果.....	1
I-1. 建物被害、火災被害.....	1
I-2. 死傷者.....	17
I-3. 建物倒壊等による自力脱出困難者.....	41
I-4. 建物被害・人的被害の軽減効果.....	46
II ライフライン被害に係る想定結果.....	49
II-1. 上水道.....	49
II-2. 下水道.....	51
II-3. 電力.....	53
II-4. 通信.....	55
II-5. ガス.....	59
III 交通施設被害に係る想定結果.....	61
III-1. ヘリポート等.....	61
IV 生活支障等に係る想定結果.....	65
IV-1. 避難者.....	65
IV-2. 帰宅困難者.....	68
IV-3. 物資不足.....	69
IV-4. 医療機能支障.....	75
IV-5. 住機能支障.....	87
V 廃棄物に係る想定結果.....	103
V-1. 災害廃棄物（瓦礫）.....	103
V-2. 一般廃棄物（生活ごみ）.....	104
VI 経済被害に係る想定結果.....	105
VI-1. 直接的経済被害.....	105
VI-2. 間接的経済被害.....	106
VII その他被害に係る想定結果.....	107
VII-1. 孤立集落の発生可能性.....	107

I 建物被害、火災被害及び人的被害に係る想定結果

I-1. 建物被害、火災被害

1 過去最大クラスの南海トラフ地震

表 I-1.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における建物被害等(総括表)

項目	被害区分	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	約 23,000		
	半壊	約 66,000	約 66,000	約 66,000
液状化	全壊	約 5,900		
	半壊	約 18,000	約 18,000	約 18,000
津波	全壊	約 38,000		
	半壊	約 57,000	約 57,000	約 56,000
急傾斜地等	全壊	約 700		
	半壊	約 1,600	約 1,600	約 1,600
火災	焼失	約 70	約 80	約 2,100
建物棟数		912,441		
建物被害総数	全壊及び焼失	約 68,000	約 68,000	約 70,000
	半壊	約 142,000	約 142,000	約 141,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 7%	約 7%	約 8%
	半壊	約 16%	約 16%	約 16%
ブロック塀等転倒数		約 6,200 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 2,100 棟		

表 I-1.2 過去最大クラスの南海トラフ地震における全壊・焼失棟数(冬夕発災)

地域区分	市町名	全壊・焼失棟数					
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地等	火災	合計
北勢	桑名市	約 500	約 1,200	約 4,900	約 10	約 10	約 6,600
	いなべ市	約 10	-	-	-	-	約 20
	木曽岬町	約 50	約 50	約 2,000	-	-	約 2,100
	東員町	約 20	約 40	-	-	-	約 50
	四日市市	約 900	約 900	約 500	約 10	約 100	約 2,400
	菰野町	約 10	-	-	-	-	約 20
	朝日町	約 30	約 50	約 10	-	-	約 90
	川越町	約 80	約 200	約 900	-	-	約 1,200
	鈴鹿市	約 400	約 100	約 100	-	約 20	約 700
	亀山市	約 40	約 10	-	-	-	約 50
	(小計)	約 2,000	約 2,500	約 8,500	約 20	約 200	約 13,000
中勢	津市	約 1,100	約 600	約 2,100	約 40	約 30	約 3,900
	松阪市	約 2,100	約 800	約 1,600	約 20	約 30	約 4,600
	多気町	約 100	-	-	約 10	-	約 100
	明和町	約 400	約 100	約 1,100	-	約 10	約 1,700
	大台町	約 200	-	-	-	-	約 200
		(小計)	約 3,900	約 1,600	約 4,800	約 80	約 70
伊賀	伊賀市	約 50	約 10	-	-	-	約 60
	名張市	約 20	-	-	-	-	約 20
		(小計)	約 60	約 10	-	約 10	約 90
伊勢志摩	伊勢市	約 5,100	約 1,200	約 5,500	約 50	約 1,700	約 14,000
	鳥羽市	約 800	約 40	約 2,000	約 90	約 10	約 2,900
	志摩市	約 4,200	約 80	約 3,800	約 90	約 60	約 8,200
	玉城町	約 300	約 10	-	-	約 10	約 400
	南伊勢町	約 1,600	約 200	約 3,600	約 100	約 20	約 5,500
	大紀町	約 300	-	約 800	約 30	-	約 1,100
	度会町	約 200	-	-	約 10	-	約 200
		(小計)	約 12,000	約 1,500	約 16,000	約 400	約 1,800
東紀州	尾鷲市	約 600	-	約 4,300	約 50	-	約 5,000
	紀北町	約 1,200	約 200	約 4,300	約 50	-	約 5,700
	熊野市	約 1,000	約 30	約 400	約 70	約 20	約 1,500
	御浜町	約 1,200	約 30	約 20	約 10	約 10	約 1,300
	紀宝町	約 800	約 20	約 10	約 20	約 10	約 900
		(小計)	約 4,800	約 300	約 9,100	約 200	約 40
県計		約 23,000	約 5,900	約 38,000	約 700	約 2,100	約 70,000

-:わずか(5未満)[以降同じ]

表 I-1.3 (参考) 既往の想定結果

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地 崩壊	火災	合計
三重県	約39,000	約10,800	約10,000	約3,400	約2,900	約66,100
内閣府	約29,700	約7,400	約3,800	約2,900	約19,800	約63,600

※三重県：平成 17 年の前回想定結果（東海・東南海・南海地震、冬 18 時発災、風速 3m/s、防潮堤等の施設をないとした場合）

※内閣府：中央防災会議東南海・南海地震等に関する専門調査会「東南海、南海地震の被害想定について」（平成 15 年 9 月 17 日）における東南海・南海地震の結果（冬 18 時発災、風速 3m/s）

表 I-1.4 過去最大クラスの南海トラフ地震における出火件数

地域区分	市町名	過去最大クラスの南海トラフ地震					
		冬・深夜		夏・昼		冬・夕	
		炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数
北勢	桑名市	-	-	-	-	-	-
	いなべ市	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	-	-	-	-	-	-
	東員町	-	-	-	-	-	-
	四日市市	-	-	-	-	-	-
	菰野町	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	-	-	-	-
	鈴鹿市	-	-	-	-	-	-
	亀山市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	約 10	-
中勢	津市	-	-	-	-	約 10	-
	松阪市	-	-	-	-	約 10	-
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	-	-	-	-	-	-
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	約 10	-
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	-	-	約 10	-	約 10	約 10
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	約 10	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-	-	-	-
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 10	-	約 10	-	約 30	約 10
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	約 10	-
県計		約 20	-	約 20	-	約 60	約 10

2 理論上最大クラスの南海トラフ地震

表 I-1.5 理論上最大クラスの南海トラフ地震における市町ごとの全壊・焼失棟数の最大値

地域区分	市町名	全壊・焼失棟数					全壊・焼失棟数の市町計が最大となるケース			
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地等	火災	合計	地震ケース	津波ケース	季節・時間帯
北勢	桑名市	約 5,500	約 1,200	約 5,600	約 20	約 500	約 13,000	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・夕
	いなべ市	約 500	-	-	約 10	約 10	約 600	陸側ケース	-	冬・夕
	木曽岬町	約 700	約 50	約 1,700	-	-	約 2,400	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・夕
	東員町	約 500	約 40	-	-	約 20	約 600	陸側ケース	-	冬・夕
	四日市市	約 19,000	約 900	約 700	約 40	約 10,000	約 31,000	陸側ケース	津波ケース①	冬・夕
	菟野町	約 500	約 10	-	-	約 10	約 600	陸側ケース	-	冬・夕
	朝日町	約 400	約 50	約 30	-	約 70	約 500	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・夕
	川越町	約 800	約 200	約 1,200	-	約 90	約 2,300	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・夕
	鈴鹿市	約 9,400	約 100	約 600	約 10	約 400	約 11,000	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・夕
	亀山市	約 1,400	約 10	-	約 20	約 20	約 1,400	陸側ケース	-	冬・夕
中勢	津市	約 18,000	約 700	約 5,600	約 100	約 9,000	約 32,000	陸側ケース	津波ケース①	冬・夕
	松阪市	約 22,000	約 900	約 2,300	約 40	約 7,300	約 32,000	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・夕
	多気町	約 2,200	-	-	約 20	約 200	約 2,300	陸側ケース	-	冬・夕
	明和町	約 4,300	約 100	約 800	-	約 600	約 5,600	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・夕
	大台町	約 1,600	-	-	-	約 10	約 1,600	陸側ケース	-	冬・夕
伊賀	伊賀市	約 1,900	約 20	-	約 40	約 20	約 1,900	陸側ケース	-	冬・夕
	名張市	約 600	-	-	約 10	約 10	約 600	陸側ケース	-	冬・夕
伊勢志摩	伊勢市	約 32,000	約 1,300	約 2,800	約 70	約 5,500	約 41,000	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・夕
	鳥羽市	約 4,200	約 40	約 1,800	約 100	約 100	約 6,200	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・夕
	志摩市	約 15,000	約 80	約 4,500	約 100	約 400	約 20,000	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・夕
	玉城町	約 2,800	約 10	-	-	約 80	約 2,900	陸側ケース	-	冬・夕
	南伊勢町	約 5,100	約 200	約 3,100	約 100	約 100	約 8,500	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・夕
	大紀町	約 1,800	-	約 800	約 40	約 10	約 2,600	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・夕
	度会町	約 1,500	-	-	約 10	約 30	約 1,500	陸側ケース	-	冬・夕
	尾鷲市	約 6,100	-	約 2,900	約 80	約 600	約 9,500	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・夕
東紀州	紀北町	約 4,400	約 200	約 4,300	約 70	約 50	約 9,000	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・夕
	熊野市	約 4,400	約 30	約 500	約 90	約 100	約 5,200	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・夕
	御浜町	約 2,700	約 30	約 300	約 10	約 20	約 3,100	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・夕
	紀宝町	約 1,000	約 20	約 400	約 30	約 20	約 1,500	陸側ケース	津波ケース⑩	冬・夕
	県計	約 170,000	約 6,200	約 37,000	約 1,100	約 35,000	約 248,000	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・夕

※固定資産課税台帳（平成 24 年 4 月 1 日現在）の建物データに基づき想定

注 1) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

注 2) それぞれ津波 5 ケース（①⑥⑦⑨⑩）の組合せのうち要因ごとの最大値を抽出した数値を記載している。したがって、合計は本表の市町毎または想定項目の合計と一致するものではない。

表 I-1.6 （参考）津波ケース毎の県計値～地震動：陸側ケース、冬夕発災～

	全壊・焼失棟数					
	揺れ	液状化	津波	急傾斜地等	火災	合計
津波ケース①	約 170,000	約 6,200	約 36,000	約 1,100	約 34,000	約 247,000
津波ケース⑥	約 170,000	約 6,200	約 36,000	約 1,100	約 34,000	約 248,000
津波ケース⑦	約 170,000	約 6,200	約 37,000	約 1,100	約 34,000	約 248,000
津波ケース⑨	約 170,000	約 6,200	約 32,000	約 1,100	約 34,000	約 244,000
津波ケース⑩	約 170,000	約 6,200	約 24,000	約 1,100	約 35,000	約 237,000

表 I-1.7 （参考）内閣府の想定結果〔平成 24 年 8 月 29 日公表〕

南海トラフ巨大地震（地震動：陸側ケース、津波ケース①）〔冬夕発災、風速 8m/s〕

	揺れ	液状化	津波	急傾斜地崩壊	火災	合計	（参考）堤防・水門の機能不全による増分
三重県	約 163,000	約 6,500	約 24,000	約 800	約 45,000	約 239,000	約 3,200
全国計	約 1,346,000	約 134,000	約 146,000	約 6,500	約 750,000	約 2,382,000	約 21,000

表 I-1.8 理論上最大クラスの南海トラフ地震における建物被害等(総括表)
 [地震動:陸側ケース、津波:ケース⑦]

項目	被害区分	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	約 170,000		
	半壊	約 151,000	約 150,000	約 144,000
液状化	全壊	約 6,200		
	半壊	約 12,000	約 12,000	約 11,000
津波	全壊	約 37,000		
	半壊	約 37,000	約 37,000	約 34,000
急傾斜地等	全壊	約 1,100		
	半壊	約 2,500	約 2,500	約 2,500
火災	焼失	約 12,000	約 14,000	約 34,000
建物棟数		912,441		
建物被害総数	全壊及び焼失	約 226,000	約 228,000	約 248,000
	半壊	約 202,000	約 201,000	約 191,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 25%	約 25%	約 27%
	半壊	約 22%	約 22%	約 21%
ブロック塀等転倒数		約 26,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 44,000 棟		

※ブロック塀は、愛知県被害想定（2003）における愛知県でのサンプル調査に基づき、固定資産課税台帳による住宅棟数（平成 24 年 4 月 1 日現在）から推定

※落下危険性のある落下物を保有する建物棟数比率は東京都被害想定（1997）に基づく。

表 I-1.9 理論上最大クラスの南海トラフ地震における全壊・焼失棟数(冬夕発災)

〔地震動:陸側ケース、津波:ケース⑦〕

地域区分	市町名	全壊・焼失棟数					
		揺れ	液状化	津波	急傾斜地等	火災	合計
北勢	桑名市	約 5,500	約 1,200	約 5,600	約 20	約 400	約 13,000
	いなべ市	約 500	-	-	約 10	約 10	約 600
	木曽岬町	約 700	約 50	約 1,700	-	-	約 2,400
	東員町	約 500	約 40	-	-	約 20	約 600
	四日市市	約 19,000	約 900	約 600	約 40	約 10,000	約 31,000
	菰野町	約 500	約 10	-	-	約 10	約 600
	朝日町	約 400	約 50	約 20	-	約 70	約 500
	川越町	約 800	約 200	約 1,100	-	約 80	約 2,300
	鈴鹿市	約 9,400	約 100	約 600	約 10	約 400	約 11,000
	亀山市	約 1,400	約 10	-	約 20	約 20	約 1,400
	(小計)	約 39,000	約 2,600	約 9,700	約 100	約 11,000	約 63,000
中勢	津市	約 18,000	約 700	約 5,100	約 100	約 8,500	約 32,000
	松阪市	約 22,000	約 900	約 2,100	約 40	約 7,200	約 32,000
	多気町	約 2,200	-	-	約 20	約 200	約 2,300
	明和町	約 4,300	約 100	約 300	-	約 500	約 5,300
	大台町	約 1,600	-	-	-	約 10	約 1,600
	(小計)	約 48,000	約 1,700	約 7,500	約 200	約 16,000	約 73,000
	伊賀	伊賀市	約 1,900	約 20	-	約 40	約 20
名張市	約 600	-	-	約 10	約 10	約 600	
(小計)	約 2,400	約 20	-	約 50	約 30	約 2,500	
伊勢志摩	伊勢市	約 32,000	約 1,300	約 2,100	約 70	約 5,100	約 41,000
	鳥羽市	約 4,200	約 40	約 1,300	約 100	約 80	約 5,800
	志摩市	約 15,000	約 80	約 4,500	約 100	約 300	約 20,000
	玉城町	約 2,800	約 10	-	-	約 80	約 2,900
	南伊勢町	約 5,100	約 200	約 3,100	約 100	約 60	約 8,500
	大紀町	約 1,800	-	約 800	約 40	約 10	約 2,600
	度会町	約 1,500	-	-	約 10	約 30	約 1,500
	(小計)	約 63,000	約 1,600	約 12,000	約 500	約 5,600	約 82,000
東紀州	尾鷲市	約 6,100	-	約 2,900	約 80	約 300	約 9,500
	紀北町	約 4,400	約 200	約 4,300	約 70	約 30	約 9,000
	熊野市	約 4,400	約 30	約 300	約 90	約 100	約 5,000
	御浜町	約 2,700	約 30	約 60	約 10	約 20	約 2,900
	紀宝町	約 1,000	約 20	約 200	約 30	約 20	約 1,300
	(小計)	約 19,000	約 300	約 7,900	約 300	約 500	約 28,000
県計		約 170,000	約 6,200	約 37,000	約 1,100	約 34,000	約 248,000

表 I-1.10 理論上最大クラスの南海トラフ地震における出火件数
 [地震動:陸側ケース、津波:ケース⑦]

地域区分	市町名	理論上最大クラスの南海トラフ地震					
		冬・深夜		夏・昼		冬・夕	
		炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数
北勢	桑名市	-	-	-	-	約 10	約 10
	いなべ市	-	-	-	-	-	-
	木曾岬町	-	-	-	-	-	-
	東員町	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約 20	約 10	約 20	約 20	約 50	約 50
	菰野町	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	-	-	-	-
	鈴鹿市	約 10	約 10	約 10	約 10	約 20	約 20
	亀山市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 40	約 20	約 40	約 30	約 100	約 80
中勢	津市	約 20	約 10	約 20	約 10	約 50	約 40
	松阪市	約 20	約 10	約 30	約 20	約 60	約 50
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	-	-	-	-	約 10	約 10
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 40	約 20	約 50	約 30	約 100	約 100
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	約 10	-
伊勢志摩	伊勢市	約 40	約 30	約 50	約 40	約 90	約 90
	鳥羽市	-	-	-	-	約 10	約 10
	志摩市	約 10	約 10	約 10	約 10	約 30	約 20
	玉城町	-	-	-	-	約 10	約 10
	南伊勢町	-	-	-	-	約 10	約 10
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 60	約 40	約 80	約 60	約 200	約 100
東紀州	尾鷲市	約 10	-	約 10	-	約 10	約 10
	紀北町	-	-	-	-	約 10	約 10
	熊野市	-	-	-	-	約 10	約 10
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 20	約 10	約 20	約 10	約 40	約 30
県計		約 200	約 100	約 200	約 100	約 400	約 300

3 養老-桑名-四日市断層帯

表 I-1.11 養老-桑名-四日市断層帯の地震における建物被害等(総括表)

項目	被害区分	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	約 96,000		
	半壊	約 92,000	約 92,000	約 88,000
液状化	全壊	約 5,500		
	半壊	約 16,000	約 16,000	約 15,000
津波	全壊	-		
	半壊	-	-	-
急傾斜地等	全壊	約 400		
	半壊	約 800	約 800	約 800
火災	焼失	約 8,400	約 9,300	約 19,000
建物棟数		912,441		
建物被害総数	全壊及び焼失	約 110,000	約 111,000	約 120,000
	半壊	約 108,000	約 108,000	約 104,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 12%	約 12%	約 13%
	半壊	約 12%	約 12%	約 11%
ブロック塀等転倒数		約 14,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 23,000 棟		

表 I-1.12 養老-桑名-四日市断層帯の地震における全壊・焼失棟数(冬夕発災)

地域区分	市町名	全壊・焼失棟数				
		揺れ	液状化	急傾斜地等	火災	合計
北勢	桑名市	約 22,000	約 1,300	約 20	約 2,100	約 26,000
	いなべ市	約 4,400	約 10	約 10	約 50	約 4,500
	木曾岬町	約 1,000	約 50	-	約 40	約 1,100
	東員町	約 2,600	約 40	-	約 100	約 2,800
	四日市市	約 39,000	約 1,000	約 40	約 15,000	約 55,000
	菰野町	約 2,100	約 10	約 10	約 60	約 2,200
	朝日町	約 1,400	約 50	-	約 200	約 1,700
	川越町	約 2,000	約 200	-	約 200	約 2,400
	鈴鹿市	約 16,000	約 100	約 10	約 600	約 16,000
	亀山市	約 2,200	約 10	約 20	約 60	約 2,200
	(小計)	約 93,000	約 2,700	約 100	約 18,000	約 114,000
中勢	津市	約 2,500	約 700	約 70	約 300	約 3,500
	松阪市	約 100	約 800	約 10	約 10	約 900
	多気町	-	-	約 10	-	約 10
	明和町	約 10	約 100	-	-	約 100
	大台町	-	-	-	-	-
	(小計)	約 2,600	約 1,600	約 90	約 300	約 4,500
伊賀	伊賀市	約 70	約 10	約 30	-	約 100
	名張市	-	-	約 10	-	約 10
	(小計)	約 70	約 10	約 30	-	約 100
伊勢志摩	伊勢市	約 40	約 1,100	約 30	-	約 1,200
	鳥羽市	-	約 20	約 30	-	約 50
	志摩市	-	約 40	約 20	-	約 60
	玉城町	-	約 10	-	-	約 10
	南伊勢町	-	約 60	約 30	-	約 90
	大紀町	-	-	約 10	-	約 10
	度会町	-	-	-	-	-
	(小計)	約 40	約 1,200	約 100	約 10	約 1,400
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-
	紀北町	-	約 10	-	-	約 10
	熊野市	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-
	(小計)	-	約 10	-	-	約 10
県計		約 96,000	約 5,500	約 400	約 19,000	約 120,000

表 I-1.13 養老-桑名-四日市断層帯の地震における出火件数

地域区分	市町名	養老-桑名-四日市断層帯					
		冬・深夜		夏・昼		冬・夕	
		炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数
北勢	桑名市	約 20	約 20	約 30	約 20	約 60	約 50
	いなべ市	-	-	-	-	約 10	約 10
	木曽岬町	-	-	-	-	-	-
	東員町	-	-	-	-	約 10	-
	四日市市	約 40	約 40	約 50	約 40	約 100	約 100
	菰野町	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	-	-	-	-
	鈴鹿市	約 20	約 10	約 20	約 10	約 40	約 40
	亀山市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 90	約 70	約 100	約 90	約 200	約 200
中勢	津市	-	-	-	-	約 10	-
	松阪市	-	-	-	-	-	-
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	-	-	-	-	-	-
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	約 10	-
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	-	-	-	-	-	-
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	-	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-	-	-	-
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
県計		約 90	約 70	約 100	約 90	約 300	約 200

4 布引山地東縁断層帯(東部)

表 I-1.14 布引山地東縁断層帯(東部)の地震における建物被害等(総括表)

項目	被害区分	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	約 65,000		
	半壊	約 99,000	約 99,000	約 94,000
液状化	全壊	約 5,900		
	半壊	約 19,000	約 19,000	約 18,000
津波	全壊	-		
	半壊	-	-	-
急傾斜地等	全壊	約 500		
	半壊	約 1,200	約 1,200	約 1,200
火災	焼失	約 6,200	約 7,700	約 22,000
建物棟数		912,441		
建物被害総数	全壊及び焼失	約 77,000	約 79,000	約 93,000
	半壊	約 119,000	約 118,000	約 113,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 8%	約 9%	約 10%
	半壊	約 13%	約 13%	約 12%
ブロック塀等転倒数		約 12,000 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 9,900 棟		

表 I-1.15 布引山地東縁断層帯（東部）の地震における全壊・焼失棟数（冬夕発災）

地域区分	市町名	全壊・焼失棟数				
		揺れ	液状化	急傾斜地等	火災	合計
北勢	桑名市	約 900	約 1,200	約 10	約 20	約 2,200
	いなべ市	約 10	-	約 10	-	約 30
	木曾岬町	約 70	約 50	-	-	約 100
	東員町	約 30	約 40	-	-	約 70
	四日市市	約 9,000	約 900	約 30	約 5,300	約 15,000
	菰野町	約 80	約 10	-	-	約 90
	朝日町	約 90	約 50	-	約 30	約 200
	川越町	約 300	約 200	-	約 50	約 600
	鈴鹿市	約 15,000	約 100	約 10	約 600	約 16,000
	亀山市	約 800	約 10	約 20	約 10	約 800
	(小計)	約 27,000	約 2,600	約 80	約 6,000	約 35,000
中勢	津市	約 19,000	約 700	約 100	約 10,000	約 29,000
	松阪市	約 16,000	約 900	約 30	約 6,000	約 23,000
	多気町	約 1,000	-	約 20	約 60	約 1,100
	明和町	約 400	約 100	-	約 80	約 600
	大台町	約 300	-	-	-	約 300
	(小計)	約 37,000	約 1,700	約 200	約 16,000	約 55,000
伊賀	伊賀市	約 30	約 10	約 30	-	約 70
	名張市	約 10	-	約 10	-	約 20
	(小計)	約 40	約 10	約 30	-	約 90
伊勢志摩	伊勢市	約 800	約 1,200	約 40	約 20	約 2,000
	鳥羽市	-	約 30	約 40	-	約 70
	志摩市	-	約 70	約 40	-	約 100
	玉城町	約 100	約 10	-	-	約 100
	南伊勢町	約 20	約 200	約 70	-	約 200
	大紀町	約 200	-	約 20	-	約 200
	度会町	約 50	-	約 10	-	約 60
	(小計)	約 1,200	約 1,400	約 200	約 20	約 2,800
東紀州	尾鷲市	-	-	約 10	-	約 20
	紀北町	-	約 100	約 20	-	約 200
	熊野市	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-
	(小計)	-	約 100	約 40	-	約 200
県計		約 65,000	約 5,900	約 500	約 22,000	約 93,000

表 I-1.16 布引山地東縁断層帯（東部）の地震における出火件数

地域区分	市町名	布引山地東縁断層帯（東部）					
		冬・深夜		夏・昼		冬・夕	
		炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数
北勢	桑名市	-	-	-	-	-	-
	いなべ市	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	-	-	-	-	-	-
	東員町	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約 10	-	約 10	約 10	約 20	約 20
	菰野町	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	-	-	-	-
	鈴鹿市	約 20	約 10	約 20	約 10	約 40	約 40
	亀山市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 30	約 20	約 30	約 20	約 70	約 60
中勢	津市	約 20	約 10	約 20	約 10	約 60	約 50
	松阪市	約 10	約 10	約 20	約 10	約 40	約 30
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	-	-	-	-	-	-
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 40	約 20	約 40	約 20	約 100	約 80
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	-	-	-	-	-	-
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	-	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-	-	-	-
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
県計		約 60	約 30	約 70	約 40	約 200	約 100

5 頓宮断層

表 I-1.17 頓宮断層の地震における建物被害等(総括表)

項目	被害区分	冬・深夜	夏・昼	冬・夕
地震動	全壊	約 4,700		
	半壊	約 13,000	約 13,000	約 13,000
液状化	全壊	約 3,900		
	半壊	約 15,000	約 15,000	約 15,000
津波	全壊	-		
	半壊	-	-	-
急傾斜地等	全壊	約 200		
	半壊	約 600	約 600	約 600
火災	焼失	約 20	約 20	約 70
建物棟数		912,441		
建物被害総数	全壊及び焼失	約 8,900	約 8,900	約 8,900
	半壊	約 28,000	約 28,000	約 28,000
建物被害率	全壊及び焼失	約 1%	約 1%	約 1%
	半壊	約 3%	約 3%	約 3%
ブロック塀等転倒数		約 800 件		
屋外落下物が発生する建物数		約 300 棟		

表 I-1.18 頓宮断層の地震における全壊・焼失棟数(冬夕発災)

地域区分	市町名	全壊・焼失棟数				
		揺れ	液状化	急傾斜地等	火災	合計
北勢	桑名市	約 10	約 1,000	約 10	-	約 1,000
	いなべ市	-	-	-	-	約 10
	木曾岬町	-	約 40	-	-	約 40
	東員町	-	約 30	-	-	約 30
	四日市市	約 20	約 600	約 10	約 10	約 700
	菰野町	-	-	-	-	約 10
	朝日町	-	約 30	-	-	約 30
	川越町	-	約 200	-	-	約 200
	鈴鹿市	約 10	約 60	-	-	約 80
	亀山市	約 30	約 10	約 10	-	約 50
	(小計)	約 70	約 1,900	約 50	約 20	約 2,100
中勢	津市	約 100	約 600	約 70	約 10	約 800
	松阪市	約 20	約 700	約 10	-	約 700
	多気町	-	-	-	-	-
	明和町	-	約 60	-	-	約 60
	大台町	-	-	-	-	-
	(小計)	約 100	約 1,300	約 90	約 20	約 1,500
伊賀	伊賀市	約 4,400	約 20	約 40	約 30	約 4,500
	名張市	約 100	-	約 10	-	約 100
	(小計)	約 4,500	約 20	約 50	約 30	約 4,600
伊勢志摩	伊勢市	-	約 600	約 10	-	約 600
	鳥羽市	-	-	約 10	-	約 10
	志摩市	-	約 10	-	-	約 10
	玉城町	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	約 30	約 10	-	約 40
	大紀町	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-
	(小計)	-	約 600	約 50	-	約 700
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-
	紀北町	-	約 10	-	-	約 10
	熊野市	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-
	(小計)	-	約 10	-	-	約 10
県計		約 4,700	約 3,900	約 200	約 70	約 8,900

表 I-1.19 頓宮断層の地震における出火件数

地域区分	市町名	頓宮断層					
		冬・深夜		夏・昼		冬・夕	
		炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数	炎上出火件数	残出火件数
北勢	桑名市	-	-	-	-	-	-
	いなべ市	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	-	-	-	-	-	-
	東員町	-	-	-	-	-	-
	四日市市	-	-	-	-	-	-
	菰野町	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	-	-	-	-
	鈴鹿市	-	-	-	-	-	-
	亀山市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
中勢	津市	-	-	-	-	-	-
	松阪市	-	-	-	-	-	-
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	-	-	-	-	-	-
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	約 10	-
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	約 10	-
伊勢志摩	伊勢市	-	-	-	-	-	-
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	-	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-	-	-	-
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
県計		-	-	-	-	約 10	-

I-2. 死傷者

1 過去最大クラスの南海トラフ地震

(1) 早期避難率低の場合

表 I-2.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における死者数
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波			急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
		(うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)		(うち自力 脱出困難)	(うち津波 からの逃げ 遅れ)					
北勢	桑名市	約 20	-	約 500	約 10	約 500	-	-	-	約 600
	いなべ市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	-	-	約 400	-	約 300	-	-	-	約 400
	東員町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約 40	-	約 200	約 10	約 200	-	-	-	約 200
	菰野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	約 90	約 10	約 90	-	-	-	約 100
	鈴鹿市	約 20	-	約 100	-	約 100	-	-	-	約 200
	亀山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 80	約 10	約 1,300	約 40	約 1,300	-	-	-	約 1,400
中勢	津市	約 50	約 10	約 1,300	約 30	約 1,300	-	-	-	約 1,400
	松阪市	約 100	約 10	約 1,000	約 30	約 1,000	-	-	-	約 1,100
	多気町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
	明和町	約 20	-	約 600	約 10	約 600	-	-	-	約 700
	大台町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
		(小計)	約 200	約 20	約 3,000	約 70	約 2,900	約 10	-	-
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		(小計)	-	-	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	約 300	約 10	約 3,200	約 300	約 2,900	-	-	-	約 3,500
	鳥羽市	約 50	-	約 800	約 30	約 800	約 10	-	-	約 900
	志摩市	約 300	約 10	約 3,900	約 100	約 3,800	約 10	-	-	約 4,200
	玉城町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	南伊勢町	約 100	-	約 4,700	約 60	約 4,600	約 10	-	-	約 4,800
	大紀町	約 20	-	約 1,300	-	約 1,300	-	-	-	約 1,300
	度会町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
		(小計)	約 700	約 30	約 14,000	約 500	約 13,000	約 30	-	-
東紀州	尾鷲市	約 40	-	約 5,600	約 20	約 5,600	-	-	-	約 5,700
	紀北町	約 70	-	約 7,800	約 70	約 7,800	約 10	-	-	約 7,900
	熊野市	約 70	-	約 400	-	約 400	約 10	-	-	約 500
	御浜町	約 80	-	約 20	-	約 20	-	-	-	約 100
	紀宝町	約 60	-	約 40	-	約 40	-	-	-	約 100
		(小計)	約 300	約 10	約 14,000	約 100	約 14,000	約 20	-	-
県計		約 1,400	約 70	約 32,000	約 700	約 31,000	約 60	-	-	約 34,000

冬深夜発災ケース

表 I-2.2 過去最大クラスの南海トラフ地震における重傷者数
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
			(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
北勢	桑名市	約 50	約 10	-	-	-	-	約 50
	いなべ市	-	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	約 10	-	-	-	-	-	約 10
	東員町	-	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約 100	約 30	約 20	-	-	-	約 100
	菰野町	-	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-	-
	川越町	約 10	-	-	-	-	-	約 10
	鈴鹿市	約 40	約 20	約 10	-	-	-	約 60
	亀山市	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 200	約 70	約 40	-	-	-	約 300
中勢	津市	約 100	約 40	約 30	-	-	-	約 100
	松阪市	約 200	約 40	約 10	-	-	-	約 200
	多気町	約 10	-	-	-	-	-	約 10
	明和町	約 40	約 10	約 10	-	-	-	約 50
	大台町	約 20	-	-	-	-	-	約 20
	(小計)	約 400	約 80	約 50	-	-	-	約 500
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 10	-	-	-	-	-	約 10
伊勢志摩	伊勢市	約 500	約 60	約 40	-	-	-	約 600
	鳥羽市	約 80	約 10	約 20	-	-	-	約 100
	志摩市	約 400	約 40	約 70	-	-	-	約 500
	玉城町	約 30	-	-	-	-	-	約 30
	南伊勢町	約 200	約 10	約 30	約 10	-	-	約 200
	大紀町	約 30	-	-	-	-	-	約 30
	度会町	約 20	-	-	-	-	-	約 20
	(小計)	約 1,300	約 100	約 200	約 20	-	-	約 1,400
東紀州	尾鷲市	約 60	-	約 60	-	-	-	約 100
	紀北町	約 100	約 10	約 80	-	-	-	約 200
	熊野市	約 100	約 10	約 10	-	-	-	約 100
	御浜町	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
	紀宝町	約 60	約 10	約 10	-	-	-	約 80
	(小計)	約 400	約 40	約 200	約 10	-	-	約 600
県計	約 2,300	約 300	約 400	約 40	-	-	約 2,800	

冬深夜発災ケース

表 I-2.3 過去最大クラスの南海トラフ地震における軽傷者数
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波	急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
			(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)					
北勢	桑名市	約 500	約 60	-	-	-	-	約 500
	いなべ市	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
	木曽岬町	約 50	-	-	-	-	-	約 50
	東員町	約 30	約 10	-	-	-	-	約 30
	四日市市	約 1,100	約 100	約 50	-	-	-	約 1,100
	菰野町	約 40	約 10	-	-	-	-	約 40
	朝日町	約 40	-	-	-	-	-	約 40
	川越町	約 80	約 10	-	-	-	-	約 90
	鈴鹿市	約 700	約 90	約 30	-	-	-	約 700
	亀山市	約 90	約 20	-	-	-	-	約 90
	(小計)	約 2,700	約 400	約 80	-	-	-	約 2,700
中勢	津市	約 1,400	約 200	約 60	-	-	-	約 1,500
	松阪市	約 1,800	約 100	約 20	-	-	-	約 1,800
	多気町	約 200	約 10	-	-	-	-	約 200
	明和町	約 400	約 20	約 20	-	-	-	約 400
	大台町	約 200	約 10	-	-	-	-	約 200
	(小計)	約 3,900	約 300	約 100	-	-	-	約 4,000
伊賀	伊賀市	約 90	約 20	-	-	-	-	約 90
	名張市	約 40	約 20	-	-	-	-	約 40
	(小計)	約 100	約 40	-	-	-	-	約 100
伊勢志摩	伊勢市	約 2,300	約 200	約 80	-	-	-	約 2,400
	鳥羽市	約 400	約 30	約 30	-	-	-	約 400
	志摩市	約 1,700	約 100	約 100	-	-	-	約 1,800
	玉城町	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
	南伊勢町	約 600	約 40	約 50	約 10	-	-	約 700
	大紀町	約 200	約 10	約 10	-	-	-	約 200
	度会町	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 5,600	約 500	約 300	約 20	-	-	約 5,900
東紀州	尾鷲市	約 500	約 20	約 100	-	-	-	約 600
	紀北町	約 600	約 40	約 200	-	-	-	約 800
	熊野市	約 600	約 30	約 20	-	-	-	約 600
	御浜町	約 300	約 30	-	-	-	-	約 300
	紀宝町	約 300	約 30	約 30	-	-	-	約 300
	(小計)	約 2,300	約 100	約 300	約 10	-	-	約 2,600
県計		約 15,000	約 1,400	約 800	約 40	-	-	約 15,000

冬深夜発災ケース

表 I-2.4 (参考) 既往の被害想定における死者数

	建物被害	急傾斜地崩壊	火災	津波	合計
三重県	約 1,700			約 3,100	約 4,800
内閣府	約 1,300	約 300	約 20	約 1,000	約 2,600

※三重県：平成 17 年の前回想定結果（東海・東南海・南海地震、冬夕発災、風速 3m/s、防潮堤等の施設をないとした場合）

※内閣府：中央防災会議東南海・南海地震等に関する専門調査会「東南海、南海地震の被害想定について」（平成 15 年 9 月 17 日）における東南海・南海地震の結果（冬 5 時発災、風速 3m/s）

(2) 早期避難率高+呼びかけの場合

表 I-2.5 過去最大クラスの南海トラフ地震における死者数
〔早期避難率高+呼びかけ〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波			急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	-	(うち自力脱出困難)	(うち津波からの逃げ遅れ)	-				
北勢	桑名市	約 20	-	約 100	約 10	約 100	-	-	-	約 200
	いなべ市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	木曾岬町	-	-	約 100	-	約 100	-	-	-	約 100
	東員町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約 40	-	約 30	約 10	約 20	-	-	-	約 60
	菰野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	約 40	約 10	約 30	-	-	-	約 40
	鈴鹿市	約 20	-	約 10	-	約 10	-	-	-	約 30
	亀山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小計)	約 80	約 10	約 300	約 40	約 300	-	-	-	約 400	
中勢	津市	約 50	約 10	約 70	約 30	約 40	-	-	-	約 100
	松阪市	約 100	約 10	約 70	約 30	約 40	-	-	-	約 200
	多気町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
	明和町	約 20	-	約 30	約 10	約 20	-	-	-	約 50
	大台町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
	(小計)	約 200	約 20	約 200	約 70	約 100	約 10	-	-	約 400
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	約 300	約 10	約 500	約 300	約 300	-	-	-	約 800
	鳥羽市	約 50	-	約 200	約 30	約 100	約 10	-	-	約 200
	志摩市	約 300	約 10	約 1,900	約 100	約 1,800	約 10	-	-	約 2,200
	玉城町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	南伊勢町	約 100	-	約 1,800	約 60	約 1,700	約 10	-	-	約 1,900
	大紀町	約 20	-	約 500	-	約 500	-	-	-	約 500
	度会町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
	(小計)	約 700	約 30	約 4,900	約 500	約 4,500	約 30	-	-	約 5,700
東紀州	尾鷲市	約 40	-	約 3,000	約 20	約 3,000	-	-	-	約 3,100
	紀北町	約 70	-	約 3,600	約 70	約 3,500	約 10	-	-	約 3,700
	熊野市	約 70	-	約 300	-	約 300	約 10	-	-	約 300
	御浜町	約 80	-	約 10	-	約 10	-	-	-	約 90
	紀宝町	約 60	-	約 40	-	約 40	-	-	-	約 100
	(小計)	約 300	約 10	約 6,900	約 100	約 6,800	約 20	-	-	約 7,300
県計	約 1,400	約 70	約 12,000	約 700	約 12,000	約 60	-	-	約 14,000	

冬深夜発災ケース

表 I-2.6 (参考) 既往の被害想定における死者数

	建物被害	急傾斜地崩壊	火災	津波	合計
三重県	約 1,700			約 1,000	約 2,700
内閣府	約 1,300	約 300	約 20	約 400	約 1,900

※三重県：平成 17 年の前回想定結果（東海・東南海・南海地震、冬夕発災、風速 3m/s）

※内閣府：中央防災会議東南海・南海地震等に関する専門調査会「東南海、南海地震の被害想定について」（平成 15 年 9 月 17 日）における東南海・南海地震の結果（冬 5 時発災、風速 3m/s）

(3) 全員直後避難の場合

表 I-2.7 過去最大クラスの南海トラフ地震における死者数
〔全員直後避難〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波			急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	-	(うち自力脱出困難)	(うち津波からの逃げ遅れ)	-				
北勢	桑名市	約 20	-	約 100	約 10	約 100	-	-	-	約 200
	いなべ市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	木曾岬町	-	-	約 100	-	約 100	-	-	-	約 100
	東員町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約 40	-	約 30	約 10	約 20	-	-	-	約 60
	菰野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	約 40	約 10	約 30	-	-	-	約 40
	鈴鹿市	約 20	-	約 10	-	約 10	-	-	-	約 30
	亀山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小計)	約 80	約 10	約 300	約 40	約 300	-	-	-	約 400	
中勢	津市	約 50	約 10	約 70	約 30	約 40	-	-	-	約 100
	松阪市	約 100	約 10	約 70	約 30	約 40	-	-	-	約 200
	多気町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
	明和町	約 20	-	約 20	約 10	約 10	-	-	-	約 40
	大台町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
	(小計)	約 200	約 20	約 200	約 70	約 90	約 10	-	-	約 400
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	約 300	約 10	約 400	約 300	約 200	-	-	-	約 700
	鳥羽市	約 50	-	約 50	約 30	約 20	約 10	-	-	約 100
	志摩市	約 300	約 10	約 900	約 100	約 800	約 10	-	-	約 1,200
	玉城町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	南伊勢町	約 100	-	約 300	約 60	約 200	約 10	-	-	約 400
	大紀町	約 20	-	約 60	-	約 60	-	-	-	約 80
	度会町	約 10	-	-	-	-	-	-	-	約 10
	(小計)	約 700	約 30	約 1,700	約 500	約 1,200	約 30	-	-	約 2,500
東紀州	尾鷲市	約 40	-	約 1,500	約 20	約 1,500	-	-	-	約 1,600
	紀北町	約 70	-	約 1,200	約 70	約 1,100	約 10	-	-	約 1,300
	熊野市	約 70	-	約 200	-	約 200	約 10	-	-	約 300
	御浜町	約 80	-	約 10	-	約 10	-	-	-	約 90
	紀宝町	約 60	-	約 40	-	約 40	-	-	-	約 100
	(小計)	約 300	約 10	約 3,000	約 100	約 2,900	約 20	-	-	約 3,300
県計	約 1,400	約 70	約 5,200	約 700	約 4,500	約 60	-	-	約 6,600	

冬深夜発災ケース

2 理論上最大クラスの南海トラフ地震

(1) 早期避難率低の場合

表 I-2.8 理論上最大クラスの南海トラフ地震における市町ごとの死者数の最大値
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	死者数						死者数の市町計が最大となるケース			
		建物倒壊等	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	津波	急傾斜地等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	地震ケース	津波ケース	季節・時間帯
北勢	桑名市	約 300	約 20	約 1,600	-	約 10	-	約 1,900	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・深夜
	いなべ市	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
	木曾岬町	約 30	-	約 500	-	-	-	約 500	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・深夜
	東真町	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
	四日市市	約 1,000	約 60	約 1,100	-	約 500	-	約 2,400	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	菟野町	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
	朝日町	約 20	-	約 10	-	-	-	約 30	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・深夜
	川越町	約 40	-	約 400	-	-	-	約 400	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・深夜
	鈴鹿市	約 500	約 30	約 1,300	-	約 20	-	約 1,800	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	龜山市	約 70	-	-	-	-	-	約 80	陸側ケース	-	冬・深夜
中勢	津市	約 1,100	約 60	約 4,900	約 10	約 400	-	約 6,100	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・夕
	松阪市	約 1,300	約 80	約 2,100	-	約 400	-	約 3,600	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	多気町	約 100	約 10	-	-	約 10	-	約 100	陸側ケース	-	冬・深夜
	明和町	約 300	約 10	約 700	-	約 30	-	約 1,000	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・深夜
	大台町	約 100	-	-	-	-	-	約 100	陸側ケース	-	冬・深夜
伊賀	伊賀市	約 70	-	-	-	-	-	約 70	陸側ケース	-	冬・深夜
	名張市	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
伊勢志摩	伊勢市	約 1,700	約 100	約 6,000	約 10	約 400	-	約 7,900	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・深夜
	鳥羽市	約 300	約 10	約 700	約 10	約 10	-	約 900	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・深夜
	志摩市	約 1,000	約 40	約 7,700	約 10	約 30	-	約 8,700	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	玉城町	約 200	約 10	-	-	-	-	約 200	陸側ケース	-	冬・深夜
	南伊勢町	約 300	約 10	約 4,100	約 10	約 10	-	約 4,400	陸側ケース	津波ケース⑨	冬・深夜
	大紀町	約 100	-	約 1,200	-	-	-	約 1,300	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	度会町	約 90	約 10	-	-	-	-	約 100	陸側ケース	-	冬・深夜
東紀州	尾鷲市	約 400	約 20	約 6,300	約 10	約 50	-	約 6,700	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	紀北町	約 300	約 10	約 7,900	約 10	-	-	約 8,100	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	熊野市	約 300	約 10	約 800	約 10	約 10	-	約 1,100	陸側ケース	津波ケース⑩	冬・深夜
	御浜町	約 200	約 10	約 400	-	-	-	約 600	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・深夜
	紀宝町	約 70	-	約 900	-	-	-	約 1,000	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・深夜
県計	約 9,700	約 500	約 42,000	約 100	約 1,900	約 10	約 53,000	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・深夜	

※人口は平成 22 年国勢調査等に基づく。

注 1) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

注 2) それぞれ津波 3 ケース (①⑥⑦⑨⑩) の組合せのうちの最大値を抽出した数値を記載している。したがって、合計は本表の市町毎または想定項目の合計と一致するものではない。

表 I-2.9 (参考) 津波ケース毎の県計値～地震動：陸側ケース、冬深夜発災～
〔早期避難率低〕

市町名	死者数						合計
	建物倒壊等	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	津波	急傾斜地等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	
津波ケース①	約 9,700	約 500	約 41,000	約 100	約 900	-	約 52,000
津波ケース⑥	約 9,700	約 500	約 42,000	約 100	約 900	-	約 53,000
津波ケース⑦	約 9,700	約 500	約 42,000	約 100	約 900	-	約 52,000
津波ケース⑨	約 9,700	約 500	約 38,000	約 100	約 900	-	約 48,000
津波ケース⑩	約 9,700	約 500	約 29,000	約 100	約 900	-	約 40,000

表 I-2.10 (参考) 内閣府の想定結果〔平成 24 年 8 月 29 日公表〕
 南海トラフ巨大地震(地震動: 陸側ケース、津波ケース①)
 〔冬深夜発災、風速 8m/s、早期避難率低の場合〕

	建物倒壊等		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考) 堤防・水門が機能不全による増分
	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)							
三重県	約 9,800	約 600	約 32,000	約 60	約 900	-	約 43,000	約 1,800
全国計	約 82,000	約 6,200	約 230,000	約 600	約 10,000	約 30	約 323,000	約 23,000

表 I-2.11 理論上最大クラスの南海トラフ地震における死者数
 〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波			急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)		(うち自力脱出困難)	(うち津波からの逃げ遅れ)					
北勢	桑名市	約 300	約 20	約 1,600	約 200	約 1,400	-	-	-	約 1,900
	いなべ市	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	木曽岬町	約 30	-	約 400	約 60	約 300	-	-	-	約 400
	東員町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	四日市市	約 1,000	約 60	約 800	約 300	約 500	-	約 300	-	約 2,100
	菰野町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	朝日町	約 20	-	約 10	約 10	-	-	-	-	約 30
	川越町	約 40	-	約 300	約 100	約 200	-	-	-	約 400
	鈴鹿市	約 500	約 30	約 600	約 100	約 400	-	約 10	-	約 1,100
	亀山市	約 70	-	-	-	-	-	-	-	約 80
(小計)	約 2,000	約 100	約 3,700	約 800	約 2,900	約 10	約 300	-	約 6,000	
中勢	津市	約 1,100	約 60	約 4,000	約 900	約 3,200	約 10	約 100	-	約 5,200
	松阪市	約 1,300	約 80	約 1,900	約 400	約 1,500	-	約 200	-	約 3,400
	多気町	約 100	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
	明和町	約 300	約 10	約 600	約 100	約 500	-	約 20	-	約 900
	大台町	約 100	-	-	-	-	-	-	-	約 100
(小計)	約 2,800	約 200	約 6,600	約 1,400	約 5,200	約 20	約 400	-	約 9,800	
伊賀	伊賀市	約 70	-	-	-	-	-	-	-	約 70
	名張市	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	(小計)	約 90	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
伊勢志摩	伊勢市	約 1,700	約 100	約 5,000	約 1,700	約 3,300	約 10	約 200	-	約 7,000
	鳥羽市	約 300	約 10	約 700	約 200	約 500	約 10	-	-	約 900
	志摩市	約 1,000	約 40	約 5,900	約 400	約 5,500	約 10	約 10	-	約 6,900
	玉城町	約 200	約 10	-	-	-	-	-	-	約 200
	南伊勢町	約 300	約 10	約 3,700	約 200	約 3,400	約 10	-	-	約 4,000
	大紀町	約 100	-	約 1,100	約 20	約 1,100	-	-	-	約 1,200
	度会町	約 90	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
(小計)	約 3,600	約 200	約 16,000	約 2,600	約 14,000	約 40	約 300	-	約 20,000	
東紀州	尾鷲市	約 400	約 20	約 5,900	約 300	約 5,700	約 10	約 20	-	約 6,400
	紀北町	約 300	約 10	約 7,800	約 300	約 7,500	約 10	-	-	約 8,100
	熊野市	約 300	約 10	約 700	約 50	約 700	約 10	-	-	約 1,000
	御浜町	約 200	約 10	約 400	約 20	約 400	-	-	-	約 600
	紀宝町	約 70	-	約 900	約 10	約 900	-	-	-	約 1,000
	(小計)	約 1,200	約 50	約 16,000	約 700	約 15,000	約 20	約 30	-	約 17,000
県計	約 9,700	約 500	約 42,000	約 5,400	約 37,000	約 100	約 900	-	約 53,000	

津波ケース⑥、冬深夜発災ケース

表 1-2.12 理論上最大クラスの南海トラフ地震における重傷者数
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波	急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
			(うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)					
北勢	桑名市	約 600	約 60	約 10	-	-	-	約 600
	いなべ市	約 60	約 10	-	-	-	-	約 60
	木曽岬町	約 70	約 10	-	-	-	-	約 70
	東員町	約 50	約 10	-	-	-	-	約 50
	四日市市	約 1,900	約 200	約 40	-	約 50	-	約 2,000
	菰野町	約 50	約 10	-	-	-	-	約 50
	朝日町	約 40	約 10	-	-	-	-	約 40
	川越町	約 80	約 10	-	-	-	-	約 80
	鈴鹿市	約 900	約 100	約 90	-	-	-	約 1,000
	亀山市	約 100	約 20	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 3,900	約 500	約 100	約 10	約 60	-	約 4,100
中勢	津市	約 1,700	約 300	約 200	約 10	約 30	-	約 1,900
	松阪市	約 2,200	約 300	約 50	-	約 40	-	約 2,300
	多気町	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
	明和町	約 400	約 50	約 10	-	-	-	約 500
	大台町	約 100	約 10	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 4,700	約 700	約 200	約 10	約 70	-	約 5,000
伊賀	伊賀市	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
	名張市	約 50	約 10	-	-	-	-	約 50
	(小計)	約 200	約 30	-	-	-	-	約 200
伊勢志摩	伊勢市	約 3,200	約 400	約 40	-	約 50	-	約 3,300
	鳥羽市	約 400	約 60	約 20	約 10	-	-	約 500
	志摩市	約 1,500	約 200	約 60	約 10	-	-	約 1,600
	玉城町	約 300	約 40	-	-	-	-	約 300
	南伊勢町	約 500	約 50	約 10	約 10	-	-	約 600
	大紀町	約 200	約 10	-	-	-	-	約 200
	度会町	約 100	約 20	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 6,300	約 800	約 100	約 30	約 50	-	約 6,500
東紀州	尾鷲市	約 600	約 60	約 50	-	-	-	約 700
	紀北町	約 500	約 40	約 20	-	-	-	約 500
	熊野市	約 400	約 30	約 40	-	-	-	約 500
	御浜町	約 200	約 20	約 20	-	-	-	約 300
	紀宝町	約 80	約 10	約 40	-	-	-	約 100
	(小計)	約 1,800	約 200	約 200	約 10	-	-	約 2,000
県計		約 17,000	約 2,100	約 700	約 60	約 200	-	約 18,000

津波ケース⑥、冬深夜発災ケース

表 1-2.13 理論上最大クラスの南海トラフ地震における軽傷者数
〔早期避難率低〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波	急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
			(うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)					
北勢	桑名市	約 2,100	約 200	約 10	-	-	-	約 2,100
	いなべ市	約 400	約 30	-	-	-	-	約 400
	木曽岬町	約 200	約 30	-	-	-	-	約 200
	東員町	約 300	約 30	-	-	-	-	約 300
	四日市市	約 5,600	約 900	約 80	-	約 100	-	約 5,800
	菰野町	約 500	約 30	-	-	-	-	約 500
	朝日町	約 200	約 20	-	-	-	-	約 200
	川越町	約 200	約 50	-	-	-	-	約 200
	鈴鹿市	約 3,700	約 500	約 200	-	-	-	約 3,900
	亀山市	約 800	約 70	-	-	-	-	約 800
	(小計)	約 14,000	約 1,900	約 300	約 10	約 100	-	約 14,000
中勢	津市	約 5,600	約 1,000	約 300	約 10	約 80	-	約 6,100
	松阪市	約 4,800	約 1,100	約 100	-	約 100	-	約 5,000
	多気町	約 500	約 90	-	-	-	-	約 500
	明和町	約 900	約 200	約 20	-	約 10	-	約 900
	大台町	約 400	約 50	-	-	-	-	約 400
	(小計)	約 12,000	約 2,500	約 500	約 10	約 200	-	約 13,000
伊賀	伊賀市	約 1,300	約 80	-	-	-	-	約 1,300
	名張市	約 500	約 50	-	-	-	-	約 500
	(小計)	約 1,800	約 100	-	-	-	-	約 1,800
伊勢志摩	伊勢市	約 4,300	約 1,600	約 90	-	約 100	約 10	約 4,600
	鳥羽市	約 800	約 200	約 40	約 10	-	-	約 800
	志摩市	約 2,600	約 600	約 100	約 10	約 10	-	約 2,700
	玉城町	約 500	約 200	-	-	-	-	約 500
	南伊勢町	約 900	約 200	約 30	約 10	-	-	約 900
	大紀町	約 400	約 50	-	-	-	-	約 500
	度会町	約 300	約 80	-	-	-	-	約 300
	(小計)	約 9,800	約 2,900	約 300	約 30	約 100	約 20	約 10,000
東紀州	尾鷲市	約 1,100	約 200	約 100	-	約 10	-	約 1,200
	紀北町	約 900	約 200	約 40	-	-	-	約 900
	熊野市	約 1,000	約 100	約 70	-	-	-	約 1,100
	御浜町	約 400	約 80	約 40	-	-	-	約 500
	紀宝町	約 300	約 30	約 80	-	-	-	約 400
	(小計)	約 3,800	約 600	約 300	約 10	約 10	-	約 4,100
県計		約 42,000	約 7,900	約 1,300	約 60	約 500	約 30	約 44,000

津波ケース⑥、冬深夜発災ケース

(2) 早期避難率高+呼びかけの場合

表 I-2.14 理論上最大クラスの南海トラフ地震における市町ごとの死者数の最大値
〔早期避難率高+呼びかけ〕

地域区分	市町名	死者数						死者数の市町計が最大となるケース			
		建物倒壊等	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	津波	急傾斜地等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	地震ケース	津波ケース	季節・時間帯
北勢	桑名市	約 300	約 20	約 500	-	約 10	-	約 700	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	いなべ市	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
	木曾岬町	約 30	-	約 200	-	-	-	約 200	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	東員町	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
	四日市市	約 1,000	約 60	約 300	-	約 500	-	約 1,600	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	菟野町	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
	朝日町	約 20	-	約 10	-	-	-	約 30	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	川越町	約 40	-	約 100	-	-	-	約 200	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	鈴鹿市	約 500	約 30	約 200	-	約 20	-	約 700	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	亀山市	約 70	-	-	-	-	-	約 80	陸側ケース	-	冬・深夜
中勢	津市	約 1,100	約 60	約 900	約 10	約 400	-	約 2,100	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	松阪市	約 1,300	約 80	約 500	-	約 400	-	約 1,900	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	多気町	約 100	約 10	-	-	約 10	-	約 100	陸側ケース	-	冬・深夜
	明和町	約 300	約 10	約 100	-	約 30	-	約 400	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	大台町	約 100	-	-	-	-	-	約 100	陸側ケース	-	冬・深夜
伊賀	伊賀市	約 70	-	-	-	-	-	約 70	陸側ケース	-	冬・深夜
	名張市	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
伊勢志摩	伊勢市	約 1,700	約 100	約 2,000	約 10	約 400	-	約 4,000	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	鳥羽市	約 300	約 10	約 200	約 10	約 10	-	約 500	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	志摩市	約 1,000	約 40	約 4,300	約 10	約 30	-	約 5,200	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	玉城町	約 200	約 10	-	-	-	-	約 200	陸側ケース	-	冬・深夜
	南伊勢町	約 300	約 10	約 1,600	約 10	約 10	-	約 1,900	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	大紀町	約 100	-	約 500	-	-	-	約 600	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	度会町	約 90	約 10	-	-	-	-	約 100	陸側ケース	-	冬・深夜
東紀州	尾鷲市	約 400	約 20	約 3,500	約 10	約 50	-	約 3,900	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	紀北町	約 300	約 10	約 3,800	約 10	-	-	約 4,100	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・深夜
	熊野市	約 300	約 10	約 600	約 10	約 10	-	約 900	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	御浜町	約 200	約 10	約 70	-	-	-	約 200	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・深夜
	紀宝町	約 70	-	約 800	-	-	-	約 900	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
県計	約 9,700	約 500	約 20,000	約 100	約 1,900	約 10	約 31,000	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜	

注 1) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

注 2) それぞれ津波 3 ケース (①⑥⑦) の組合せのうちの最大値を抽出した数値を記載している。したがって、合計は本表の市町毎または想定項目の合計と一致するものではない。

表 I-2.15 (参考) 津波ケース毎の県計値
～地震動：陸側ケース、冬深夜発災～〔早期避難率高+呼びかけ〕

市町名	死者数						合計
	建物倒壊等	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	津波	急傾斜地等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	
津波ケース①	約 9,700	約 500	約 18,000	約 100	約 900	-	約 28,000
津波ケース⑥	約 9,700	約 500	約 19,000	約 100	約 900	-	約 29,000
津波ケース⑦	約 9,700	約 500	約 20,000	約 100	約 900	-	約 31,000

表 I-2.16 (参考) 内閣府の想定結果〔平成 24 年 8 月 29 日公表〕
南海トラフ巨大地震(地震動：陸側ケース、津波ケース①)
〔冬深夜発災、風速 8m/s、早期避難率高+呼びかけの場合〕

	建物倒壊等		津波	急傾斜地崩壊	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	(参考) 堤防・水門が機能不全による増分
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)						
三重県	約 9,800	約 600	約 16,000	約 60	約 900	-	約 26,000	約 1,300
全国計	約 82,000	約 6,200	約 117,000	約 600	約 10,000	約 30	約 209,000	約 15,000

表 I-2.17 理論上最大クラスの南海トラフ地震における死者数(1)
〔早期避難率高＋呼びかけ〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波			急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)		(うち自力脱出困難)	(うち津波からの逃げ遅れ)					
北勢	桑名市	約 300	約 20	約 500	約 200	約 300	-	-	-	約 700
	いなべ市	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	木曾岬町	約 30	-	約 200	約 60	約 100	-	-	-	約 200
	東員町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	四日市市	約 1,000	約 60	約 300	約 300	約 20	-	約 300	-	約 1,600
	菟野町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	朝日町	約 20	-	約 10	約 10	-	-	-	-	約 30
	川越町	約 40	-	約 100	約 100	約 20	-	-	-	約 200
	鈴鹿市	約 500	約 30	約 200	約 200	約 10	-	約 10	-	約 700
	亀山市	約 70	-	-	-	-	-	-	-	約 80
(小計)	約 2,000	約 100	約 1,300	約 800	約 500	約 10	約 300	-	約 3,600	
中勢	津市	約 1,100	約 60	約 900	約 900	約 40	約 10	約 100	-	約 2,100
	松阪市	約 1,300	約 80	約 500	約 400	約 40	-	約 200	-	約 1,900
	多気町	約 100	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
	明和町	約 300	約 10	約 100	約 100	約 10	-	約 20	-	約 400
	大台町	約 100	-	-	-	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 2,800	約 200	約 1,500	約 1,400	約 80	約 20	約 400	-	約 4,700
伊賀	伊賀市	約 70	-	-	-	-	-	-	-	約 70
	名張市	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	(小計)	約 90	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
伊勢志摩	伊勢市	約 1,700	約 100	約 2,000	約 1,700	約 300	約 10	約 200	-	約 3,900
	鳥羽市	約 300	約 10	約 200	約 100	約 70	約 10	-	-	約 500
	志摩市	約 1,000	約 40	約 4,300	約 500	約 3,800	約 10	約 10	-	約 5,200
	玉城町	約 200	約 10	-	-	-	-	-	-	約 200
	南伊勢町	約 300	約 10	約 1,400	約 200	約 1,100	約 10	-	-	約 1,700
	大紀町	約 100	-	約 400	約 20	約 400	-	-	-	約 500
	度会町	約 90	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 3,600	約 200	約 8,200	約 2,600	約 5,600	約 40	約 300	-	約 12,000
東紀州	尾鷲市	約 400	約 20	約 3,500	約 300	約 3,200	約 10	約 20	-	約 3,900
	紀北町	約 300	約 10	約 3,800	約 300	約 3,500	約 10	-	-	約 4,100
	熊野市	約 300	約 10	約 600	約 30	約 600	約 10	-	-	約 900
	御浜町	約 200	約 10	約 30	約 10	約 20	-	-	-	約 200
	紀宝町	約 70	-	約 800	約 10	約 800	-	-	-	約 900
	(小計)	約 1,200	約 50	約 8,700	約 700	約 8,100	約 20	約 20	-	約 10,000
県計	約 9,700	約 500	約 20,000	約 5,500	約 14,000	約 100	約 900	-	約 31,000	

津波ケース⑦、冬深夜発災ケース

表 I-2.18 理論上最大クラスの南海トラフ地震における死者数(2)
〔早期避難率高+呼びかけ〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波			急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)		(うち自力脱出困難)	(うち津波からの逃げ遅れ)					
北勢	桑名市	約 300	約 20	約 500	約 200	約 300	-	-	-	約 700
	いなべ市	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	木曾岬町	約 30	-	約 200	約 60	約 100	-	-	-	約 200
	東員町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	四日市市	約 1,000	約 60	約 300	約 300	約 20	-	約 300	-	約 1,600
	菟野町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	朝日町	約 20	-	約 10	約 10	-	-	-	-	約 30
	川越町	約 40	-	約 100	約 100	約 20	-	-	-	約 200
	鈴鹿市	約 500	約 30	約 200	約 100	約 10	-	約 10	-	約 700
	亀山市	約 70	-	-	-	-	-	-	-	約 80
(小計)	約 2,000	約 100	約 1,300	約 800	約 500	約 10	約 300	-	約 3,600	
中勢	津市	約 1,100	約 60	約 900	約 900	約 40	約 10	約 100	-	約 2,100
	松阪市	約 1,300	約 80	約 500	約 400	約 40	-	約 200	-	約 1,900
	多気町	約 100	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
	明和町	約 300	約 10	約 100	約 100	約 30	-	約 20	-	約 400
	大台町	約 100	-	-	-	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 2,800	約 200	約 1,500	約 1,400	約 100	約 20	約 400	-	約 4,700
伊賀	伊賀市	約 70	-	-	-	-	-	-	-	約 70
	名張市	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	(小計)	約 90	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
伊勢志摩	伊勢市	約 1,700	約 100	約 2,000	約 1,700	約 300	約 10	約 200	-	約 4,000
	鳥羽市	約 300	約 10	約 200	約 200	約 50	約 10	-	-	約 500
	志摩市	約 1,000	約 40	約 3,400	約 400	約 2,900	約 10	約 10	-	約 4,400
	玉城町	約 200	約 10	-	-	-	-	-	-	約 200
	南伊勢町	約 300	約 10	約 1,400	約 200	約 1,200	約 10	-	-	約 1,800
	大紀町	約 100	-	約 400	約 20	約 400	-	-	-	約 500
	度会町	約 90	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 3,600	約 200	約 7,500	約 2,600	約 4,900	約 40	約 300	-	約 11,000
東紀州	尾鷲市	約 400	約 20	約 3,400	約 300	約 3,100	約 10	約 20	-	約 3,800
	紀北町	約 300	約 10	約 3,800	約 300	約 3,500	約 10	-	-	約 4,100
	熊野市	約 300	約 10	約 400	約 50	約 400	約 10	-	-	約 700
	御浜町	約 200	約 10	約 70	約 20	約 50	-	-	-	約 200
	紀宝町	約 70	-	約 800	約 10	約 800	-	-	-	約 900
	(小計)	約 1,200	約 50	約 8,500	約 700	約 7,800	約 20	約 20	-	約 9,700
県計	約 9,700	約 500	約 19,000	約 5,400	約 13,000	約 100	約 900	-	約 29,000	

※津波ケース⑥、冬深夜発災ケース

(3) 全員直後避難の場合

表 I-2.19 理論上最大クラスの南海トラフ地震における市町ごとの死者数の最大値
〔全員直後避難〕

地域区分	市町名	死者数						死者数の市町計が最大となるケース			
		建物倒壊等	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	津波	急傾斜地等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計	地震ケース	津波ケース	季節・時間帯
北勢	桑名市	約 300	約 20	約 500	-	約 10	-	約 700	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・深夜
	いなべ市	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
	木曾岬町	約 30	-	約 200	-	-	-	約 200	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	東員町	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
	四日市市	約 1,000	約 60	約 300	-	約 500	-	約 1,600	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	菟野町	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
	朝日町	約 20	-	約 10	-	-	-	約 30	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	川越町	約 40	-	約 100	-	-	-	約 200	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	鈴鹿市	約 500	約 30	約 200	-	約 20	-	約 700	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
亀山市	約 70	-	-	-	-	-	約 80	陸側ケース	-	冬・深夜	
中勢	津市	約 1,100	約 60	約 900	約 10	約 400	-	約 2,100	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	松阪市	約 1,300	約 80	約 500	-	約 400	-	約 1,900	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	多気町	約 100	約 10	-	-	約 10	-	約 100	陸側ケース	-	冬・深夜
	明和町	約 300	約 10	約 100	-	約 30	-	約 400	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	大台町	約 100	-	-	-	-	-	約 100	陸側ケース	-	冬・深夜
伊賀	伊賀市	約 70	-	-	-	-	-	約 70	陸側ケース	-	冬・深夜
	名張市	約 20	-	-	-	-	-	約 20	陸側ケース	-	冬・深夜
伊勢志摩	伊勢市	約 1,700	約 100	約 1,900	約 10	約 400	-	約 3,800	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・深夜
	鳥羽市	約 300	約 10	約 200	約 10	約 10	-	約 500	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	志摩市	約 1,000	約 40	約 2,500	約 10	約 30	-	約 3,500	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	玉城町	約 200	約 10	-	-	-	-	約 200	陸側ケース	-	冬・深夜
	南伊勢町	約 300	約 10	約 500	約 10	約 10	-	約 800	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	大紀町	約 100	-	約 100	-	-	-	約 200	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
	度会町	約 90	約 10	-	-	-	-	約 100	陸側ケース	-	冬・深夜
東紀州	尾鷲市	約 400	約 20	約 2,200	約 10	約 50	-	約 2,600	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	紀北町	約 300	約 10	約 1,700	約 10	-	-	約 2,000	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・深夜
	熊野市	約 300	約 10	約 500	約 10	約 10	-	約 800	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜
	御浜町	約 200	約 10	約 50	-	-	-	約 200	陸側ケース	津波ケース⑥	冬・深夜
	紀宝町	約 70	-	約 800	-	-	-	約 900	陸側ケース	津波ケース①	冬・深夜
県計	約 9,700	約 500	約 13,000	約 100	約 1,900	約 10	約 24,000	陸側ケース	津波ケース⑦	冬・深夜	

注 1) 端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。

注 2) それぞれ津波 3 ケース (①⑥⑦) の組合せのうちの最大値を抽出した数値を記載している。したがって、合計は本表の市町毎または想定項目の合計と一致するものではない。

表 I-2.20 (参考) 津波ケース毎の県計値
～地震動：陸側ケース、冬深夜発災～〔全員直後避難〕

市町名	死者数						合計
	建物倒壊等	(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)	津波	急傾斜地等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	
津波ケース①	約 9,700	約 500	約 12,000	約 100	約 900	-	約 23,000
津波ケース⑥	約 9,700	約 500	約 13,000	約 100	約 900	-	約 23,000
津波ケース⑦	約 9,700	約 500	約 13,000	約 100	約 900	-	約 24,000

表 I-2.21 理論上最大クラスの南海トラフ地震における死者数(1)
〔全員直後避難〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波			急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)		(うち自力脱出困難)	(うち津波からの逃げ遅れ)					
北勢	桑名市	約 300	約 20	約 500	約 200	約 300	-	-	-	約 700
	いなべ市	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	木曽岬町	約 30	-	約 200	約 60	約 100	-	-	-	約 200
	東員町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	四日市市	約 1,000	約 60	約 300	約 300	約 20	-	約 300	-	約 1,600
	菰野町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	朝日町	約 20	-	約 10	約 10	-	-	-	-	約 30
	川越町	約 40	-	約 100	約 100	約 20	-	-	-	約 200
	鈴鹿市	約 500	約 30	約 200	約 200	約 10	-	約 10	-	約 700
	亀山市	約 70	-	-	-	-	-	-	-	約 80
(小計)	約 2,000	約 100	約 1,300	約 800	約 500	約 10	約 300	-	約 3,600	
中勢	津市	約 1,100	約 60	約 900	約 900	約 40	約 10	約 100	-	約 2,100
	松阪市	約 1,300	約 80	約 500	約 400	約 40	-	約 200	-	約 1,900
	多気町	約 100	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
	明和町	約 300	約 10	約 100	約 100	約 10	-	約 20	-	約 400
	大台町	約 100	-	-	-	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 2,800	約 200	約 1,500	約 1,400	約 80	約 20	約 400	-	約 4,700
伊賀	伊賀市	約 70	-	-	-	-	-	-	-	約 70
	名張市	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	(小計)	約 90	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
伊勢志摩	伊勢市	約 1,700	約 100	約 1,900	約 1,700	約 200	約 10	約 200	-	約 3,800
	鳥羽市	約 300	約 10	約 200	約 100	約 20	約 10	-	-	約 400
	志摩市	約 1,000	約 40	約 2,500	約 500	約 2,000	約 10	約 10	-	約 3,500
	玉城町	約 200	約 10	-	-	-	-	-	-	約 200
	南伊勢町	約 300	約 10	約 400	約 200	約 200	約 10	-	-	約 700
	大紀町	約 100	-	約 80	約 20	約 60	-	-	-	約 200
	度会町	約 90	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 3,600	約 200	約 5,000	約 2,600	約 2,400	約 40	約 300	-	約 8,900
東紀州	尾鷲市	約 400	約 20	約 2,200	約 300	約 1,900	約 10	約 20	-	約 2,600
	紀北町	約 300	約 10	約 1,600	約 300	約 1,300	約 10	-	-	約 1,900
	熊野市	約 300	約 10	約 500	約 30	約 500	約 10	-	-	約 800
	御浜町	約 200	約 10	約 30	約 10	約 20	-	-	-	約 200
	紀宝町	約 70	-	約 800	約 10	約 800	-	-	-	約 900
	(小計)	約 1,200	約 50	約 5,200	約 700	約 4,500	約 20	約 20	-	約 6,400
県計	約 9,700	約 500	約 13,000	約 5,500	約 7,500	約 100	約 900	-	約 24,000	

津波ケース⑦、冬深夜発災ケース

表 I-2.22 理論上最大クラスの南海トラフ地震における死者数(2)
〔全員直後避難〕

地域区分	市町名	建物倒壊		津波			急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
		(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)		(うち自力脱出困難)	(うち津波からの逃げ遅れ)					
北勢	桑名市	約 300	約 20	約 500	約 200	約 300	-	-	-	約 700
	いなべ市	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	木曽岬町	約 30	-	約 200	約 60	約 100	-	-	-	約 200
	東員町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	四日市市	約 1,000	約 60	約 300	約 300	約 20	-	約 300	-	約 1,600
	菰野町	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	朝日町	約 20	-	約 10	約 10	-	-	-	-	約 30
	川越町	約 40	-	約 100	約 100	約 20	-	-	-	約 200
	鈴鹿市	約 500	約 30	約 200	約 100	約 10	-	約 10	-	約 700
	亀山市	約 70	-	-	-	-	-	-	-	約 80
(小計)	約 2,000	約 100	約 1,300	約 800	約 500	約 10	約 300	-	約 3,600	
中勢	津市	約 1,100	約 60	約 900	約 900	約 40	約 10	約 100	-	約 2,100
	松阪市	約 1,300	約 80	約 500	約 400	約 40	-	約 200	-	約 1,900
	多気町	約 100	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
	明和町	約 300	約 10	約 100	約 100	約 10	-	約 20	-	約 400
	大台町	約 100	-	-	-	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 2,800	約 200	約 1,500	約 1,400	約 80	約 20	約 400	-	約 4,600
伊賀	伊賀市	約 70	-	-	-	-	-	-	-	約 70
	名張市	約 20	-	-	-	-	-	-	-	約 20
	(小計)	約 90	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
伊勢志摩	伊勢市	約 1,700	約 100	約 1,900	約 1,700	約 200	約 10	約 200	-	約 3,800
	鳥羽市	約 300	約 10	約 200	約 200	約 10	約 10	-	-	約 400
	志摩市	約 1,000	約 40	約 2,300	約 400	約 1,900	約 10	約 10	-	約 3,300
	玉城町	約 200	約 10	-	-	-	-	-	-	約 200
	南伊勢町	約 300	約 10	約 500	約 200	約 200	約 10	-	-	約 800
	大紀町	約 100	-	約 90	約 20	約 70	-	-	-	約 200
	度会町	約 90	約 10	-	-	-	-	-	-	約 100
	(小計)	約 3,600	約 200	約 4,900	約 2,600	約 2,400	約 40	約 300	-	約 8,800
東紀州	尾鷲市	約 400	約 20	約 2,000	約 300	約 1,800	約 10	約 20	-	約 2,500
	紀北町	約 300	約 10	約 1,700	約 300	約 1,400	約 10	-	-	約 2,000
	熊野市	約 300	約 10	約 400	約 50	約 300	約 10	-	-	約 700
	御浜町	約 200	約 10	約 50	約 20	約 30	-	-	-	約 200
	紀宝町	約 70	-	約 800	約 10	約 800	-	-	-	約 800
	(小計)	約 1,200	約 50	約 4,900	約 700	約 4,300	約 20	約 20	-	約 6,200
県計	約 9,700	約 500	約 13,000	約 5,400	約 7,200	約 100	約 900	-	約 23,000	

津波ケース⑥、冬深夜発災ケース

3 養老-桑名-四日市断層帯

表 I-2.23 養老-桑名-四日市断層帯の地震における死者数（冬深夜発災ケース）

地域区分	市町名	建物倒壊		急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
			(うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)				
北勢	桑名市	約 1,200	約 90	-	約 90	-	約 1,300
	いなべ市	約 200	約 10	-	-	-	約 200
	木曾岬町	約 60	-	-	-	-	約 60
	東員町	約 100	約 10	-	-	-	約 100
	四日市市	約 2,100	約 100	-	約 700	-	約 2,800
	菰野町	約 100	約 10	-	-	-	約 100
	朝日町	約 80	約 10	-	約 10	-	約 90
	川越町	約 100	約 10	-	約 10	-	約 100
	鈴鹿市	約 900	約 60	-	約 20	-	約 900
	亀山市	約 100	約 10	-	-	-	約 100
	(小計)	約 5,000	約 300	約 10	約 800	-	約 5,900
中勢	津市	約 100	約 10	約 10	-	-	約 100
	松阪市	-	-	-	-	-	-
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	-	-	-	-	-	-
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 100	約 10	約 10	-	-	約 100
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	-	-	-	-	-	-
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	-	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-	-	-	-
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	約 10	-	-	約 10
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
県計		約 5,100	約 300	約 30	約 800	-	約 6,000

表 I-2.24 養老-桑名-四日市断層帯の地震における重傷者数（冬深夜発災ケース）

地域区分	市町名	建物倒壊		急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
			(うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)				
北勢	桑名市	約 2,200	約 300	-	約 20	-	約 2,200
	いなべ市	約 400	約 40	-	-	-	約 400
	木曽岬町	約 100	約 20	-	-	-	約 100
	東員町	約 300	約 30	-	-	-	約 300
	四日市市	約 3,800	約 600	-	約 100	-	約 4,000
	菰野町	約 200	約 20	-	-	-	約 200
	朝日町	約 100	約 20	-	-	-	約 100
	川越町	約 200	約 30	-	-	-	約 200
	鈴鹿市	約 1,500	約 200	-	-	-	約 1,500
	亀山市	約 200	約 20	-	-	-	約 200
	(小計)	約 9,100	約 1,400	約 10	約 200	-	約 9,300
中勢	津市	約 200	約 50	-	-	-	約 300
	松阪市	約 10	約 10	-	-	-	約 10
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	-	-	-	-	-	-
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 300	約 60	-	-	-	約 300
伊賀	伊賀市	約 10	-	-	-	-	約 10
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 10	-	-	-	-	約 10
伊勢志摩	伊勢市	-	-	-	-	-	約 10
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	-	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-	-	-	-
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	約 10	-	-	約 10
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
県計		約 9,400	約 1,400	約 20	約 200	-	約 9,600

表 I-2.25 養老-桑名-四日市断層帯の地震における軽傷者数（冬深夜発災ケース）

地域区分	市町名	建物倒壊		急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
			(うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)				
北勢	桑名市	約 3,700	約 1,300	-	約 50	約 10	約 3,700
	いなべ市	約 1,300	約 200	-	-	-	約 1,300
	木曾岬町	約 200	約 60	-	-	-	約 200
	東員町	約 800	約 100	-	-	-	約 800
	四日市市	約 7,600	約 2,100	-	約 400	約 10	約 8,000
	菰野町	約 900	約 90	-	-	-	約 900
	朝日町	約 300	約 80	-	-	-	約 300
	川越町	約 300	約 100	-	-	-	約 300
	鈴鹿市	約 4,600	約 900	-	約 10	-	約 4,600
	亀山市	約 900	約 90	-	-	-	約 900
	(小計)	約 21,000	約 5,000	約 10	約 400	約 20	約 21,000
中勢	津市	約 2,000	約 200	-	-	-	約 2,000
	松阪市	約 200	約 50	-	-	-	約 200
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	約 20	約 10	-	-	-	約 20
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 2,300	約 300	-	-	-	約 2,300
伊賀	伊賀市	約 100	約 20	-	-	-	約 100
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 200	約 20	-	-	-	約 200
伊勢志摩	伊勢市	約 100	約 40	-	-	-	約 100
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	-	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-	-	-	-
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 100	約 40	約 10	-	-	約 100
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
県計		約 23,000	約 5,300	約 20	約 400	約 20	約 24,000

4 布引山地東縁断層帯(東部)

表 I-2.26 布引山地東縁断層帯(東部)の地震における死者数 (冬深夜発災ケース)

地域区分	市町名	建物倒壊		急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
			(うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)				
北勢	桑名市	約 40	-	-	-	-	約 40
	いなべ市	-	-	-	-	-	-
	木曾岬町	-	-	-	-	-	-
	東員町	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約 500	約 20	-	約 90	-	約 500
	菰野町	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-
	川越町	約 20	-	-	-	-	約 20
	鈴鹿市	約 900	約 60	-	約 20	-	約 900
	亀山市	約 40	-	-	-	-	約 40
	(小計)	約 1,400	約 90	約 10	約 100	-	約 1,500
中勢	津市	約 1,100	約 70	約 10	約 300	-	約 1,400
	松阪市	約 900	約 50	-	約 100	-	約 1,000
	多気町	約 60	-	-	-	-	約 60
	明和町	約 20	-	-	-	-	約 20
	大台町	約 20	-	-	-	-	約 20
	(小計)	約 2,100	約 100	約 10	約 400	-	約 2,500
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	約 30	-	-	-	-	約 40
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	-	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	約 10	-	-	約 10
	大紀町	約 10	-	-	-	-	約 10
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 50	-	約 20	-	-	約 70
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
県計		約 3,500	約 200	約 50	約 500	-	約 4,100

表 I-2.27 布引山地東縁断層帯(東部)の地震における重傷者数 (冬深夜発災ケース)

地域区分	市町名	建物倒壊		急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
			(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)				
北勢	桑名市	約 100	約 20	-	-	-	約 100
	いなべ市	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	約 10	-	-	-	-	約 10
	東員町	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約 900	約 100	-	約 20	-	約 900
	菰野町	約 10	-	-	-	-	約 10
	朝日町	約 10	-	-	-	-	約 10
	川越町	約 30	約 10	-	-	-	約 30
	鈴鹿市	約 1,500	約 200	-	-	-	約 1,500
	亀山市	約 80	約 10	-	-	-	約 80
	(小計)	約 2,600	約 400	-	約 20	-	約 2,600
中勢	津市	約 1,800	約 300	約 10	約 70	-	約 1,900
	松阪市	約 1,600	約 200	-	約 20	-	約 1,700
	多気町	約 100	約 10	-	-	-	約 100
	明和町	約 40	-	-	-	-	約 40
	大台町	約 30	-	-	-	-	約 30
	(小計)	約 3,600	約 500	約 10	約 90	-	約 3,700
伊賀	伊賀市	-	-	-	-	-	-
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	約 10
伊勢志摩	伊勢市	約 80	約 20	-	-	-	約 80
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	-	-
	玉城町	約 10	-	-	-	-	約 10
	南伊勢町	-	-	-	-	-	約 10
	大紀町	約 20	-	-	-	-	約 20
	度会町	約 10	-	-	-	-	約 10
	(小計)	約 100	約 20	約 10	-	-	約 100
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
県計		約 6,400	約 900	約 30	約 100	-	約 6,500

表 I-2.28 布引山地東縁断層帯(東部)の地震における軽傷者数 (冬深夜発災ケース)

地域区分	市町名	建物倒壊		急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
			(うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)				
北勢	桑名市	約 800	約 90	-	-	-	約 800
	いなべ市	約 40	約 10	-	-	-	約 40
	木曽岬町	約 60	約 10	-	-	-	約 60
	東員町	約 40	約 10	-	-	-	約 40
	四日市市	約 3,800	約 400	-	約 40	-	約 3,900
	菰野町	約 100	約 20	-	-	-	約 100
	朝日町	約 90	約 10	-	-	-	約 90
	川越町	約 200	約 20	-	-	-	約 200
	鈴鹿市	約 4,400	約 900	-	約 10	-	約 4,400
	亀山市	約 600	約 50	-	-	-	約 600
	(小計)	約 10,000	約 1,500	-	約 50	-	約 10,000
中勢	津市	約 5,400	約 1,000	約 10	約 200	-	約 5,500
	松阪市	約 4,400	約 700	-	約 50	-	約 4,400
	多気町	約 400	約 30	-	-	-	約 400
	明和町	約 300	約 20	-	-	-	約 300
	大台町	約 200	約 10	-	-	-	約 200
	(小計)	約 11,000	約 1,800	約 10	約 200	-	約 11,000
伊賀	伊賀市	約 90	約 20	-	-	-	約 90
	名張市	約 20	約 10	-	-	-	約 20
	(小計)	約 100	約 40	-	-	-	約 100
伊勢志摩	伊勢市	約 900	約 80	-	-	-	約 900
	鳥羽市	約 10	-	-	-	-	約 10
	志摩市	約 20	約 10	-	-	-	約 20
	玉城町	約 100	約 10	-	-	-	約 100
	南伊勢町	約 60	-	-	-	-	約 60
	大紀町	約 100	約 10	-	-	-	約 100
	度会町	約 60	-	-	-	-	約 60
	(小計)	約 1,300	約 100	約 10	-	-	約 1,300
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	約 10	-	-	-	-	約 10
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 10	-	-	-	-	約 20
県計		約 22,000	約 3,500	約 30	約 300	約 10	約 22,000

5 頓宮断層

表 1-2.29 頓宮断層の地震における死者数（冬深夜発災ケース）

地域区分	市町名	建物倒壊		急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
			(うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)				
北勢	桑名市	-	-	-	-	-	-
	いなべ市	-	-	-	-	-	-
	木曾岬町	-	-	-	-	-	-
	東員町	-	-	-	-	-	-
	四日市市	-	-	-	-	-	-
	菰野町	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	-	-	-	-
	鈴鹿市	-	-	-	-	-	-
	亀山市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	約 10
中勢	津市	-	-	約 10	-	-	約 10
	松阪市	-	-	-	-	-	-
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	-	-	-	-	-	-
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	約 10	-	-	約 10
伊賀	伊賀市	約 200	約 10	-	-	-	約 200
	名張市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 200	約 10	-	-	-	約 200
伊勢志摩	伊勢市	-	-	-	-	-	-
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	-	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-	-	-	-
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
県計	約 200	約 10	約 20	-	-	約 200	

表 I-2.30 頓宮断層の地震における重傷者数（冬深夜発災ケース）

地域区分	市町名	建物倒壊		急傾斜地崩壊等	火災	ブロック塀・自動販売機の転倒、屋外落下物	合計
			(うち屋内収容物移動・転倒、屋内落下物)				
北勢	桑名市	-	-	-	-	-	-
	いなべ市	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	-	-	-	-	-	-
	東員町	-	-	-	-	-	-
	四日市市	-	-	-	-	-	-
	菰野町	-	-	-	-	-	-
	朝日町	-	-	-	-	-	-
	川越町	-	-	-	-	-	-
	鈴鹿市	-	-	-	-	-	-
	亀山市	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 10	-	-	-	-	約 10
中勢	津市	約 10	-	-	-	-	約 20
	松阪市	-	-	-	-	-	-
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	-	-	-	-	-	-
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 20	-	-	-	-	約 20
伊賀	伊賀市	約 400	約 40	-	-	-	約 400
	名張市	約 10	約 10	-	-	-	約 10
	(小計)	約 400	約 40	-	-	-	約 500
伊勢志摩	伊勢市	-	-	-	-	-	-
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	-	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-	-	-	-
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
県計		約 500	約 50	約 10	-	-	約 500

表 I-2.31 頓宮断層の地震における軽傷者数（冬深夜発災ケース）

地域区分	市町名	建物倒壊		急傾斜地 崩壊等	火災	ブロック塀・自 動販売機の転 倒、屋外落下 物	合計
			(うち屋内収容 物移動・転倒、 屋内落下物)				
北勢	桑名市	約 30	約 20	-	-	-	約 30
	いなべ市	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	-	-	-	-	-	-
	東員町	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約 70	約 50	-	-	-	約 70
	菰野町	約 10	-	-	-	-	約 10
	朝日町	-	-	-	-	-	-
	川越町	約 10	-	-	-	-	約 10
	鈴鹿市	約 50	約 40	-	-	-	約 50
	亀山市	約 70	約 20	-	-	-	約 70
	(小計)	約 200	約 100	-	-	-	約 200
中勢	津市	約 300	約 90	-	-	-	約 300
	松阪市	約 60	約 30	-	-	-	約 60
	多気町	-	-	-	-	-	-
	明和町	-	-	-	-	-	-
	大台町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 400	約 100	-	-	-	約 400
伊賀	伊賀市	約 1,800	約 100	-	-	-	約 1,800
	名張市	約 100	約 30	-	-	-	約 100
	(小計)	約 2,000	約 200	-	-	-	約 2,000
伊勢志摩	伊勢市	約 10	-	-	-	-	約 10
	鳥羽市	-	-	-	-	-	-
	志摩市	-	-	-	-	-	-
	玉城町	-	-	-	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-	-	-	-
	大紀町	-	-	-	-	-	-
	度会町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約 10	-	-	-	-	約 20
東紀州	尾鷲市	-	-	-	-	-	-
	紀北町	-	-	-	-	-	-
	熊野市	-	-	-	-	-	-
	御浜町	-	-	-	-	-	-
	紀宝町	-	-	-	-	-	-
	(小計)	-	-	-	-	-	-
県計		約 2,600	約 400	約 10	-	-	約 2,600

I-3. 建物倒壊等による自力脱出困難者

表 I-3.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における自力脱出困難者数

地域区分	市町名	自力脱出困難者数		
		深夜	昼	夕
北勢	桑名市	約 100	約 200	約 100
	いなべ市	-	約 10	-
	木曾岬町	約 10	約 10	約 10
	東員町	-	約 10	-
	四日市市	約 300	約 300	約 300
	菰野町	-	約 10	-
	朝日町	約 10	約 10	約 10
	川越町	約 20	約 30	約 20
	鈴鹿市	約 100	約 100	約 100
	亀山市	約 10	約 20	約 10
	(小計)	約 600	約 700	約 600
	中勢	津市	約 300	約 400
松阪市		約 500	約 400	約 400
多気町		約 20	約 20	約 20
明和町		約 80	約 50	約 60
大台町		約 30	約 20	約 20
(小計)		約 900	約 900	約 900
伊賀		伊賀市	約 10	約 20
	名張市	-	約 10	約 10
	(小計)	約 10	約 30	約 20
伊勢志摩	伊勢市	約 1,200	約 900	約 1,100
	鳥羽市	約 100	約 90	約 100
	志摩市	約 700	約 300	約 500
	玉城町	約 80	約 60	約 70
	南伊勢町	約 200	約 100	約 200
	大紀町	約 40	約 30	約 30
	度会町	約 40	約 20	約 30
	(小計)	約 2,500	約 1,600	約 2,000
	東紀州	尾鷲市	約 90	約 60
紀北町		約 200	約 100	約 200
熊野市		約 100	約 90	約 100
御浜町		約 200	約 90	約 100
紀宝町		約 100	約 60	約 90
(小計)		約 700	約 400	約 600
県計		約 4,700	約 3,700	約 4,100

表 I-3.2 理論上最大クラスの南海トラフ地震における自力脱出困難者数

地域区分	市町名	自力脱出困難者数		
		深夜	昼	夕
北勢	桑名市	約 1,500	約 1,600	約 1,300
	いなべ市	約 100	約 200	約 100
	木曽岬町	約 200	約 100	約 100
	東員町	約 100	約 100	約 100
	四日市市	約 5,000	約 4,700	約 4,500
	菰野町	約 100	約 100	約 100
	朝日町	約 100	約 100	約 90
	川越町	約 200	約 200	約 200
	鈴鹿市	約 2,400	約 1,600	約 1,900
	亀山市	約 300	約 300	約 300
	(小計)	約 10,000	約 9,100	約 8,900
	中勢	津市	約 4,800	約 3,700
松阪市		約 5,000	約 3,800	約 4,300
多気町		約 400	約 300	約 300
明和町		約 900	約 500	約 700
大台町		約 200	約 100	約 200
(小計)		約 11,000	約 8,300	約 9,700
伊賀		伊賀市	約 400	約 600
	名張市	約 200	約 200	約 100
	(小計)	約 500	約 700	約 600
伊勢志摩	伊勢市	約 7,700	約 6,900	約 7,100
	鳥羽市	約 800	約 500	約 700
	志摩市	約 2,600	約 1,300	約 2,000
	玉城町	約 600	約 500	約 500
	南伊勢町	約 800	約 500	約 600
	大紀町	約 300	約 200	約 200
	度会町	約 300	約 100	約 200
	(小計)	約 13,000	約 10,000	約 11,000
	東紀州	尾鷲市	約 1,000	約 700
紀北町		約 800	約 500	約 600
熊野市		約 700	約 400	約 500
御浜町		約 400	約 200	約 300
紀宝町		約 100	約 70	約 100
(小計)		約 3,000	約 1,900	約 2,500
県計		約 38,000	約 30,000	約 33,000

表 I-3.3 養老-桑名-四日市断層帯の地震における自力脱出困難者数

地域区分	市町名	自力脱出困難者数		
		深夜	昼	夕
北勢	桑名市	約 5,700	約 4,700	約 4,800
	いなべ市	約 800	約 700	約 800
	木曽岬町	約 200	約 200	約 200
	東員町	約 600	約 500	約 500
	四日市市	約 10,000	約 9,100	約 8,900
	菰野町	約 500	約 400	約 400
	朝日町	約 400	約 300	約 300
	川越町	約 600	約 500	約 500
	鈴鹿市	約 4,000	約 2,700	約 3,200
	亀山市	約 500	約 400	約 500
	(小計)	約 23,000	約 20,000	約 20,000
	中勢	津市	約 700	約 700
松阪市		約 30	約 50	約 30
多気町		-	-	-
明和町		-	-	-
大台町		-	-	-
(小計)		約 700	約 700	約 700
伊賀		伊賀市	約 10	約 30
	名張市	-	-	-
	(小計)	約 10	約 30	約 20
伊勢志摩	伊勢市	約 10	約 20	約 10
	鳥羽市	-	-	-
	志摩市	-	-	-
	玉城町	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-
	大紀町	-	-	-
	度会町	-	-	-
	(小計)	約 10	約 20	約 10
	東紀州	尾鷲市	-	-
紀北町		-	-	-
熊野市		-	-	-
御浜町		-	-	-
紀宝町		-	-	-
(小計)		-	-	-
県計		約 24,000	約 20,000	約 21,000

表 I-3.4 布引山地東縁断層帯(東部)の地震における自力脱出困難者数

地域区分	市町名	自力脱出困難者数		
		深夜	昼	夕
北勢	桑名市	約 300	約 300	約 200
	いなべ市	-	約 10	-
	木曽岬町	約 20	約 20	約 20
	東員町	-	約 10	-
	四日市市	約 2,400	約 2,400	約 2,200
	菰野町	約 20	約 30	約 20
	朝日町	約 20	約 30	約 20
	川越町	約 90	約 90	約 90
	鈴鹿市	約 3,900	約 2,600	約 3,100
	亀山市	約 200	約 200	約 200
	(小計)	約 6,800	約 5,600	約 5,900
	中勢	津市	約 5,100	約 4,100
松阪市		約 3,700	約 3,400	約 3,400
多気町		約 200	約 100	約 200
明和町		約 70	約 70	約 70
大台町		約 50	約 30	約 40
(小計)		約 9,100	約 7,700	約 8,200
伊賀		伊賀市	約 10	約 20
	名張市	-	約 10	-
	(小計)	約 10	約 20	約 10
伊勢志摩	伊勢市	約 200	約 200	約 200
	鳥羽市	-	-	-
	志摩市	-	-	-
	玉城町	約 30	約 30	約 30
	南伊勢町	-	-	-
	大紀町	約 20	約 20	約 20
	度会町	約 10	約 10	約 10
	(小計)	約 300	約 300	約 300
	東紀州	尾鷲市	-	-
紀北町		-	-	-
熊野市		-	-	-
御浜町		-	-	-
紀宝町		-	-	-
(小計)		-	-	-
県計		約 16,000	約 14,000	約 14,000

表 I-3.5 頓宮断層の地震における自力脱出困難者数

地域区分	市町名	自力脱出困難者数		
		深夜	昼	夕
北勢	桑名市	-	約 10	-
	いなべ市	-	-	-
	木曽岬町	-	-	-
	東員町	-	-	-
	四日市市	約 10	約 10	約 10
	菰野町	-	-	-
	朝日町	-	-	-
	川越町	-	-	-
	鈴鹿市	-	約 10	約 10
	亀山市	約 10	約 10	約 10
	(小計)	約 20	約 40	約 30
	中勢	津市	約 40	約 70
松阪市		-	約 10	約 10
多気町		-	-	-
明和町		-	-	-
大台町		-	-	-
(小計)		約 40	約 80	約 50
伊賀		伊賀市	約 900	約 1,000
	名張市	約 30	約 60	約 40
	(小計)	約 1,000	約 1,000	約 900
伊勢志摩	伊勢市	-	-	-
	鳥羽市	-	-	-
	志摩市	-	-	-
	玉城町	-	-	-
	南伊勢町	-	-	-
	大紀町	-	-	-
	度会町	-	-	-
	(小計)	-	-	-
	東紀州	尾鷲市	-	-
紀北町		-	-	-
熊野市		-	-	-
御浜町		-	-	-
紀宝町		-	-	-
(小計)		-	-	-
県計		約 1,000	約 1,100	約 1,000

I-4. 建物被害・人的被害の軽減効果

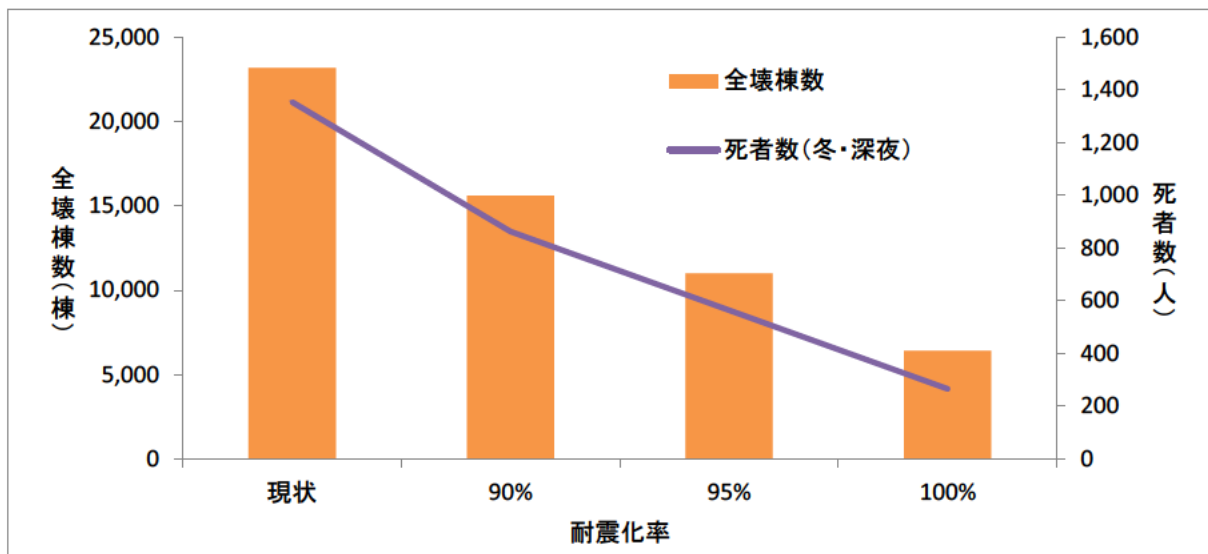
1 建物の耐震化による人的被害の軽減

旧耐震基準の建物の建替えや耐震改修等が行われ、現状よりも建物の耐震化が促進された場合の効果の評価した。

(1) 建物倒壊等による人的被害の軽減

表 I-4.1 建物の耐震化による建物倒壊等の人的被害の軽減効果
(過去最大クラスの南海トラフ地震の場合)

		建物の耐震化の促進			
		現状	耐震化率 90%	耐震化率 95%	耐震化率 100%
地震動による全壊棟数		約 23,000 棟	約 16,000 棟	約 11,000 棟	約 6,400 棟
建物倒壊等による人的被害 (冬・深夜)	死者数	約 1,400 人	約 900 人	約 600 人	約 300 人
	重傷者数	約 2,300 人	約 1,600 人	約 1,100 人	約 700 人
	軽傷者数	約 15,000 人	約 10,000 人	約 7,300 人	約 4,500 人



(2) 自力脱出困難者を減らすことによる津波の人的被害の軽減

建物倒壊等に伴い、自力脱出困難な状態になり、逃げたくても逃げるができずに津波に巻き込まれることによって、約 5,400 人の死者が発生する。建物の耐震化を促進することは、自力脱出困難者を減らし、津波に巻き込まれる人的被害を軽減することにもつながる。

表 I-4.2 建物の耐震化による津波人的被害の軽減効果
(理論上最大クラスの南海トラフ地震の場合)

	建物の耐震化の促進			
	現状	耐震化率 90%	耐震化率 95%	耐震化率 100%
自力脱出困難による津波死者数	約 5,400 人	約 4,400 人	約 3,700 人	約 3,000 人

※津波ケース⑥、冬深夜発災の場合

2 家具等の転倒・落下防止対策による人的被害の軽減

三重県「平成 25 年度三重県県民意識調査」によれば、家具の転倒防止対策実施率は三重県全体で 44.8%である（「家具類・冷蔵庫・テレビなどの大部分を固定している」（11.2%）、「一部の固定もしくは固定していないが家具転倒等から安全な状態にある」（33.6%）と回答した県民の割合）。内閣府「防災に関する特別世論調査」（平成 21 年 12 月）によれば、家具の転倒防止対策実施率（「大部分固定している」＋「一部しか固定していない」の割合）は全国平均で 26.2%であるため、三重県は非常に高い実施率となっている。ここでは、現状よりも家具等の転倒・落下防止対策が強化された場合の効果を評価した。

表 I-4.3 家具等の転倒・落下防止対策による人的被害軽減効果
（過去最大クラスの南海トラフ地震の場合）

		家具等の転倒・落下防止対策強化		
		現状	実施率 80%	実施率 100%
屋内収容物移動・転倒、 屋内落下物による人的被害（冬・深夜）	死者数	約 70 人	約 40 人	約 30 人
	重傷者数	約 300 人	約 200 人	約 200 人
	軽傷者数	約 1,400 人	約 1,000 人	約 800 人

※屋内収容物移動・転倒、屋内落下物による人的被害は、建物倒壊等による人的被害と区別が難しいため、数字は参考である。

3 津波避難対策による人的被害の軽減

（1）避難の迅速化による津波死者の低減

津波からの避難の迅速化が図られた場合の効果を評価した。

表 I-4.4 津波からの避難の迅速化による人的被害軽減効果
（理論上最大クラスの南海トラフ地震の場合）

		早期避難率 20.0% （現状）	早期避難率 70.0% ＋呼びかけ	早期避難率 100%
体 県全	計	約 42,000 人	約 19,000 人	約 13,000 人
	うち逃げ遅れ	約 37,000 人	約 13,000 人	約 7,200 人
	うち自力脱出困難	約 5,400 人	約 5,400 人	約 5,400 人
（伊勢湾以 南）	計	約 15,000 人	約 4,800 人	約 4,700 人
	うち逃げ遅れ	約 11,000 人	約 900 人	約 700 人
	うち自力脱出困難	約 3,900 人	約 3,900 人	約 3,900 人
（熊野灘以 南）	計	約 27,000 人	約 14,000 人	約 8,000 人
	うち逃げ遅れ	約 26,000 人	約 12,000 人	約 6,400 人
	うち自力脱出困難	約 1,500 人	約 1,500 人	約 1,500 人

※津波ケース⑥、冬深夜発災の場合

(2) 津波避難場所の確保による津波死者の低減

早期避難率 100%（深夜の場合 10 分後には全員避難開始）の場合においても、約 7,200 人の津波からの逃げ遅れによる死者が発生する。ここでは、この条件下に加えて、さらにすべての地域において 500m 以内あるいは 250m 以内に津波避難場所を確保した場合の効果を評価した。

表 I-4.5 津波避難場所の確保による人的被害軽減効果
(理論上最大クラスの南海トラフ地震の場合)

	早期避難率 100%	すべての地域において 500m以内に津波 避難施設を確保	すべての地域において 250m以内に津波 避難施設を確保
県全体	約 7,200 人	約 7,100 人	約 5,300 人
伊勢湾沿岸 (伊勢市以北)	約 700 人	約 600 人	約 600 人
熊野灘沿岸 (鳥羽市以南)	約 6,400 人	約 6,400 人	約 4,700 人

※津波ケース⑥、冬深夜発災の場合

II ライフライン被害に係る想定結果

II-1. 上水道

表 II-1.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における断水人口及び断水率

地域区分	市町名	給水人口	断水率(%)				断水人口(人)			
			直後	1日後	7日後	1ヶ月後	直後	1日後	7日後	1ヶ月後
北勢	桑名市	約 142,000	100%	99%	77%	31%	約 142,000	約 140,000	約 110,000	約 44,000
	いなべ市	約 47,000	92%	93%	47%	15%	約 43,000	約 44,000	約 22,000	約 7,100
	木曾岬町	約 6,800	100%	100%	100%	89%	約 6,800	約 6,800	約 6,800	約 6,100
	東員町	約 26,000	97%	96%	58%	0%	約 25,000	約 25,000	約 15,000	-
	四日市市	約 314,000	100%	98%	71%	5%	約 313,000	約 307,000	約 221,000	約 17,000
	菟野町	約 41,000	94%	91%	45%	0%	約 38,000	約 37,000	約 18,000	-
	朝日町	約 9,900	100%	99%	98%	86%	約 9,900	約 9,800	約 9,700	約 8,500
	川越町	約 14,000	100%	99%	99%	87%	約 14,000	約 14,000	約 14,000	約 13,000
	鈴鹿市	約 202,000	100%	97%	64%	0%	約 201,000	約 197,000	約 130,000	-
亀山市	約 50,000	92%	89%	45%	0%	約 46,000	約 44,000	約 23,000	-	
(小計)	約 852,000	98%	97%	67%	11%	約 839,000	約 825,000	約 570,000	約 95,000	
中勢	津市	約 286,000	100%	97%	70%	11%	約 285,000	約 277,000	約 200,000	約 31,000
	松阪市	約 168,000	100%	99%	82%	47%	約 168,000	約 166,000	約 139,000	約 80,000
	多気町	約 15,000	98%	91%	58%	11%	約 15,000	約 14,000	約 8,800	約 1,700
	明和町	約 23,000	100%	100%	94%	79%	約 23,000	約 23,000	約 22,000	約 19,000
	大台町	約 10,000	99%	96%	59%	17%	約 10,000	約 10,000	約 6,100	約 1,700
	(小計)	約 503,000	100%	97%	75%	26%	約 501,000	約 490,000	約 376,000	約 133,000
伊賀	伊賀市	約 98,000	87%	61%	34%	0%	約 84,000	約 60,000	約 33,000	-
	名張市	約 82,000	49%	85%	15%	0%	約 40,000	約 70,000	約 13,000	-
	(小計)	約 180,000	69%	72%	25%	0%	約 125,000	約 130,000	約 45,000	-
伊勢志摩	伊勢市	約 132,000	100%	99%	98%	83%	約 132,000	約 131,000	約 129,000	約 110,000
	鳥羽市	約 22,000	97%	83%	80%	18%	約 21,000	約 18,000	約 17,000	約 3,900
	志摩市	約 56,000	100%	96%	96%	80%	約 56,000	約 54,000	約 54,000	約 45,000
	玉城町	約 16,000	100%	99%	73%	35%	約 15,000	約 15,000	約 11,000	約 5,500
	南伊勢町	約 16,000	100%	100%	85%	62%	約 16,000	約 15,000	約 13,000	約 9,600
	大紀町	約 10,000	100%	98%	66%	30%	約 10,000	約 9,900	約 6,700	約 3,000
	度会町	約 8,900	100%	99%	69%	28%	約 8,900	約 8,800	約 6,100	約 2,500
	(小計)	約 260,000	100%	97%	91%	69%	約 259,000	約 252,000	約 237,000	約 179,000
東紀州	尾鷲市	約 21,000	99%	99%	68%	15%	約 20,000	約 20,000	約 14,000	約 3,000
	紀北町	約 19,000	100%	100%	95%	85%	約 19,000	約 19,000	約 18,000	約 16,000
	熊野市	約 19,000	100%	99%	75%	21%	約 19,000	約 18,000	約 14,000	約 3,900
	御浜町	約 9,100	100%	99%	90%	70%	約 9,100	約 9,100	約 8,300	約 6,400
	紀宝町	約 11,000	100%	99%	77%	43%	約 11,000	約 11,000	約 8,700	約 4,800
(小計)	約 78,000	100%	99%	80%	44%	約 78,000	約 78,000	約 63,000	約 34,000	
県計	約 1,872,000	96%	95%	69%	24%	約 1,802,000	約 1,774,000	約 1,291,000	約 441,000	

※給水人口は平成 24 年 3 月 31 日時点

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、95%の応急復旧が見込まれるのは2ヶ月以上と想定される。

表 II-1.2 理論上最大クラスの南海トラフ地震における断水人口及び断水率
 [地震動:陸側ケース、津波:ケース⑦]

地域区分	市町名	給水人口	断水率(%)				断水人口(人)			
			直後	1日後	7日後	1ヶ月後	直後	1日後	7日後	1ヶ月後
北勢	桑名市	約 142,000	100%	99%	80%	42%	約 142,000	約 140,000	約 114,000	約 59,000
	いなべ市	約 47,000	99%	98%	81%	63%	約 46,000	約 46,000	約 38,000	約 30,000
	木曽岬町	約 6,800	100%	100%	100%	96%	約 6,800	約 6,800	約 6,800	約 6,500
	東員町	約 26,000	99%	99%	83%	57%	約 26,000	約 25,000	約 22,000	約 15,000
	四日市市	約 314,000	100%	99%	77%	27%	約 313,000	約 310,000	約 241,000	約 86,000
	菰野町	約 41,000	99%	98%	64%	15%	約 40,000	約 40,000	約 26,000	約 6,200
	朝日町	約 9,900	100%	99%	99%	94%	約 9,900	約 9,800	約 9,800	約 9,300
	川越町	約 14,000	100%	99%	99%	94%	約 14,000	約 14,000	約 14,000	約 13,000
	鈴鹿市	約 202,000	100%	99%	79%	35%	約 202,000	約 200,000	約 160,000	約 71,000
	亀山市	約 50,000	99%	96%	66%	0%	約 49,000	約 48,000	約 33,000	-
(小計)	約 852,000	100%	99%	78%	35%	約 849,000	約 840,000	約 665,000	約 296,000	
中勢	津市	約 286,000	100%	98%	76%	29%	約 285,000	約 280,000	約 216,000	約 82,000
	松阪市	約 168,000	100%	99%	89%	66%	約 168,000	約 166,000	約 149,000	約 112,000
	多気町	約 15,000	100%	97%	71%	31%	約 15,000	約 15,000	約 11,000	約 4,700
	明和町	約 23,000	100%	100%	99%	96%	約 23,000	約 23,000	約 23,000	約 23,000
	大台町	約 10,000	100%	98%	74%	40%	約 10,000	約 10,000	約 7,600	約 4,200
	(小計)	約 503,000	100%	98%	81%	45%	約 502,000	約 494,000	約 407,000	約 225,000
伊賀	伊賀市	約 98,000	99%	91%	61%	0%	約 96,000	約 88,000	約 59,000	-
	名張市	約 82,000	88%	92%	38%	0%	約 73,000	約 76,000	約 31,000	-
	(小計)	約 180,000	94%	91%	50%	0%	約 169,000	約 164,000	約 91,000	-
伊勢志摩	伊勢市	約 132,000	100%	99%	99%	92%	約 132,000	約 131,000	約 131,000	約 122,000
	鳥羽市	約 22,000	99%	90%	88%	52%	約 21,000	約 20,000	約 19,000	約 11,000
	志摩市	約 56,000	100%	98%	98%	90%	約 56,000	約 55,000	約 55,000	約 50,000
	玉城町	約 16,000	100%	99%	89%	72%	約 16,000	約 15,000	約 14,000	約 11,000
	南伊勢町	約 16,000	100%	100%	99%	98%	約 16,000	約 16,000	約 15,000	約 15,000
	大紀町	約 10,000	100%	99%	72%	38%	約 10,000	約 10,000	約 7,300	約 3,800
	度会町	約 8,900	100%	99%	82%	56%	約 8,900	約 8,800	約 7,300	約 5,000
	(小計)	約 260,000	100%	98%	96%	84%	約 260,000	約 255,000	約 248,000	約 219,000
東紀州	尾鷲市	約 21,000	100%	100%	99%	97%	約 21,000	約 21,000	約 20,000	約 20,000
	紀北町	約 19,000	100%	100%	100%	99%	約 19,000	約 19,000	約 19,000	約 18,000
	熊野市	約 19,000	100%	100%	80%	34%	約 19,000	約 18,000	約 15,000	約 6,200
	御浜町	約 9,100	100%	100%	98%	93%	約 9,100	約 9,100	約 9,000	約 8,500
	紀宝町	約 11,000	100%	99%	80%	51%	約 11,000	約 11,000	約 9,000	約 5,700
	(小計)	約 78,000	100%	100%	92%	75%	約 78,000	約 78,000	約 72,000	約 59,000
県計	約 1,872,000	99%	98%	79%	43%	約 1,858,000	約 1,832,000	約 1,482,000	約 798,000	

※給水人口は平成 24 年 3 月 31 日時点

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、95%の応急復旧が見込まれるのは2ヶ月以上と想定される。

II-2. 下水道

表 II-2.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における下水道機能支障人口

地域区分	市町名	処理人口	機能支障率(%)				機能支障人口(人)			
			直後	1日後	7日後	1ヶ月後	直後	1日後	7日後	1ヶ月後
北勢	桑名市	約 102,000	17%	85%	14%	2%	約 18,000	約 87,000	約 14,000	約 2,000
	いなべ市	約 39,000	2%	81%	1%	0%	約 900	約 32,000	約 500	-
	木曾岬町	約 4,200	100%	100%	87%	13%	約 4,200	約 4,200	約 3,600	約 600
	東員町	約 25,000	2%	81%	1%	0%	約 500	約 20,000	約 300	-
	四日市市	約 223,000	3%	40%	0%	0%	約 6,800	約 90,000	約 300	-
	菟野町	約 22,000	2%	81%	0%	0%	約 500	約 18,000	約 30	-
	朝日町	約 9,700	5%	81%	3%	0%	約 500	約 7,900	約 300	-
	川越町	約 14,000	4%	84%	3%	0%	約 600	約 12,000	約 400	-
	鈴鹿市	約 95,000	4%	81%	0%	0%	約 4,000	約 77,000	約 200	-
亀山市	約 21,000	3%	81%	0%	0%	約 600	約 17,000	-	-	
(小計)	約 555,000	7%	66%	4%	0%	約 36,000	約 365,000	約 19,000	約 2,600	
中勢	津市	約 122,000	27%	83%	21%	3%	約 33,000	約 101,000	約 25,000	約 3,900
	松阪市	約 77,000	100%	100%	87%	13%	約 77,000	約 77,000	約 67,000	約 10,000
	多気町	約 7,000	100%	100%	87%	13%	約 7,000	約 7,000	約 6,100	約 900
	明和町	約 3,300	6%	5%	3%	0%	約 200	約 200	約 100	-
	大台町	約 2,100	89%	81%	3%	0%	約 1,800	約 1,700	約 60	-
	(小計)	約 211,000	56%	88%	47%	7%	約 119,000	約 186,000	約 98,000	約 15,000
伊賀	伊賀市	約 18,000	9%	28%	0%	0%	約 1,600	約 4,900	約 50	-
	名張市	約 14,000	2%	81%	0%	0%	約 200	約 11,000	-	-
	(小計)	約 32,000	6%	51%	0%	0%	約 1,800	約 16,000	約 50	-
伊勢志摩	伊勢市	約 54,000	94%	94%	81%	12%	約 51,000	約 51,000	約 44,000	約 6,700
	鳥羽市	約 1,700	100%	100%	87%	13%	約 1,700	約 1,700	約 1,500	約 200
	志摩市	約 6,600	27%	26%	18%	2%	約 1,800	約 1,700	約 1,200	約 100
	玉城町	約 4,900	100%	100%	87%	13%	約 4,900	約 4,900	約 4,300	約 700
	南伊勢町	約 2,700	70%	70%	60%	9%	約 1,900	約 1,900	約 1,600	約 200
	大紀町	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	度会町	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	(小計)	約 70,000	87%	87%	75%	11%	約 61,000	約 61,000	約 53,000	約 8,000
東紀州	尾鷲市	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	紀北町	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	熊野市	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	御浜町	約 2,600	100%	100%	87%	13%	約 2,600	約 2,600	約 2,300	約 300
	紀宝町	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	(小計)	約 2,600	100%	100%	87%	13%	約 2,600	約 2,600	約 2,300	約 300
県計	約 871,000	25%	72%	20%	3%	約 221,000	約 631,000	約 173,000	約 26,000	

※下水道処理人口は平成 24 年 3 月時点

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、95%の応急復旧が見込まれるのは3週間程度と想定される。

表 II-2.2 理論上最大クラスの南海トラフ地震における下水道機能支障人口
〔地震動:陸側ケース、津波:ケース⑦〕

地域区分	市町名	処理人口	機能支障率(%)				機能支障人口(人)			
			直後	1日後	7日後	1ヶ月後	直後	1日後	7日後	1ヶ月後
北勢	桑名市	約 102,000	20%	86%	17%	2%	約 21,000	約 88,000	約 17,000	約 2,000
	いなべ市	約 39,000	5%	81%	4%	1%	約 1,900	約 32,000	約 1,700	約 200
	木曾岬町	約 4,200	100%	100%	88%	14%	約 4,200	約 4,200	約 3,700	約 600
	東員町	約 25,000	4%	81%	4%	1%	約 1,100	約 20,000	約 1,000	約 100
	四日市市	約 223,000	8%	43%	5%	0%	約 17,000	約 96,000	約 11,000	-
	菟野町	約 22,000	5%	81%	3%	0%	約 1,100	約 18,000	約 700	-
	朝日町	約 9,700	9%	82%	8%	1%	約 900	約 8,000	約 800	約 100
	川越町	約 14,000	11%	87%	10%	1%	約 1,500	約 12,000	約 1,300	約 200
	鈴鹿市	約 95,000	9%	82%	6%	0%	約 8,900	約 78,000	約 5,300	-
	龜山市	約 21,000	6%	82%	2%	0%	約 1,300	約 17,000	約 400	-
(小計)	約 555,000	11%	67%	8%	1%	約 59,000	約 374,000	約 43,000	約 3,300	
中勢	津市	約 122,000	31%	84%	24%	3%	約 37,000	約 103,000	約 29,000	約 3,900
	松阪市	約 77,000	100%	100%	88%	13%	約 77,000	約 77,000	約 67,000	約 10,000
	多気町	約 7,000	100%	100%	88%	15%	約 7,000	約 7,000	約 6,200	約 1,000
	明和町	約 3,300	15%	15%	14%	2%	約 500	約 500	約 400	約 60
	大台町	約 2,100	90%	82%	9%	1%	約 1,900	約 1,700	約 200	約 20
	(小計)	約 211,000	58%	89%	49%	7%	約 123,000	約 189,000	約 104,000	約 15,000
伊賀	伊賀市	約 18,000	12%	30%	3%	0%	約 2,100	約 5,300	約 600	-
	名張市	約 14,000	3%	81%	0%	0%	約 500	約 11,000	-	-
	(小計)	約 32,000	8%	52%	2%	0%	約 2,500	約 16,000	約 600	-
伊勢志摩	伊勢市	約 54,000	94%	94%	84%	12%	約 51,000	約 51,000	約 46,000	約 6,700
	鳥羽市	約 1,700	100%	100%	88%	15%	約 1,700	約 1,700	約 1,500	約 300
	志摩市	約 6,600	34%	34%	27%	4%	約 2,200	約 2,200	約 1,800	約 300
	玉城町	約 4,900	100%	100%	89%	15%	約 4,900	約 4,900	約 4,400	約 800
	南伊勢町	約 2,700	72%	72%	84%	58%	約 2,000	約 2,000	約 2,300	約 1,600
	大紀町	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	度会町	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	(小計)	約 70,000	88%	88%	79%	14%	約 62,000	約 62,000	約 56,000	約 9,600
東紀州	尾鷲市	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	紀北町	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	熊野市	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	御浜町	約 2,600	100%	100%	88%	15%	約 2,600	約 2,600	約 2,300	約 400
	紀宝町	-	0%	0%	0%	0%	-	-	-	-
	(小計)	約 2,600	100%	100%	88%	15%	約 2,600	約 2,600	約 2,300	約 400
県計	約 871,000	29%	74%	24%	3%	約 249,000	約 644,000	約 205,000	約 29,000	

※下水道処理人口は平成 24 年 3 月時点

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、95%の応急復旧が見込まれるのは3週間程度と想定される。

II-3. 電力

表 II-3.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における停電軒数・停電率

地域区分	市町名	需要家数	直後		1日後		1週間後	
			停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率
北勢	桑名市	約 82,000	約 74,000	90%	約 67,000	82%	約 8,200	10%
	いなべ市	約 28,000	約 25,000	89%	約 23,000	80%	-	0%
	木曽岬町	約 5,900	約 5,600	94%	約 5,300	89%	約 2,600	43%
	東員町	約 14,000	約 12,000	89%	約 11,000	80%	-	0%
	四日市市	約 191,000	約 170,000	89%	約 154,000	81%	約 1,200	1%
	菰野町	約 24,000	約 21,000	89%	約 19,000	80%	-	0%
	朝日町	約 5,700	約 5,100	89%	約 4,600	80%	約 20	0%
	川越町	約 8,700	約 7,900	91%	約 7,300	84%	約 1,400	17%
	鈴鹿市	約 114,000	約 101,000	89%	約 92,000	80%	約 100	0%
	亀山市	約 31,000	約 27,000	89%	約 25,000	80%	-	0%
	(小計)	約 503,000	約 448,000	89%	約 407,000	81%	約 14,000	3%
中勢	津市	約 186,000	約 166,000	89%	約 151,000	81%	約 5,100	3%
	松阪市	約 108,000	約 96,000	89%	約 87,000	81%	約 1,800	2%
	多気町	約 10,000	約 9,000	89%	約 8,100	80%	-	0%
	明和町	約 15,000	約 13,000	90%	約 12,000	82%	約 1,300	9%
	大台町	約 8,000	約 7,100	89%	約 6,400	80%	-	0%
	(小計)	約 327,000	約 291,000	89%	約 265,000	81%	約 8,200	3%
伊賀	伊賀市	約 66,000	約 59,000	89%	約 53,000	80%	-	0%
	名張市	約 48,000	約 43,000	89%	約 39,000	80%	-	0%
	(小計)	約 115,000	約 102,000	89%	約 92,000	80%	-	0%
伊勢志摩	伊勢市	約 84,000	約 75,000	90%	約 69,000	82%	約 8,300	10%
	鳥羽市	約 17,000	約 15,000	91%	約 14,000	84%	約 3,100	18%
	志摩市	約 42,000	約 38,000	90%	約 35,000	83%	約 4,900	12%
	玉城町	約 9,400	約 8,300	89%	約 7,500	80%	-	0%
	南伊勢町	約 14,000	約 13,000	93%	約 12,000	88%	約 5,200	37%
	大紀町	約 8,500	約 7,700	90%	約 7,000	83%	約 1,000	12%
	度会町	約 5,300	約 4,700	89%	約 4,300	80%	-	0%
	(小計)	約 179,000	約 162,000	90%	約 149,000	83%	約 22,000	13%
東紀州	尾鷲市	約 16,000	約 15,000	92%	約 14,000	86%	約 5,000	31%
	紀北町	約 15,000	約 14,000	93%	約 13,000	88%	約 5,700	38%
	熊野市	約 22,000	約 20,000	89%	約 18,000	81%	約 600	3%
	御浜町	約 9,900	約 8,800	89%	約 8,000	80%	約 40	0%
	紀宝町	約 19,000	約 17,000	89%	約 15,000	80%	約 10	0%
	(小計)	約 82,000	約 74,000	90%	約 68,000	83%	約 11,000	14%
県計		約 1,206,000	約 1,077,000	89%	約 981,000	81%	約 56,000	5%

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、1週間程度で概ね95%の応急復旧が見込まれる。

表 II-3.2 理論上最大クラスの南海トラフ地震における停電軒数・停電率
 【地震動:陸側ケース、津波:ケース⑦】

地域区分	市町名	需要家数	直後		1日後		1週間後	
			停電軒数	停電率	停電軒数	停電率	停電軒数	停電率
北勢	桑名市	約 82,000	約 74,000	90%	約 68,000	83%	約 11,000	13%
	いなべ市	約 28,000	約 25,000	89%	約 23,000	80%	約 30	0%
	木曽岬町	約 5,900	約 5,600	94%	約 5,300	90%	約 2,900	49%
	東員町	約 14,000	約 12,000	89%	約 11,000	80%	約 40	0%
	四日市市	約 191,000	約 170,000	89%	約 154,000	81%	約 16,000	8%
	菰野町	約 24,000	約 21,000	89%	約 19,000	80%	約 40	0%
	朝日町	約 5,700	約 5,100	89%	約 4,600	81%	約 100	2%
	川越町	約 8,700	約 8,000	91%	約 7,400	85%	約 2,200	26%
	鈴鹿市	約 114,000	約 102,000	89%	約 92,000	81%	約 2,100	2%
	亀山市	約 31,000	約 27,000	89%	約 25,000	80%	約 100	0%
(小計)	約 503,000	約 449,000	89%	約 408,000	81%	約 34,000	7%	
中勢	津市	約 186,000	約 167,000	90%	約 152,000	82%	約 28,000	15%
	松阪市	約 108,000	約 97,000	89%	約 88,000	81%	約 16,000	14%
	多気町	約 10,000	約 9,000	89%	約 8,100	80%	約 300	3%
	明和町	約 15,000	約 13,000	89%	約 12,000	81%	約 1,500	10%
	大台町	約 8,000	約 7,100	89%	約 6,400	80%	約 100	1%
	(小計)	約 327,000	約 292,000	89%	約 266,000	81%	約 45,000	14%
	伊賀市	約 66,000	約 59,000	89%	約 53,000	80%	約 100	0%
伊賀	名張市	約 48,000	約 43,000	89%	約 39,000	80%	約 60	0%
	(小計)	約 115,000	約 102,000	89%	約 92,000	80%	約 200	0%
	伊勢市	約 84,000	約 75,000	90%	約 69,000	83%	約 22,000	27%
伊勢志摩	鳥羽市	約 17,000	約 15,000	91%	約 14,000	84%	約 3,600	21%
	志摩市	約 42,000	約 38,000	91%	約 35,000	85%	約 10,000	24%
	玉城町	約 9,400	約 8,300	89%	約 7,500	80%	約 300	3%
	南伊勢町	約 14,000	約 13,000	95%	約 13,000	91%	約 7,600	55%
	大紀町	約 8,500	約 7,700	90%	約 7,100	83%	約 1,300	15%
	度会町	約 5,300	約 4,700	89%	約 4,300	80%	約 100	3%
	(小計)	約 179,000	約 163,000	91%	約 150,000	84%	約 46,000	25%
	尾鷲市	約 16,000	約 15,000	93%	約 14,000	89%	約 7,500	46%
東紀州	紀北町	約 15,000	約 14,000	95%	約 14,000	91%	約 8,500	57%
	熊野市	約 22,000	約 20,000	89%	約 18,000	81%	約 1,300	6%
	御浜町	約 9,900	約 8,800	89%	約 8,000	81%	約 400	4%
	紀宝町	約 19,000	約 17,000	89%	約 15,000	81%	約 500	3%
	(小計)	約 82,000	約 74,000	91%	約 69,000	84%	約 18,000	22%
	県計	約 1,206,000	約 1,080,000	90%	約 986,000	82%	約 143,000	12%

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、1週間程度で概ね95%の応急復旧が見込まれる。ただし、過去最大クラスよりも不確定要素が多いため、より広い地域で停電が長期化する可能性がある。

II-4. 通信

表 II-4.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における固定電話の不通回線数・不通回線率

地域区分	市町名	回線数	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
			不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率
北勢	桑名市	約 26,000	約 23,000	90%	約 21,000	83%	約 2,900	11%	約 2,900	11%
	いなべ市	約 11,000	約 9,700	89%	約 8,800	80%	-	0%	-	0%
	木曽岬町	約 1,600	約 1,500	94%	約 1,400	89%	約 700	43%	約 700	43%
	東員町	約 4,700	約 4,200	89%	約 3,800	80%	-	0%	-	0%
	四日市市	約 63,000	約 56,000	89%	約 51,000	81%	約 2,200	3%	約 2,100	3%
	菟野町	約 7,800	約 7,000	89%	約 6,300	80%	-	0%	-	0%
	朝日町	約 1,700	約 1,500	89%	約 1,300	81%	約 50	3%	約 50	3%
	川越町	約 1,900	約 1,700	92%	約 1,600	86%	約 600	31%	約 600	31%
	鈴鹿市	約 39,000	約 35,000	89%	約 31,000	81%	約 400	1%	約 400	1%
	亀山市	約 9,900	約 8,800	89%	約 8,000	80%	-	0%	-	0%
(小計)	約 167,000	約 149,000	89%	約 135,000	81%	約 6,800	4%	約 6,600	4%	
中勢	津市	約 64,000	約 57,000	89%	約 52,000	81%	約 2,400	4%	約 2,300	4%
	松阪市	約 40,000	約 36,000	89%	約 33,000	81%	約 1,700	4%	約 1,600	4%
	多気町	約 4,100	約 3,700	89%	約 3,300	80%	-	0%	-	0%
	明和町	約 5,500	約 4,900	90%	約 4,500	83%	約 700	12%	約 700	12%
	大台町	約 3,900	約 3,400	89%	約 3,100	81%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 118,000	約 105,000	89%	約 96,000	81%	約 4,800	4%	約 4,600	4%
伊賀	伊賀市	約 24,000	約 21,000	89%	約 19,000	80%	-	0%	-	0%
	名張市	約 18,000	約 16,000	89%	約 15,000	80%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 42,000	約 37,000	89%	約 34,000	80%	-	0%	-	0%
伊勢志摩	伊勢市	約 36,000	約 33,000	91%	約 30,000	84%	約 6,700	19%	約 5,900	16%
	鳥羽市	約 7,700	約 7,100	92%	約 6,600	86%	約 2,200	28%	約 2,100	28%
	志摩市	約 22,000	約 20,000	91%	約 19,000	84%	約 4,400	20%	約 4,200	19%
	玉城町	約 3,600	約 3,200	89%	約 2,900	81%	-	0%	-	0%
	南伊勢町	約 6,500	約 6,100	94%	約 5,800	89%	約 3,000	46%	約 2,900	44%
	大紀町	約 3,200	約 2,900	91%	約 2,600	84%	約 500	16%	約 500	16%
	度会町	約 2,700	約 2,400	89%	約 2,200	81%	-	0%	-	0%
	(小計)	約 82,000	約 75,000	91%	約 69,000	85%	約 17,000	20%	約 16,000	19%
東紀州	尾鷲市	約 8,700	約 8,200	93%	約 7,700	89%	約 3,600	41%	約 3,600	41%
	紀北町	約 6,700	約 6,300	95%	約 6,100	90%	約 3,400	51%	約 3,400	50%
	熊野市	約 7,900	約 7,100	90%	約 6,500	82%	約 800	9%	約 700	9%
	御浜町	約 3,400	約 3,000	90%	約 2,800	82%	約 200	5%	約 200	5%
	紀宝町	約 3,200	約 2,800	89%	約 2,600	81%	約 20	0%	約 20	0%
(小計)	約 30,000	約 27,000	92%	約 26,000	86%	約 7,900	27%	約 7,800	26%	
県計	約 438,000	約 393,000	90%	約 360,000	82%	約 36,000	8%	約 35,000	8%	

(注) 不通回線数および不通回線率には、停電による不通と物理的被害による不通を含む。

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、95%の応急復旧が見込まれるのは5週間程度と想定される。

表 II-4.2 理論上最大クラスの南海トラフ地震における固定電話の不通回線数・不通回線率
 [地震動:陸側ケース、津波:ケース⑦]

地域区分	市町名	回線数	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
			不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率	不通回線数	不通回線率
北勢	桑名市	約 26,000	約 24,000	91%	約 22,000	85%	約 6,300	24%	約 5,900	23%
	いなべ市	約 11,000	約 9,700	89%	約 8,800	80%	約 10	0%	-	0%
	木曽岬町	約 1,600	約 1,500	98%	約 1,500	97%	約 1,300	83%	約 1,300	82%
	東員町	約 4,700	約 4,200	89%	約 3,800	81%	約 10	0%	-	0%
	四日市市	約 63,000	約 57,000	90%	約 53,000	83%	約 12,000	18%	約 4,100	7%
	菰野町	約 7,800	約 7,000	89%	約 6,300	80%	約 10	0%	-	0%
	朝日町	約 1,700	約 1,500	89%	約 1,300	81%	約 100	6%	約 40	3%
	川越町	約 1,900	約 1,700	94%	約 1,600	89%	約 800	45%	約 800	42%
	鈴鹿市	約 39,000	約 35,000	89%	約 32,000	81%	約 1,900	5%	約 1,100	3%
	亀山市	約 9,900	約 8,800	89%	約 8,000	81%	約 30	0%	-	0%
(小計)	約 167,000	約 150,000	90%	約 138,000	83%	約 22,000	13%	約 13,000	8%	
中勢	津市	約 64,000	約 59,000	91%	約 55,000	85%	約 18,000	28%	約 11,000	17%
	松阪市	約 40,000	約 37,000	92%	約 34,000	85%	約 12,000	31%	約 5,600	14%
	多気町	約 4,100	約 3,700	90%	約 3,400	82%	約 300	7%	-	0%
	明和町	約 5,500	約 5,000	91%	約 4,600	84%	約 1,300	24%	約 700	13%
	大台町	約 3,900	約 3,400	89%	約 3,100	81%	約 200	4%	-	0%
	(小計)	約 118,000	約 108,000	91%	約 100,000	85%	約 32,000	27%	約 17,000	14%
伊賀	伊賀市	約 24,000	約 21,000	89%	約 19,000	81%	約 40	0%	-	0%
	名張市	約 18,000	約 16,000	89%	約 15,000	80%	約 20	0%	-	0%
	(小計)	約 42,000	約 37,000	89%	約 34,000	80%	約 60	0%	-	0%
伊勢志摩	伊勢市	約 36,000	約 34,000	94%	約 32,000	89%	約 19,000	52%	約 11,000	30%
	鳥羽市	約 7,700	約 7,200	93%	約 6,800	88%	約 3,100	40%	約 2,700	35%
	志摩市	約 22,000	約 21,000	94%	約 20,000	89%	約 10,000	47%	約 9,200	42%
	玉城町	約 3,600	約 3,300	90%	約 3,000	82%	約 300	9%	-	0%
	南伊勢町	約 6,500	約 6,400	98%	約 6,300	96%	約 5,200	80%	約 5,000	77%
	大紀町	約 3,200	約 2,900	92%	約 2,700	86%	約 900	30%	約 800	27%
	度会町	約 2,700	約 2,400	90%	約 2,200	82%	約 200	7%	-	0%
	(小計)	約 82,000	約 77,000	94%	約 73,000	89%	約 39,000	48%	約 29,000	35%
東紀州	尾鷲市	約 8,700	約 8,500	97%	約 8,300	95%	約 6,400	73%	約 5,900	67%
	紀北町	約 6,700	約 6,600	98%	約 6,500	97%	約 5,600	83%	約 5,400	81%
	熊野市	約 7,900	約 7,200	90%	約 6,600	83%	約 1,200	15%	約 800	10%
	御浜町	約 3,400	約 3,000	90%	約 2,800	82%	約 400	12%	約 200	6%
	紀宝町	約 3,200	約 2,800	90%	約 2,600	82%	約 300	8%	約 200	7%
	(小計)	約 30,000	約 28,000	94%	約 27,000	89%	約 14,000	46%	約 13,000	42%
県計	約 438,000	約 400,000	91%	約 371,000	85%	約 107,000	24%	約 71,000	16%	

(注) 不通回線数および不通回線率には、停電による不通と物理的被害による不通を含む。

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、95%の応急復旧が見込まれるのは7週間程度と想定される。

表 II-4.3 過去最大クラスの南海トラフ地震における携帯電話の停波基地局率・不通ランク

地域区分	市町名	直後		1日後		1週間後	
		停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク
北勢	桑名市	1%	-	83%	A	11%	-
	いなべ市	0%	-	80%	A	0%	-
	木曽岬町	0%	-	89%	A	43%	B
	東員町	0%	-	80%	A	0%	-
	四日市市	3%	-	81%	A	3%	-
	菰野町	0%	-	80%	A	0%	-
	朝日町	3%	-	81%	A	3%	-
	川越町	17%	-	86%	A	31%	-
	鈴鹿市	1%	-	81%	A	1%	-
	亀山市	0%	-	80%	A	0%	-
中勢	津市	1%	-	81%	A	4%	-
	松阪市	3%	-	81%	A	4%	-
	多気町	0%	-	80%	A	0%	-
	明和町	4%	-	83%	A	12%	-
	大台町	1%	-	81%	A	0%	-
伊賀	伊賀市	0%	-	80%	A	0%	-
	名張市	0%	-	80%	A	0%	-
伊勢志摩	伊勢市	10%	-	84%	A	19%	-
	鳥羽市	12%	-	86%	A	28%	-
	志摩市	10%	-	84%	A	20%	-
	玉城町	1%	-	81%	A	0%	-
	南伊勢町	14%	-	89%	A	46%	C
	大紀町	5%	-	84%	A	16%	-
	度会町	1%	-	81%	A	0%	-
東紀州	尾鷲市	15%	-	89%	A	41%	C
	紀北町	20%	-	90%	A	51%	C
	熊野市	7%	-	82%	A	9%	-
	御浜町	7%	-	82%	A	5%	-
	紀宝町	3%	-	81%	A	0%	-

(注) 停波基地局率には、停電による停波と物理的被害による固定電話の不通を含む。

<携帯電話の不通ランク>

ランク A: 停電による停波基地局率と物理的被害に基づく固定電話不通回線率の少なくとも一方が 50% を超える。

ランク B: 停電による停波基地局率と物理的被害に基づく固定電話不通回線率の少なくとも一方が 40% を超える。

ランク C: 停電による停波基地局率と物理的被害に基づく固定電話不通回線率の少なくとも一方が 30% を超える。

— : 上記ランク A,B,C のいずれにも該当しない。

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、1週間程度で概ね 95% の応急復旧が見込まれる。

表 II-4.4 理論上最大クラスの南海トラフ地震における携帯電話の停波基地局率・不通ランク
〔地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦〕

地域区分	市町名	直後		1日後		1週間後	
		停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク	停波基地局率	不通ランク
北勢	桑名市	13%	-	85%	A	24%	-
	いなべ市	0%	-	80%	A	0%	-
	木曽岬町	67%	A	97%	A	83%	A
	東員町	1%	-	81%	A	0%	-
	四日市市	13%	-	83%	A	19%	-
	菰野町	0%	-	80%	A	0%	-
	朝日町	4%	-	81%	A	6%	-
	川越町	27%	-	89%	A	45%	-
	鈴鹿市	4%	-	81%	A	5%	-
	亀山市	1%	-	81%	A	0%	-
中勢	津市	18%	-	85%	A	29%	-
	松阪市	22%	-	85%	A	31%	-
	多気町	7%	-	82%	A	7%	-
	明和町	17%	-	84%	A	24%	-
	大台町	5%	-	81%	A	4%	-
伊賀	伊賀市	1%	-	81%	A	0%	-
	名張市	0%	-	80%	A	0%	-
伊勢志摩	伊勢市	39%	C	89%	A	53%	C
	鳥羽市	25%	-	88%	A	40%	-
	志摩市	31%	C	89%	A	47%	C
	玉城町	9%	-	82%	A	9%	-
	南伊勢町	57%	A	96%	A	80%	A
	大紀町	18%	-	86%	A	30%	-
	度会町	8%	-	82%	A	7%	-
東紀州	尾鷲市	52%	A	95%	A	74%	A
	紀北町	61%	A	97%	A	83%	A
	熊野市	11%	-	83%	A	15%	-
	御浜町	9%	-	82%	A	12%	-
	紀宝町	6%	-	82%	A	8%	-

(注) 停波基地局率には、停電による停波と物理的被害による固定電話の不通を含む。

<携帯電話の不通ランク>

ランク A: 停電による停波基地局率と物理的被害に基づく固定電話不通回線率の少なくとも一方が 50% を超える。

ランク B: 停電による停波基地局率と物理的被害に基づく固定電話不通回線率の少なくとも一方が 40% を超える。

ランク C: 停電による停波基地局率と物理的被害に基づく固定電話不通回線率の少なくとも一方が 30% を超える。

— : 上記ランク A,B,C のいずれにも該当しない。

※ 津波により被災した需要家を復旧対象から除外すると、7 週間程度で概ね 95% の応急復旧が見込まれる。

II-5. ガス

表 II-5.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における復旧対象戸数・供給停止率

地域区分	市町名	需要家数 (戸)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
			復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)	復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)	復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)	復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)
北勢	桑名市	約17,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	いなべ市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東員町	約4,200	-	-	-	-	-	-	-	-
	四日市市	約47,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	菰野町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	朝日町	約1,900	-	-	-	-	-	-	-	-
	川越町	約400	-	-	-	-	-	-	-	-
	鈴鹿市	約4,800	-	-	-	-	-	-	-	-
	亀山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小計)	約75,000	-	-	-	-	-	-	-	-	
中勢	津市	約38,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	松阪市	約14,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	多気町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	明和町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	大台町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	(小計)	約52,000	-	-	-	-	-	-	-	-
伊賀	伊賀市	約10,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	名張市	約15,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約25,000	-	-	-	-	-	-	-	-
伊勢志摩	伊勢市	約15,000	約6,500	43%	約6,500	43%	約5,000	33%	-	-
	鳥羽市	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	志摩市	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	玉城町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	南伊勢町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	大紀町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	度会町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	(小計)	約15,000	約6,500	43%	約6,500	43%	約5,000	33%	-	-
東紀州	尾鷲市	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	紀北町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	熊野市	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	御浜町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	紀宝町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	(小計)	/	/	/	/	/	/	/	/	/
県計	約167,000	約6,500	4%	約6,500	4%	約5,000	3%	-	-	

(注1)-:わずか

(注2)/:都市ガス供給区域外地域

※ 復旧対象戸数は、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

※ 概ね供給を継続する。ただし、被害を受けている需要家に限定すれば、復旧に4週間程度かかる可能性がある。

表 II-5.2 理論上最大クラスの南海トラフ地震における復旧対象戸数・供給停止率

地域区分	市町名	需要家数 (戸)	直後		1日後		1週間後		1ヶ月後	
			復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)	復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)	復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)	復旧対象 戸数 (戸)	供給 停止率 (%)
北勢	桑名市	約17,000	約9,500	57%	約9,500	57%	約8,100	49%	約2,900	18%
	いなべ市	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	木曽岬町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東員町	約4,200	約2,400	57%	約2,400	57%	約2,100	49%	約700	18%
	四日市市	約47,000	約27,000	58%	約27,000	58%	約23,000	50%	約8,400	18%
	菰野町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	朝日町	約1,900	約1,100	58%	約1,100	58%	約900	50%	約300	18%
	川越町	約400	約200	58%	約200	58%	約200	50%	-	-
	鈴鹿市	約4,800	約3,100	64%	約3,100	64%	約2,600	55%	約900	20%
亀山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(小計)	約75,000	約43,000	58%	約43,000	58%	約37,000	50%	約13,000	18%	
中勢	津市	約38,000	約16,000	43%	約16,000	43%	約14,000	37%	約5,100	13%
	松阪市	約14,000	約5,600	40%	約5,600	40%	約4,800	34%	約1,700	12%
	多気町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	明和町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	大台町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	(小計)	約52,000	約22,000	42%	約22,000	42%	約19,000	36%	約6,800	13%
伊賀	伊賀市	約10,000	約8,000	80%	約8,000	80%	約6,900	69%	約2,500	25%
	名張市	約15,000	-	-	-	-	-	-	-	-
	(小計)	約25,000	約8,000	32%	約8,000	32%	約6,900	27%	約2,500	10%
伊勢志摩	伊勢市	約15,000	約3,000	20%	約3,000	20%	約2,600	17%	約900	6%
	鳥羽市	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	志摩市	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	玉城町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	南伊勢町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	大紀町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	度会町	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	(小計)	約15,000	約3,000	20%	約3,000	20%	約2,600	17%	約900	6%
	東紀州	尾鷲市	/	/	/	/	/	/	/	/
紀北町		/	/	/	/	/	/	/	/	/
熊野市		/	/	/	/	/	/	/	/	/
御浜町		/	/	/	/	/	/	/	/	/
紀宝町		/	/	/	/	/	/	/	/	/
(小計)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
県計	約167,000	約76,000	46%	約76,000	46%	約66,000	39%	約24,000	14%	

(注1)-: わずか

(注2)/: 都市ガス供給区域外地域

※ 復旧対象戸数は、全供給停止戸数のうち家屋被害の著しい需要家分を除いたもの

※ 家屋被害の著しい需要家を復旧対象から除外すると、6週間程度で概ね95%の応急復旧が見込まれる。

III 交通施設被害に係る想定結果

III-1. ヘリポート等

1 過去最大クラスの地震・津波

表 III-1.1 過去最大クラスの南海トラフ地震におけるヘリポート等の震度・液状化危険度・津波
○主なヘリポート・飛行場外離着陸場

区分	施設名	震度	液状化危険度	津波浸水	長期湛水
ヘリポート	伊勢湾ヘリポート	6弱	極めて高い	※	—
飛行場外離着陸場	東紀州（紀南）広域防災拠点	6弱	—	—	—
	熊野救急ヘリポート	6強	—	—	—
	東紀州（紀北）広域防災拠点	6弱	—	—	—
	銚子川河川敷駐車場	6弱	極めて高い	—	—
	山岳救助訓練施設	6弱	—	—	—
	コクマタ山・青空広場	5強	—	—	—
	ともやま芝生広場	6強	—	—	—
	長沢運動公園	6弱	—	—	—
	飯高西中学校グラウンド	5強	—	—	—
	宮川総合支所ヘリポート	6弱	—	—	—
	伊勢志摩広域防災拠点	6弱	—	—	—
	伊賀広域防災拠点	5強	—	—	—
	雲出川左岸浄化センター空地	6弱	極めて高い	※	—
	亀山公園芝生広場	6弱	—	—	—
	三重県営鈴鹿スポーツガーデン	5強	—	—	—
	鈴鹿川防災ステーション	6弱	極めて高い	—	—
	中勢防災拠点(消防学校西)	6弱	—	—	—
	菰野町役場 三滝川堤防	6弱	—	—	—
	保々工業団地中央公園	5強	—	—	—
	北勢中央公園(芝生広場)	5強	—	—	—
	山村貯水池	5強	—	—	—
	いなべ市員弁運動公園サッカー場	6弱	—	—	—
	長島町運動公園(木曾川堤防右岸)	5強	極めて高い	あり	—
三重大学陸上競技場	6弱	極めて高い	あり	—	
御菌ラブリバー公園内グラウンド(宮川大橋下流)	6弱	極めて高い	※	—	

※周囲に浸水あり

○その他の飛行場外離着陸場

震度6強以上となる飛行場外離着陸場	55箇所
液状化危険度が極めて高い飛行場外離着陸場	75箇所
浸水の恐れがある飛行場外離着陸場	69箇所

※ヘリポート・飛行場外離着陸場は平成25年12月時点

表 III-1.2 過去最大クラスの南海トラフ地震における市町別：ヘリポート等の被害

地域区分	市町名	総数	液状化危険度が極めて高く、かつ津波浸水の恐れがある	液状化危険度が極めて高い	津波浸水の恐れがある	長期的に湛水する恐れがある
北勢	桑名市	22	10	13	11	1
	いなべ市	18	0	1	0	0
	木曽岬町	3	2	3	2	2
	東員町	4	0	1	0	0
	四日市市	38	4	13	4	0
	菰野町	15	0	0	0	0
	朝日町	2	0	0	0	0
	川越町	4	2	4	2	0
	鈴鹿市	28	0	4	2	0
	亀山市	17	0	0	0	0
	(小計)	151	18	39	21	3
中勢	津市	54	2	6	4	0
	松阪市	33	3	7	4	1
	多気町	4	0	0	0	0
	明和町	11	3	4	3	0
	大台町	7	0	0	0	0
	(小計)	109	8	17	11	1
伊賀	伊賀市	39	0	0	0	0
	名張市	27	0	0	0	0
	(小計)	66	0	0	0	0
伊勢志摩	伊勢市	10	4	8	4	0
	鳥羽市	16	1	2	8	0
	志摩市	28	2	4	5	0
	玉城町	7	0	0	0	0
	南伊勢町	9	1	2	4	0
	大紀町	11	0	0	1	0
	度会町	7	0	0	0	0
	(小計)	88	8	16	22	0
東紀州	尾鷲市	11	0	0	6	0
	紀北町	20	1	4	8	0
	熊野市	28	1	3	2	0
	御浜町	5	1	1	1	0
	紀宝町	8	0	2	0	0
	(小計)	72	3	10	17	0
県計		486	37	82	71	4

※ヘリポート・飛行場外離着陸場は平成 25 年 12 月時点

2 理論上最大クラスの地震・津波 地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦

表 III-1.3 理論上最大クラスの南海トラフ地震におけるヘリポート等の震度・液状化危険度・津波
〔地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦〕

○主なヘリポート・飛行場外離着陸場

区分	施設名	震度	液状化危険度	津波浸水	長期湛水
ヘリポート	伊勢湾ヘリポート	6強	極めて高い	※	—
飛行場外離着陸場	東紀州（紀南）広域防災拠点	6強	—	—	—
	熊野救急ヘリポート	6強	—	—	—
	東紀州（紀北）広域防災拠点	6強	—	—	—
	銚子川河川敷駐車場	7	極めて高い	あり	—
	山岳救助訓練施設	6強	—	—	—
	コクマタ山・青空広場	6弱	—	—	—
	ともやま芝生広場	7	—	—	—
	長沢運動公園	7	—	—	—
	飯高西中学校グラウンド	6弱	—	—	—
	宮川総合支所ヘリポート	6強	—	—	—
	伊勢志摩広域防災拠点	6強	—	—	—
	伊賀広域防災拠点	6弱	—	—	—
	雲出川左岸浄化センター空地	6強	極めて高い	※	—
	亀山公園芝生広場	6強	—	—	—
	三重県営鈴鹿スポーツガーデン	6弱	—	—	—
	鈴鹿川防災ステーション	6強	極めて高い	—	—
	中勢防災拠点(消防学校西)	6強	—	—	—
	菰野町役場 三滝川堤防	6強	—	—	—
	保々工業団地中央公園	6弱	—	—	—
	北勢中央公園(芝生広場)	6弱	—	—	—
	山村貯水池	6弱	—	—	—
	いなべ市員弁運動公園サッカー場	6強	—	—	—
	長島町運動公園(木曾川堤防右岸)	6弱	極めて高い	あり	—
三重大学陸上競技場	6強	極めて高い	あり	—	
御菌ラブリバー公園内グラウンド(宮川大橋下流)	7	極めて高い	あり	—	

※周囲に浸水あり

○その他の飛行場外離着陸場

震度6強以上となる飛行場外離着陸場	283箇所
液状化危険度が極めて高い飛行場外離着陸場	93箇所
浸水の恐れがある飛行場外離着陸場	87箇所

※ヘリポート・飛行場外離着陸場は平成25年12月時点

表 III-1.4 理論上最大クラスの南海トラフ地震における市町別：ヘリポート等の被害
〔地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦〕

地域区分	市町名	総数	液状化危険度が極めて高く、かつ津波浸水の恐れがある	液状化危険度が極めて高い	津波浸水の恐れがある	長期的に湛水する恐れがある
北勢	桑名市	22	12	14	12	2
	いなべ市	18	0	1	0	0
	木曽岬町	3	2	3	2	2
	東員町	4	0	1	0	0
	四日市市	38	4	16	6	0
	菰野町	15	0	0	0	0
	朝日町	2	1	1	1	0
	川越町	4	2	4	2	0
	鈴鹿市	28	2	7	2	0
	亀山市	17	0	1	0	0
	(小計)	151	23	48	25	4
中勢	津市	54	3	8	5	0
	松阪市	33	4	8	5	1
	多気町	4	0	0	0	0
	明和町	11	3	4	3	0
	大台町	7	0	0	0	0
	(小計)	109	10	20	13	1
伊賀	伊賀市	39	0	0	0	0
	名張市	27	0	0	0	0
	(小計)	66	0	0	0	0
伊勢志摩	伊勢市	10	5	8	5	0
	鳥羽市	16	1	2	8	0
	志摩市	28	4	4	10	0
	玉城町	7	0	1	0	0
	南伊勢町	9	2	2	7	0
	大紀町	11	0	0	1	0
	度会町	7	0	1	0	0
(小計)	88	12	18	31	0	
東紀州	尾鷲市	11	1	1	6	0
	紀北町	20	4	5	11	0
	熊野市	28	1	5	3	0
	御浜町	5	1	1	2	0
	紀宝町	8	0	2	0	0
	(小計)	72	7	14	22	0
県計		486	52	100	91	5

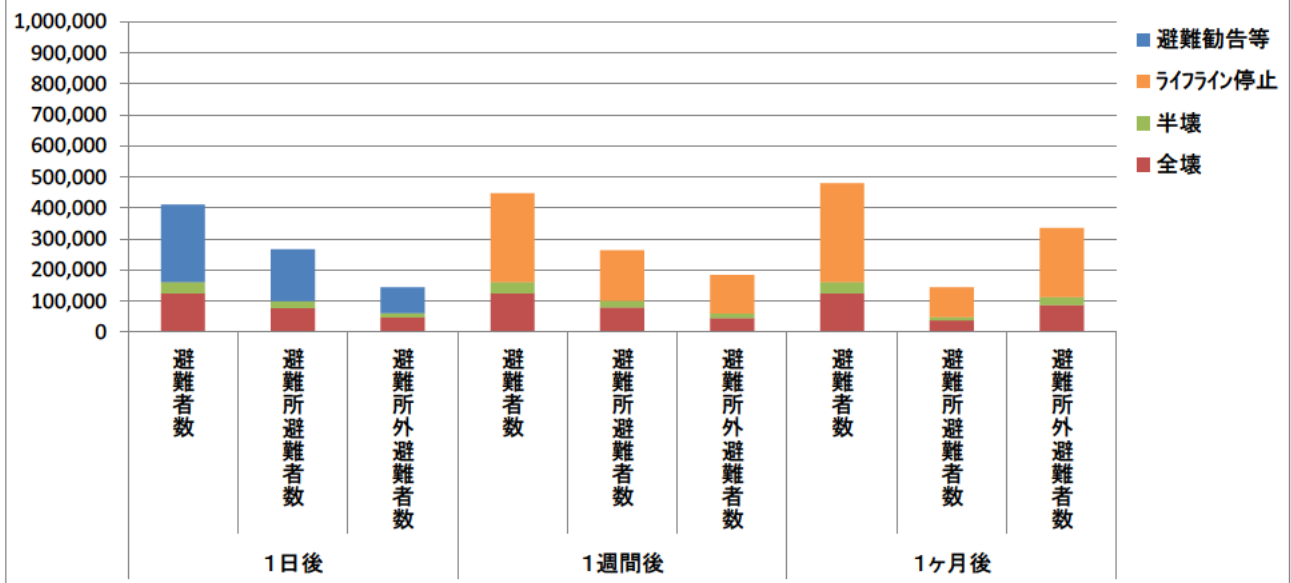
※ヘリポート・飛行場外離着陸場は平成25年12月時点

IV 生活支障等に係る想定結果

IV-1. 避難者

表 IV-1.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における避難者数(冬夕発災)

地域区分	市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外
北勢	桑名市	約 57,000	約 37,000	約 20,000	約 42,000	約 26,000	約 15,000	約 52,000	約 16,000	約 36,000
	いなべ市	約 70	約 40	約 30	約 5,400	約 2,700	約 2,700	約 6,400	約 1,900	約 4,500
	木曾岬町	約 6,600	約 4,400	約 2,200	約 5,100	約 4,400	約 700	約 6,400	約 1,900	約 4,500
	東員町	約 200	約 100	約 70	約 3,900	約 1,900	約 1,900	約 200	約 50	約 100
	四日市市	約 39,000	約 26,000	約 14,000	約 63,000	約 34,000	約 29,000	約 24,000	約 7,300	約 17,000
	菟野町	約 90	約 60	約 40	約 4,600	約 2,300	約 2,300	約 90	約 30	約 70
	朝日町	約 800	約 500	約 300	約 2,600	約 1,400	約 1,200	約 7,500	約 2,300	約 5,300
	川越町	約 12,000	約 8,000	約 4,100	約 6,400	約 5,200	約 1,100	約 12,000	約 3,600	約 8,300
	鈴鹿市	約 18,000	約 12,000	約 6,300	約 35,000	約 19,000	約 17,000	約 3,900	約 1,200	約 2,700
	亀山市	約 300	約 200	約 100	約 6,000	約 3,000	約 3,000	約 300	約 80	約 200
(小計)	約 135,000	約 88,000	約 47,000	約 174,000	約 100,000	約 74,000	約 113,000	約 34,000	約 79,000	
中勢	津市	約 80,000	約 53,000	約 28,000	約 64,000	約 38,000	約 26,000	約 43,000	約 13,000	約 30,000
	松阪市	約 32,000	約 20,000	約 11,000	約 45,000	約 25,000	約 20,000	約 79,000	約 24,000	約 55,000
	多気町	約 400	約 300	約 200	約 2,600	約 1,300	約 1,300	約 1,900	約 600	約 1,400
	明和町	約 7,300	約 4,700	約 2,600	約 8,000	約 4,600	約 3,300	約 17,000	約 5,200	約 12,000
	大台町	約 500	約 300	約 200	約 1,900	約 1,000	約 1,000	約 2,000	約 600	約 1,400
(小計)	約 120,000	約 78,000	約 42,000	約 121,000	約 69,000	約 52,000	約 143,000	約 43,000	約 100,000	
伊賀	伊賀市	約 300	約 200	約 100	約 8,400	約 4,200	約 4,200	約 300	約 90	約 200
	名張市	約 100	約 80	約 50	約 3,200	約 1,600	約 1,600	約 100	約 40	約 90
	(小計)	約 400	約 300	約 200	約 12,000	約 5,800	約 5,800	約 400	約 100	約 300
伊勢志摩	伊勢市	約 73,000	約 48,000	約 26,000	約 58,000	約 38,000	約 19,000	約 106,000	約 32,000	約 74,000
	鳥羽市	約 10,000	約 6,400	約 3,600	約 8,500	約 5,200	約 3,200	約 7,800	約 2,400	約 5,500
	志摩市	約 23,000	約 15,000	約 8,400	約 24,000	約 14,000	約 9,600	約 43,000	約 13,000	約 30,000
	玉城町	約 1,100	約 600	約 400	約 3,700	約 1,800	約 1,800	約 5,600	約 1,700	約 3,900
	南伊勢町	約 11,000	約 7,000	約 3,900	約 8,900	約 6,200	約 2,700	約 11,000	約 3,400	約 8,000
	大紀町	約 3,200	約 2,000	約 1,200	約 3,200	約 1,800	約 1,400	約 4,000	約 1,200	約 2,800
	度会町	約 500	約 300	約 200	約 1,900	約 1,000	約 1,000	約 2,600	約 800	約 1,800
	(小計)	約 122,000	約 79,000	約 43,000	約 107,000	約 68,000	約 39,000	約 181,000	約 54,000	約 127,000
東紀州	尾鷲市	約 13,000	約 8,100	約 4,500	約 9,500	約 6,300	約 3,200	約 9,100	約 2,700	約 6,300
	紀北町	約 15,000	約 9,400	約 5,100	約 11,000	約 8,300	約 3,100	約 16,000	約 4,900	約 11,000
	熊野市	約 3,200	約 2,000	約 1,200	約 5,700	約 2,900	約 2,700	約 5,700	約 1,700	約 4,000
	御浜町	約 1,800	約 1,100	約 700	約 3,400	約 1,700	約 1,700	約 6,500	約 2,000	約 4,600
	紀宝町	約 1,500	約 900	約 600	約 3,400	約 1,700	約 1,700	約 5,400	約 1,600	約 3,800
(小計)	約 34,000	約 22,000	約 12,000	約 33,000	約 21,000	約 12,000	約 43,000	約 13,000	約 30,000	
県計	約 411,000	約 267,000	約 144,000	約 447,000	約 264,000	約 183,000	約 480,000	約 144,000	約 336,000	



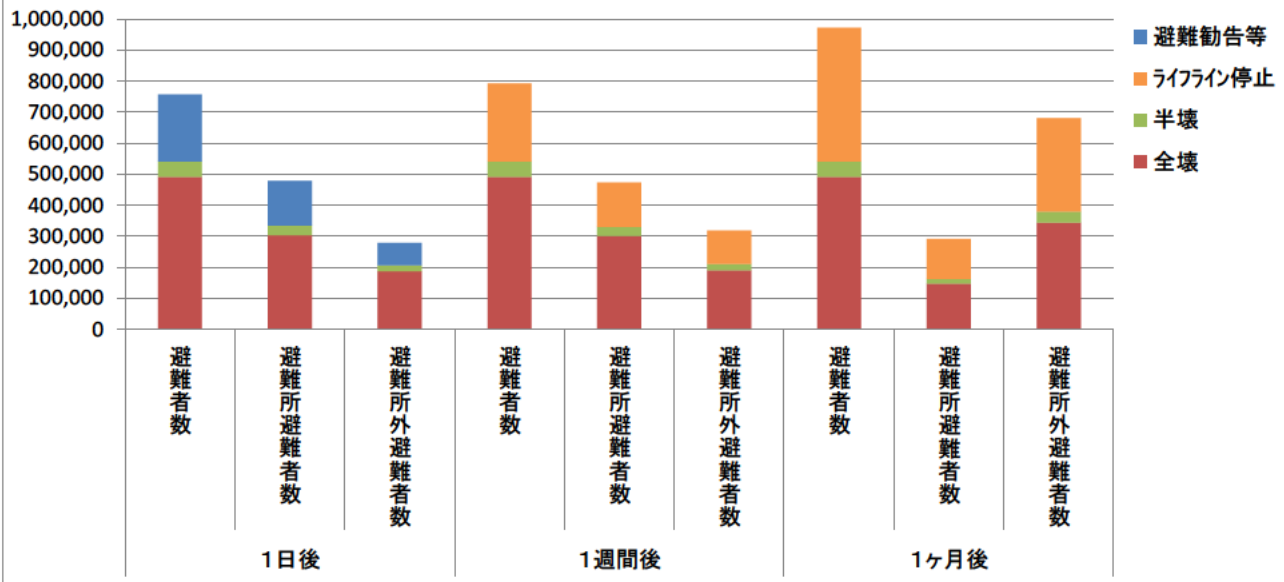
【参考】住宅の耐震化の促進による避難者数の低減
 (過去最大クラスの南海トラフ地震)

		耐震化率			
		現状	90%	95%	100%
発災1日後の 避難者数	全体	約 411,000 人	約 401,000 人	約 394,000 人	約 388,000 人
	(うち自宅被害 を受けた世帯)	約 160,000 人	約 148,000 人	約 140,000 人	約 132,000 人

表 IV-1.2 理論上最大クラスの南海トラフ地震における避難者数(冬夕発災)

〔地震動:陸側ケース、津波:ケース⑦〕

地域区分	市町名	1日後			1週間後			1ヶ月後		
		避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外
北勢	桑名市	約 71,000	約 46,000	約 25,000	約 56,000	約 36,000	約 20,000	約 74,000	約 22,000	約 52,000
	いなべ市	約 1,500	約 900	約 600	約 10,000	約 5,200	約 5,200	約 27,000	約 8,000	約 19,000
	木曽岬町	約 6,700	約 4,400	約 2,300	約 5,600	約 4,900	約 800	約 6,600	約 2,000	約 4,600
	東員町	約 1,600	約 1,000	約 700	約 6,700	約 3,300	約 3,300	約 14,000	約 4,200	約 9,700
	四日市市	約 111,000	約 69,000	約 42,000	約 125,000	約 69,000	約 56,000	約 137,000	約 41,000	約 96,000
	菟野町	約 1,700	約 1,000	約 700	約 7,900	約 3,900	約 3,900	約 6,900	約 2,100	約 4,800
	朝日町	約 2,100	約 1,300	約 800	約 3,500	約 1,900	約 1,600	約 8,300	約 2,500	約 5,800
	川越町	約 13,000	約 8,500	約 4,300	約 8,200	約 6,900	約 1,300	約 13,000	約 3,800	約 9,000
	鈴鹿市	約 51,000	約 32,000	約 19,000	約 64,000	約 35,000	約 29,000	約 84,000	約 25,000	約 59,000
	亀山市	約 4,200	約 2,500	約 1,700	約 12,000	約 6,000	約 6,000	約 4,200	約 1,300	約 2,900
(小計)	約 264,000	約 167,000	約 97,000	約 299,000	約 172,000	約 127,000	約 375,000	約 112,000	約 262,000	
中勢	津市	約 147,000	約 94,000	約 53,000	約 124,000	約 77,000	約 47,000	約 137,000	約 41,000	約 96,000
	松阪市	約 84,000	約 52,000	約 32,000	約 91,000	約 51,000	約 40,000	約 128,000	約 38,000	約 90,000
	多気町	約 4,300	約 2,600	約 1,700	約 6,300	約 3,100	約 3,100	約 7,400	約 2,200	約 5,200
	明和町	約 12,000	約 7,700	約 4,700	約 13,000	約 7,600	約 5,500	約 21,000	約 6,300	約 15,000
	大台町	約 2,400	約 1,400	約 900	約 3,800	約 1,900	約 1,900	約 5,300	約 1,600	約 3,700
	(小計)	約 251,000	約 158,000	約 92,000	約 238,000	約 141,000	約 97,000	約 299,000	約 90,000	約 210,000
伊賀	伊賀市	約 5,900	約 3,600	約 2,400	約 20,000	約 9,900	約 9,900	約 5,900	約 1,800	約 4,200
	名張市	約 2,300	約 1,400	約 900	約 9,700	約 4,900	約 4,900	約 2,300	約 700	約 1,600
	(小計)	約 8,200	約 4,900	約 3,300	約 30,000	約 15,000	約 15,000	約 8,200	約 2,500	約 5,800
伊勢志摩	伊勢市	約 106,000	約 67,000	約 39,000	約 99,000	約 66,000	約 33,000	約 123,000	約 37,000	約 86,000
	鳥羽市	約 14,000	約 8,600	約 5,000	約 13,000	約 7,900	約 4,900	約 16,000	約 4,700	約 11,000
	志摩市	約 38,000	約 24,000	約 14,000	約 37,000	約 23,000	約 14,000	約 50,000	約 15,000	約 35,000
	玉城町	約 6,500	約 3,900	約 2,600	約 8,500	約 4,200	約 4,200	約 12,000	約 3,700	約 8,600
	南伊勢町	約 13,000	約 8,500	約 4,700	約 12,000	約 8,700	約 3,200	約 14,000	約 4,300	約 10,000
	大紀町	約 4,900	約 3,100	約 1,800	約 4,900	約 2,800	約 2,100	約 5,900	約 1,800	約 4,100
	度会町	約 2,900	約 1,800	約 1,200	約 4,100	約 2,100	約 2,100	約 5,800	約 1,700	約 4,100
	(小計)	約 185,000	約 117,000	約 68,000	約 177,000	約 115,000	約 63,000	約 227,000	約 68,000	約 159,000
	東紀州	尾鷲市	約 17,000	約 11,000	約 6,100	約 15,000	約 11,000	約 4,500	約 19,000	約 5,800
紀北町		約 17,000	約 11,000	約 5,900	約 15,000	約 11,000	約 3,600	約 18,000	約 5,400	約 13,000
熊野市		約 8,200	約 5,000	約 3,200	約 9,600	約 5,100	約 4,500	約 11,000	約 3,300	約 7,600
御浜町		約 3,900	約 2,400	約 1,500	約 5,000	約 2,600	約 2,400	約 8,400	約 2,500	約 5,900
紀宝町		約 3,300	約 2,100	約 1,200	約 3,900	約 2,200	約 1,700	約 6,500	約 1,900	約 4,500
(小計)		約 49,000	約 31,000	約 18,000	約 49,000	約 32,000	約 17,000	約 63,000	約 19,000	約 44,000
県計	約 757,000	約 478,000	約 278,000	約 793,000	約 474,000	約 319,000	約 973,000	約 292,000	約 681,000	



IV-2. 帰宅困難者

1 帰宅困難者

表 IV-2.1 南海トラフ地震による帰宅困難者数

地域区分	市町名	市町村からの 流入者数	流入最大市町			流入者数			帰宅困難者数	
			市町名	人数	比率	隣市町	隣市町以外	隣市町比率	市町別	地域区分別
北勢	桑名市	約22,000人	四日市市	約5,200人	24%	約14,000人	約7,700人	64%	約13,000人	約81,000人
	いなべ市	約13,000人	桑名市	約3,500人	28%	約10,000人	約2,600人	80%	約6,900人	
	木曽岬町	約1,800人	桑名市	約570人	32%	約570人	約1,200人	32%	約1,200人	
	東員町	約4,700人	桑名市	約1,700人	36%	約4,000人	約760人	84%	約2,600人	
	四日市市	約51,000人	鈴鹿市	約16,000人	30%	約36,000人	約15,000人	71%	約29,000人	
	菟野町	約5,800人	四日市市	約3,800人	65%	約4,400人	約1,400人	76%	約3,300人	
	朝日町	約3,000人	四日市市	約1,100人	35%	約2,300人	約720人	76%	約1,700人	
	川越町	約5,300人	四日市市	約2,400人	45%	約3,900人	約1,400人	74%	約3,000人	
	鈴鹿市	約25,000人	津市	約7,800人	32%	約20,000人	約4,400人	82%	約13,000人	
亀山市	約12,000人	鈴鹿市	約5,500人	46%	約8,900人	約2,900人	75%	約6,600人		
中勢	津市	約39,000人	松阪市	約14,000人	35%	約25,000人	約13,000人	65%	約23,000人	約41,000人
	松阪市	約21,000人	津市	約6,100人	29%	約12,000人	約8,900人	57%	約13,000人	
	多気町	約5,300人	松阪市	約2,800人	53%	約3,900人	約1,400人	74%	約3,000人	
	明和町	約4,400人	伊勢市	約1,800人	41%	約3,700人	約670人	85%	約2,400人	
伊賀	大台町	約1,400人	大紀町	約460人	32%	約1,100人	約300人	79%	約780人	約12,000人
	伊賀市	約13,000人	名張市	約7,800人	59%	約8,900人	約4,400人	67%	約7,700人	
伊勢志摩	名張市	約6,400人	伊賀市	約3,400人	53%	約4,000人	約2,400人	63%	約3,800人	約17,000人
	伊勢市	約17,000人	志摩市	約2,700人	16%	約11,000人	約5,700人	67%	約10,000人	
	鳥羽市	約3,800人	伊勢市	約1,800人	47%	約3,200人	約660人	83%	約2,100人	
	志摩市	約1,900人	伊勢市	約710人	36%	約1,600人	約380人	80%	約1,100人	
	玉城町	約4,700人	伊勢市	約2,200人	47%	約3,200人	約1,500人	69%	約2,700人	
	南伊勢町	約850人	志摩市	約270人	31%	約640人	約220人	75%	約480人	
	大紀町	約1,000人	大台町	約260人	26%	約590人	約430人	58%	約620人	
度会町	約900人	伊勢市	約470人	53%	約750人	約150人	83%	約490人		
東紀州	尾鷲市	約1,900人	紀北町	約1,300人	70%	約1,500人	約350人	82%	約1,000人	約4,700人
	紀北町	約1,400人	尾鷲市	約890人	65%	約1,100人	約230人	83%	約740人	
	熊野市	約2,500人	御浜町	約1,100人	45%	約1,900人	約590人	76%	約1,400人	
	御浜町	約1,500人	熊野市	約650人	44%	約1,200人	約280人	81%	約810人	
	紀宝町	約1,100人	御浜町	約310人	27%	約520人	約620人	45%	約720人	
県計	約271,000人		約96,000人	35%	約191,000人	約80,000人	70%	約156,000人	約156,000人	

※人口流動は平成22年国勢調査による。

IV-3. 物資不足

1 給水不足

表 IV-3.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における給水不足

地域区分	市町名	給水不足量(トン)			
		自市町のみで対応した場合		余剰量の半分を拠出した場合	
		1~3日目の計	4~7日目の計	1~3日目の計	4~7日目の計
北勢	桑名市	673	9,025	672	9,026
	いなべ市	0	1,445	0	1,445
	木曾岬町	27	494	27	494
	東員町	0	935	0	934
	四日市市	1,451	19,098	1,449	19,098
	菰野町	157	1,685	157	1,686
	朝日町	41	692	41	692
	川越町	0	1,021	0	1,021
	鈴鹿市	769	11,594	768	11,594
	亀山市	104	1,956	104	1,955
	(小計)	3,222	47,945	3,217	47,945
中勢	津市	1,009	16,783	1,007	16,783
	松阪市	578	11,119	577	11,118
	多気町	41	771	41	771
	明和町	83	1,568	83	1,568
	大台町	0	0	0	0
	(小計)	1,711	30,241	1,708	30,240
伊賀	伊賀市	188	2,748	188	2,748
	名張市	189	944	189	944
	(小計)	377	3,691	376	3,692
伊勢志摩	伊勢市	670	9,613	669	9,613
	鳥羽市	62	1,234	62	1,234
	志摩市	181	3,717	181	3,717
	玉城町	64	936	64	936
	南伊勢町	44	935	43	935
	大紀町	0	302	0	302
	度会町	16	469	16	469
	(小計)	1,037	17,205	1,035	17,205
東紀州	尾鷲市	82	1,166	82	1,166
	紀北町	80	1,318	80	1,318
	熊野市	58	1,167	58	1,167
	御浜町	33	624	33	624
	紀宝町	0	574	0	574
	(小計)	254	4,849	253	4,849
県計		6,600	103,931	6,589	103,931

※応急給水資機材、飲料水備蓄量は平成24年4月1日時点

表 IV-3.2 理論上最大クラスの南海トラフ地震における給水不足
〔地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦〕

地域区分	市町名	給水不足量(トン)			
		自市町のみで対応した場合		余剰量の半分を抛出した場合	
		1～3日目の計	4～7日目の計	1～3日目の計	4～7日目の計
北勢	桑名市	707	9,244	707	9,244
	いなべ市	0	2,480	0	2,480
	木曾岬町	27	494	27	494
	東員町	0	1,317	0	1,317
	四日市市	1,636	20,194	1,636	20,194
	菰野町	176	2,315	176	2,315
	朝日町	44	700	44	700
	川越町	0	1,027	0	1,027
	鈴鹿市	867	13,203	867	13,203
	亀山市	135	2,777	135	2,777
	(小計)	3,593	53,752	3,593	53,752
中勢	津市	1,187	17,721	1,187	17,721
	松阪市	709	11,697	709	11,697
	多気町	54	908	54	908
	明和町	95	1,633	95	1,633
	大台町	0	79	0	79
	(小計)	2,045	32,038	2,045	32,038
伊賀	伊賀市	293	5,060	293	5,060
	名張市	251	2,694	251	2,694
	(小計)	544	7,754	544	7,754
伊勢志摩	伊勢市	750	9,777	750	9,777
	鳥羽市	78	1,371	78	1,371
	志摩市	222	3,835	222	3,835
	玉城町	78	1,057	78	1,057
	南伊勢町	50	1,028	50	1,028
	大紀町	0	349	0	349
	度会町	22	529	22	529
	(小計)	1,199	17,946	1,199	17,946
東紀州	尾鷲市	95	1,451	95	1,451
	紀北町	87	1,357	87	1,357
	熊野市	71	1,234	71	1,234
	御浜町	38	660	38	660
	紀宝町	0	597	0	597
	(小計)	290	5,299	290	5,299
県計		7,670	116,789	7,670	116,789

2 食料不足

表 IV-3.3 過去最大クラスの南海トラフ地震における食料不足

地域区分	市町名	食料不足量(食)			
		自市町のみで対応した場合		余剰量の半分を拠出した場合	
		1～3日目の計	4～7日目の計	1～3日目の計	4～7日目の計
北勢	桑名市	369,991	453,421	365,476	453,421
	いなべ市	0	0	0	0
	木曾岬町	34,250	63,156	33,716	63,156
	東員町	0	14,862	0	14,780
	四日市市	185,646	431,320	182,263	431,320
	菰野町	0	0	0	0
	朝日町	0	9,360	0	9,309
	川越町	46,286	93,605	45,519	93,605
	鈴鹿市	103,967	222,625	102,176	222,625
	亀山市	0	0	0	0
	(小計)	740,140	1,288,349	729,149	1,288,216
中勢	津市	488,177	643,583	481,971	643,583
	松阪市	204,766	325,368	201,859	325,368
	多気町	2,069	11,678	1,994	11,678
	明和町	45,958	67,175	45,338	67,175
	大台町	0	5,670	0	5,639
	(小計)	740,970	1,053,474	731,161	1,053,443
伊賀	伊賀市	0	22,117	0	21,996
	名張市	0	8,896	0	8,847
	(小計)	0	31,013	0	30,843
伊勢志摩	伊勢市	491,315	613,192	485,258	613,192
	鳥羽市	29,672	83,341	29,052	83,341
	志摩市	104,419	204,922	102,723	204,922
	玉城町	7,072	18,398	6,932	18,398
	南伊勢町	74,034	94,838	73,108	94,838
	大紀町	21,508	27,220	21,241	27,220
	度会町	1,186	9,630	1,127	9,630
	(小計)	729,206	1,051,541	719,441	1,051,541
東紀州	尾鷲市	76,885	103,282	75,897	103,282
	紀北町	94,383	126,789	93,170	126,789
	熊野市	18,964	36,013	18,663	36,013
	御浜町	9,909	20,802	9,741	20,802
	紀宝町	4,277	19,014	4,149	19,014
	(小計)	204,418	305,900	201,620	305,900
県計		2,414,734	3,730,277	2,381,370	3,729,943

※備蓄量は平成24年4月1日時点

表 IV-3.4 理論上最大クラスの南海トラフ地震における食料不足
〔地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦〕

		食料不足量(食)			
地域区分	市町名	自市町のみで対応した場合		余剰量の半分を拠出した場合	
		1～3日目の計	4～7日目の計	1～3日目の計	4～7日目の計
北勢	桑名市	458,647	579,864	457,094	579,864
	いなべ市	0	0	0	0
	木曾岬町	34,945	67,104	34,792	67,104
	東員町	8,990	32,168	8,928	32,168
	四日市市	656,551	997,046	654,078	997,046
	菰野町	0	0	0	0
	朝日町	4,047	23,223	4,006	23,223
	川越町	52,664	109,992	52,421	109,992
	鈴鹿市	321,901	485,074	320,694	485,074
	亀山市	0	61,976	0	61,883
	(小計)	1,537,745	2,356,447	1,532,014	2,356,354
中勢	津市	935,942	1,223,806	932,712	1,223,806
	松阪市	549,740	744,734	547,804	744,734
	多気町	27,104	41,507	27,001	41,507
	明和町	78,495	109,896	78,213	109,896
	大台町	8,717	24,231	8,668	24,231
	(小計)	1,599,998	2,144,174	1,594,399	2,144,174
伊賀	伊賀市	25,825	100,116	25,637	100,116
	名張市	10,726	46,513	10,640	46,513
	(小計)	36,551	146,629	36,277	146,629
伊勢志摩	伊勢市	707,053	959,312	704,561	959,312
	鳥羽市	52,960	118,085	52,704	118,085
	志摩市	205,149	335,752	204,340	335,752
	玉城町	42,341	59,016	42,189	59,016
	南伊勢町	90,008	124,171	89,688	124,171
	大紀町	33,141	42,270	33,028	42,270
	度会町	16,650	27,665	16,584	27,665
	(小計)	1,147,302	1,666,271	1,143,095	1,666,271
東紀州	尾鷲市	107,444	156,594	107,049	156,594
	紀北町	111,203	160,317	110,797	160,317
	熊野市	51,442	73,229	51,256	73,229
	御浜町	23,649	36,100	23,560	36,100
	紀宝町	16,823	30,481	16,752	30,481
	(小計)	310,561	456,721	309,414	456,721
県計		4,632,157	6,770,242	4,615,199	6,770,149

3 生活必需物資（毛布）不足

表 IV-3.5 過去最大クラスの南海トラフ地震における生活必需物資（毛布）不足

地域区分	市町名	毛布不足数(枚)	
		自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合
北勢	桑名市	69,512	68,256
	いなべ市	0	0
	木曾岬町	4,321	4,243
	東員町	0	0
	四日市市	34,102	33,486
	菰野町	0	0
	朝日町	548	538
	川越町	10,422	10,234
	鈴鹿市	14,720	14,454
	亀山市	0	0
	(小計)	133,625	131,211
中勢	津市	87,232	85,656
	松阪市	33,862	33,250
	多気町	0	0
	明和町	7,230	7,099
	大台町	0	0
	(小計)	128,324	126,006
伊賀	伊賀市	0	0
	名張市	0	0
	(小計)	0	0
伊勢志摩	伊勢市	79,785	78,344
	鳥羽市	8,509	8,355
	志摩市	25,408	24,949
	玉城町	0	0
	南伊勢町	13,883	13,632
	大紀町	3,495	3,432
	度会町	0	0
	(小計)	131,080	128,712
東紀州	尾鷲市	14,502	14,240
	紀北町	14,828	14,560
	熊野市	1,990	1,954
	御浜町	1,799	1,766
	紀宝町	773	759
	(小計)	33,892	33,280
県計		426,921	419,208

※備蓄量は平成24年4月1日時点

表 IV-3.6 理論上最大クラスの南海トラフ地震における生活必需物資(毛布)不足
 [地震動:陸側ケース、津波:ケース⑦]

地域区分	市町名	毛布不足数(枚)	
		自市町のみで対応した場合	余剰量の半分を抛出した場合
北勢	桑名市	85,865	85,570
	いなべ市	1,203	1,199
	木曽岬町	4,427	4,412
	東員町	0	0
	四日市市	121,793	121,374
	菰野町	0	0
	朝日町	2,164	2,157
	川越町	11,542	11,502
	鈴鹿市	55,299	55,109
	亀山市	554	552
	(小計)	282,847	281,875
中勢	津市	170,283	169,698
	松阪市	98,064	97,727
	多気町	4,473	4,458
	明和町	13,261	13,215
	大台町	1,377	1,372
	(小計)	287,458	286,470
伊賀	伊賀市	315	314
	名張市	0	0
	(小計)	315	314
伊勢志摩	伊勢市	119,278	118,868
	鳥羽市	12,793	12,749
	志摩市	44,089	43,937
	玉城町	6,320	6,298
	南伊勢町	16,778	16,720
	大紀町	5,652	5,633
	度会町	1,530	1,525
	(小計)	206,440	205,730
東紀州	尾鷲市	20,063	19,994
	紀北町	17,856	17,795
	熊野市	8,052	8,024
	御浜町	4,366	4,351
	紀宝町	3,138	3,127
	(小計)	53,475	53,291
県計		830,535	827,680

IV-4. 医療機能支障

1 医療対応力不足数

表 IV-4.1 過去最大クラスの南海トラフ地震における医療対応力不足数
(冬深夜発災ケース)

二次医療圏	市町名	対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
北勢	四日市市	約500	約100	約100	約4,800	約1,100	-	-
	桑名市	約200	約90	約100	約1,400	約500	約20	-
	鈴鹿市	約300	約60	約70	約2,700	約700	-	-
	亀山市	約40	約10	-	約300	約90	-	-
	いなべ市	約80	約10	-	約700	約30	-	-
	木曽岬町	-	-	約40	約10	約50	約40	約40
	東員町	-	-	-	約200	約30	-	-
	菰野町	約40	約20	-	約300	約40	-	-
	朝日町	-	-	-	約30	約40	-	約10
	川越町	-	約10	約20	約20	約90	約30	約70
(小計)	約1,100	約300	約400	約10,000	約2,700	約90	約100	
中勢伊賀	津市	約600	約200	約300	約4,000	約1,500	-	-
	名張市	約80	約10	-	約400	約40	-	-
	伊賀市	約200	約40	-	約600	約90	-	-
	(小計)	約800	約300	約300	約5,000	約1,600	-	-
南勢志摩	伊勢市	約300	約90	約900	約1,900	約2,400	約700	約600
	松阪市	約400	約50	約300	約2,800	約1,800	約30	-
	鳥羽市	-	-	約200	約70	約400	約200	約400
	志摩市	約70	約20	約900	約400	約1,800	約900	約1,400
	多気町	-	-	約10	約40	約200	約10	約100
	明和町	約20	約20	約100	約100	約400	約100	約300
	大台町	約10	約10	約20	約80	約200	約20	約100
	玉城町	約10	約10	約40	約60	約200	約40	約200
	度会町	-	-	約20	約20	約100	約20	約100
	大紀町	-	-	約200	約40	約200	約200	約200
南伊勢町	-	約10	約700	約20	約700	約700	約700	
(小計)	約800	約200	約3,400	約5,500	約8,500	約2,900	約3,900	
東紀州	尾鷲市	約60	約10	約700	約500	約600	約600	約100
	熊野市	-	-	約200	約200	約600	約200	約400
	紀北町	-	約10	約1,000	約70	約800	約1,000	約700
	御浜町	約70	-	約100	約300	約300	約40	約10
	紀宝町	-	-	約90	約10	約300	約90	約300
	(小計)	約100	約10	約2,100	約1,100	約2,600	約1,900	約1,600
県計	約2,800	約800	約6,200	約22,000	約15,000	約4,900	約5,600	

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

※市町間の医療搬送等は考慮していない

※対応可能入院患者数、対応可能外来患者数は、平成24年医療施設(動態)調査、平成24年病院報告、平成22年医師・歯科医師・看護師調査等をもとに設定

表 IV-4.2 過去最大クラスの南海トラフ地震における医療対応力不足数
(夏昼発災ケース)

二次医療圏	市町名	対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
北勢	四日市市	約500	約100	約300	約4,800	約900	-	-
	桑名市	約200	約90	約200	約1,400	約400	約100	-
	鈴鹿市	約300	約60	約100	約2,700	約500	-	-
	亀山市	約40	約10	約10	約300	約90	-	-
	いなべ市	約80	約10	約10	約700	約50	-	-
	木曾岬町	-	-	約30	約10	約30	約30	約20
	東員町	-	-	約10	約200	約50	約10	-
	菰野町	約40	約20	約10	約300	約60	-	-
	朝日町	-	-	約10	約30	約40	約10	約10
	川越町	-	約10	約30	約20	約60	約40	約40
(小計)	約1,100	約300	約700	約10,000	約2,200	約200	約80	
中勢 伊賀	津市	約600	約200	約400	約4,000	約1,100	約70	-
	名張市	約80	約10	約10	約400	約80	-	-
	伊賀市	約200	約40	約30	約600	約200	-	-
	(小計)	約800	約300	約500	約5,000	約1,400	約70	-
南勢 志摩	伊勢市	約300	約90	約900	約1,900	約1,400	約700	-
	松阪市	約400	約50	約400	約2,800	約1,000	約90	-
	鳥羽市	-	-	約100	約70	約200	約100	約100
	志摩市	約70	約20	約400	約400	約700	約400	約300
	多気町	-	-	約10	約40	約70	約10	約20
	明和町	約20	約20	約100	約100	約200	約100	約80
	大台町	約10	約10	約10	約80	約50	約10	-
	玉城町	約10	約10	約40	約60	約100	約40	約50
	度会町	-	-	約10	約20	約40	約10	約30
	大紀町	-	-	約90	約40	約100	約90	約50
	南伊勢町	-	約10	約400	約20	約400	約400	約300
(小計)	約800	約200	約2,500	約5,500	約4,300	約2,000	約1,000	
東紀州	尾鷲市	約60	約10	約500	約500	約400	約400	-
	熊野市	-	-	約100	約200	約400	約100	約200
	紀北町	-	約10	約700	約70	約600	約700	約500
	御浜町	約70	-	約80	約300	約200	約10	-
	紀宝町	-	-	約40	約10	約100	約40	約90
	(小計)	約100	約10	約1,500	約1,100	約1,600	約1,400	約800
県計	約2,800	約800	約5,200	約22,000	約9,400	約3,700	約1,900	

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合
※市町間の医療搬送等は考慮していない

表 IV-4.3 理論上最大クラスの南海トラフ地震における医療対応力不足数
 (地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦)
 (冬深夜発災ケース)

二次医療圏	市町名	対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
北勢	四日市市	約400	約200	約2,200	約4,000	約5,800	約2,000	約1,800
	桑名市	約200	約100	約800	約1,100	約2,100	約700	約1,000
	鈴鹿市	約300	約100	約1,100	約2,100	約3,900	約900	約1,800
	亀山市	約30	約10	約100	約300	約800	約100	約500
	いなべ市	約80	約10	約60	約700	約400	-	-
	木曽岬町	-	-	約100	-	約200	約100	約200
	東員町	-	-	約50	約100	約300	約50	約200
	菰野町	約30	約20	約60	約300	約500	約50	約200
	朝日町	-	-	約40	約20	約200	約40	約200
	川越町	-	約10	約100	約10	約200	約100	約200
	(小計)	約1,000	約500	約4,600	約8,600	約14,000	約4,100	約6,100
中勢伊賀	津市	約500	約400	約2,200	約3,100	約5,800	約2,100	約2,700
	名張市	約70	約10	約60	約400	約500	-	約100
	伊賀市	約100	約50	約200	約500	約1,300	約100	約800
	(小計)	約700	約500	約2,400	約4,000	約7,600	約2,200	約3,600
南勢志摩	伊勢市	約300	約100	約4,000	約1,600	約4,600	約3,900	約3,000
	松阪市	約300	約90	約2,500	約2,500	約4,900	約2,300	約2,500
	鳥羽市	-	-	約500	約30	約800	約500	約800
	志摩市	約70	約20	約2,400	約300	約2,700	約2,400	約2,400
	多気町	-	-	約200	約20	約500	約200	約500
	明和町	約10	約40	約500	約60	約900	約500	約800
	大台町	約10	約20	約200	約50	約400	約200	約400
	玉城町	-	約10	約300	約30	約500	約300	約500
	度会町	-	-	約100	約10	約300	約100	約300
	大紀町	-	約10	約300	約20	約400	約300	約400
	南伊勢町	-	約20	約1,000	約10	約900	約1,000	約900
(小計)	約700	約300	約12,000	約4,600	約17,000	約12,000	約12,000	
東紀州	尾鷲市	約50	約10	約1,400	約400	約1,200	約1,300	約800
	熊野市	-	-	約600	約100	約1,100	約600	約1,000
	紀北町	-	約10	約1,300	約30	約900	約1,300	約900
	御浜町	約70	-	約300	約300	約500	約200	約100
	紀宝町	-	-	約200	約10	約400	約200	約400
	(小計)	約100	約10	約3,700	約900	約4,100	約3,600	約3,100
県計	約2,500	約1,300	約23,000	約18,000	約43,000	約22,000	約25,000	

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

※市町間の医療搬送等は考慮していない

表 IV-4.4 理論上最大クラスの南海トラフ地震における医療対応力不足数
 (地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦)
 (夏昼発災ケース)

二次医療圏	市町名	対応可能 入院患者数	要転院 患者数	重傷者数 +病院死者数	対応可能 外来患者数	軽傷者数	医療対応力不足数	
							入院対応	外来対応
北勢	四日市市	約400	約200	約3,100	約4,000	約4,900	約2,900	約1,000
	桑名市	約200	約100	約1,200	約1,100	約1,700	約1,100	約700
	鈴鹿市	約300	約100	約1,000	約2,100	約2,500	約800	約500
	亀山市	約30	約10	約200	約300	約500	約200	約200
	いなべ市	約80	約10	約200	約700	約400	約100	-
	木曽岬町	-	-	約100	-	約100	約100	約100
	東員町	-	-	約200	約100	約300	約200	約200
	菟野町	約30	約20	約100	約300	約400	約100	約70
	朝日町	-	-	約80	約20	約200	約80	約200
	川越町	-	約10	約200	約10	約200	約200	約200
(小計)	約1,000	約500	約6,300	約8,600	約11,000	約5,800	約3,200	
中勢伊賀	津市	約500	約400	約2,200	約3,100	約4,500	約2,100	約1,500
	名張市	約70	約10	約200	約400	約500	約100	約90
	伊賀市	約100	約50	約600	約500	約1,300	約500	約700
	(小計)	約700	約500	約2,900	約4,000	約6,300	約2,700	約2,300
南勢志摩	伊勢市	約300	約100	約5,400	約1,600	約6,200	約5,300	約4,500
	松阪市	約300	約90	約2,900	約2,500	約4,000	約2,600	約1,500
	鳥羽市	-	-	約400	約30	約600	約400	約600
	志摩市	約70	約20	約1,300	約300	約2,200	約1,300	約1,900
	多気町	-	-	約200	約20	約300	約200	約300
	明和町	約10	約40	約600	約60	約800	約600	約700
	大台町	約10	約20	約60	約50	約100	約70	約100
	玉城町	-	約10	約300	約30	約400	約300	約400
	度会町	-	-	約80	約10	約100	約80	約100
	大紀町	-	約10	約200	約20	約200	約200	約200
南伊勢町	-	約20	約900	約10	約1,000	約900	約900	
(小計)	約700	約300	約12,000	約4,600	約16,000	約12,000	約11,000	
東紀州	尾鷲市	約50	約10	約1,500	約400	約1,600	約1,500	約1,200
	熊野市	-	-	約600	約100	約900	約600	約800
	紀北町	-	約10	約1,400	約30	約1,300	約1,500	約1,300
	御浜町	約70	-	約200	約300	約300	約100	-
	紀宝町	-	-	約100	約10	約100	約100	約100
	(小計)	約100	約10	約3,900	約900	約4,400	約3,800	約3,500
県計	約2,500	約1,300	約25,000	約18,000	約38,000	約24,000	約20,000	

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

※市町間の医療搬送等は考慮していない

2 医師一人当たり診療すべき患者数

表 IV-4.5 過去最大クラスの南海トラフ地震における医師一人当たり診療すべき患者数
(冬深夜発災ケース)

二次医療圏	市町名	医療施設従事医師数		医療需要		医師一人当たり診療すべき患者数	
		外科系	外科系以外	重傷者+病院死者	軽傷者数	外科系	外科系以外
北勢	四日市市	119	490	約100	約1,100	1	2
	桑名市	51	153	約100	約500	2	3
	鈴鹿市	66	269	約70	約700	1	3
	亀山市	6	37	-	約90	1	3
	いなべ市	15	57	-	約30	0	1
	木曽岬町	0	4	約40	約50	-	12
	東員町	2	22	-	約30	0	1
	菰野町	9	36	-	約40	0	1
	朝日町	1	5	-	約40	3	8
	川越町	2	5	約20	約90	10	17
	(小計)	271	1,078	約400	約2,700	1	3
中勢伊賀	津市	192	731	約300	約1,500	1	2
	名張市	18	68	-	約40	0	1
	伊賀市	31	85	-	約90	0	1
	(小計)	241	884	約300	約1,600	1	2
南勢志摩	伊勢市	60	278	約900	約2,400	15	9
	松阪市	76	332	約300	約1,800	4	5
	鳥羽市	2	18	約200	約400	93	25
	志摩市	21	58	約900	約1,800	44	31
	多気町	1	7	約10	約200	13	23
	明和町	5	25	約100	約400	24	16
	大台町	4	11	約20	約200	5	17
	玉城町	4	9	約40	約200	9	24
	度会町	1	3	約20	約100	20	41
	大紀町	1	9	約200	約200	169	26
	南伊勢町	1	7	約700	約700	685	96
	(小計)	176	757	約3,400	約8,500	19	11
東紀州	尾鷲市	11	28	約700	約600	62	22
	熊野市	3	24	約200	約600	54	25
	紀北町	1	21	約1,000	約800	1,004	36
	御浜町	7	20	約100	約300	17	17
	紀宝町	0	3	約90	約300	-	101
	(小計)	22	96	約2,100	約2,600	93	27
県計	710	2,815	約6,200	約15,000	9	5	

※医療施設従事医師数は、平成22年医師・歯科医師・看護師調査による

表 IV-4.6 過去最大クラスの南海トラフ地震における医師一人当たり診療すべき患者数
(夏昼発災ケース)

二次医療圏	市町名	医療施設従事医師数		医療需要		医師一人当たり診療すべき患者数	
		外科系	外科系以外	重傷者+病院死者	軽傷者数	外科系	外科系以外
北勢	四日市市	119	490	約300	約900	2	2
	桑名市	51	153	約200	約400	4	3
	鈴鹿市	66	269	約100	約500	2	2
	亀山市	6	37	約10	約90	2	3
	いなべ市	15	57	約10	約50	0	1
	木曽岬町	0	4	約30	約30	-	7
	東員町	2	22	約10	約50	4	2
	菰野町	9	36	約10	約60	1	2
	朝日町	1	5	約10	約40	10	9
	川越町	2	5	約30	約60	15	13
	(小計)	271	1,078	約700	約2,200	3	2
中勢伊賀	津市	192	731	約400	約1,100	2	2
	名張市	18	68	約10	約80	1	1
	伊賀市	31	85	約30	約200	1	2
	(小計)	241	884	約500	約1,400	2	2
南勢志摩	伊勢市	60	278	約900	約1,400	15	5
	松阪市	76	332	約400	約1,000	5	3
	鳥羽市	2	18	約100	約200	56	10
	志摩市	21	58	約400	約700	19	13
	多気町	1	7	約10	約70	12	9
	明和町	5	25	約100	約200	25	8
	大台町	4	11	約10	約50	3	5
	玉城町	4	9	約40	約100	9	12
	度会町	1	3	約10	約40	14	15
	大紀町	1	9	約90	約100	93	11
南伊勢町	1	7	約400	約400	425	51	
	(小計)	176	757	約2,500	約4,300	14	6
東紀州	尾鷲市	11	28	約500	約400	45	13
	熊野市	3	24	約100	約400	50	15
	紀北町	1	21	約700	約600	730	28
	御浜町	7	20	約80	約200	12	8
	紀宝町	0	3	約40	約100	-	33
	(小計)	22	96	約1,500	約1,600	68	16
県計		710	2,815	約5,200	約9,400	7	3

表 IV-4.7 理論上最大クラスの南海トラフ地震における医師一人当たり診療すべき患者数
 (地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦)
 (冬深夜発災ケース)

二次医療圏	市町名	医療施設従事医師数		医療需要		医師一人当たり診療すべき患者数	
		外科系	外科系以外	重傷者+病院死者	軽傷者数	外科系	外科系以外
北勢	四日市市	119	490	約2,200	約5,800	18	12
	桑名市	51	153	約800	約2,100	15	14
	鈴鹿市	66	269	約1,100	約3,900	16	14
	亀山市	6	37	約100	約800	24	21
	いなべ市	15	57	約60	約400	4	8
	木曽岬町	0	4	約100	約200	-	43
	東員町	2	22	約50	約300	25	15
	菰野町	9	36	約60	約500	6	13
	朝日町	1	5	約40	約200	42	36
	川越町	2	5	約100	約200	59	50
	(小計)	271	1,078	約4,600	約14,000	17	13
中勢伊賀	津市	192	731	約2,200	約5,800	11	8
	名張市	18	68	約60	約500	3	8
	伊賀市	31	85	約200	約1,300	6	16
	(小計)	241	884	約2,400	約7,600	10	9
南勢志摩	伊勢市	60	278	約4,000	約4,600	67	17
	松阪市	76	332	約2,500	約4,900	33	15
	鳥羽市	2	18	約500	約800	271	47
	志摩市	21	58	約2,400	約2,700	116	47
	多気町	1	7	約200	約500	224	75
	明和町	5	25	約500	約900	101	36
	大台町	4	11	約200	約400	39	37
	玉城町	4	9	約300	約500	74	55
	度会町	1	3	約100	約300	148	91
	大紀町	1	9	約300	約400	288	50
	南伊勢町	1	7	約1,000	約900	972	128
(小計)	176	757	約12,000	約17,000	69	23	
東紀州	尾鷲市	11	28	約1,400	約1,200	123	43
	熊野市	3	24	約600	約1,100	192	45
	紀北町	1	21	約1,300	約900	1,294	45
	御浜町	7	20	約300	約500	40	23
	紀宝町	0	3	約200	約400	-	123
	(小計)	22	96	約3,700	約4,100	168	42
県計		710	2,815	約23,000	約43,000	32	15

表 IV-4.8 理論上最大クラスの南海トラフ地震における医師一人当たり診療すべき患者数
 (地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦)
 (夏昼発災ケース)

二次医療圏	市町名	医療施設従事医師数		医療需要		医師一人当たり診療すべき患者数	
		外科系	外科系以外	重傷者+病院死者	軽傷者数	外科系	外科系以外
北勢	四日市市	119	490	約3,100	約4,900	26	10
	桑名市	51	153	約1,200	約1,700	23	11
	鈴鹿市	66	269	約1,000	約2,500	15	9
	亀山市	6	37	約200	約500	37	15
	いなべ市	15	57	約200	約400	11	7
	木曽岬町	0	4	約100	約100	-	37
	東員町	2	22	約200	約300	75	15
	菰野町	9	36	約100	約400	15	10
	朝日町	1	5	約80	約200	85	42
	川越町	2	5	約200	約200	83	49
	(小計)	271	1,078	約6,300	約11,000	23	11
中勢伊賀	津市	192	731	約2,200	約4,500	11	6
	名張市	18	68	約200	約500	9	8
	伊賀市	31	85	約600	約1,300	19	15
	(小計)	241	884	約2,900	約6,300	12	7
南勢志摩	伊勢市	60	278	約5,400	約6,200	90	22
	松阪市	76	332	約2,900	約4,000	38	12
	鳥羽市	2	18	約400	約600	176	33
	志摩市	21	58	約1,300	約2,200	62	38
	多気町	1	7	約200	約300	173	44
	明和町	5	25	約600	約800	117	31
	大台町	4	11	約60	約100	15	13
	玉城町	4	9	約300	約400	73	46
	度会町	1	3	約80	約100	77	42
	大紀町	1	9	約200	約200	185	26
	南伊勢町	1	7	約900	約1,000	910	136
(小計)	176	757	約12,000	約16,000	69	21	
東紀州	尾鷲市	11	28	約1,500	約1,600	137	59
	熊野市	3	24	約600	約900	206	39
	紀北町	1	21	約1,400	約1,300	1,444	63
	御浜町	7	20	約200	約300	30	16
	紀宝町	0	3	約100	約100	-	47
	(小計)	22	96	約3,900	約4,400	178	46
県計	710	2,815	約25,000	約38,000	36	13	

3 日常受療困難者数

表 IV-4.9 過去最大クラスの南海トラフ地震における日常受療困難者数
(冬深夜発災ケース)

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数 (建物被害、火災被害による医療機能低下による)			
		計	入院	外来	出生
北勢	四日市市	約4,800	約500	約4,300	-
	桑名市	約3,600	約500	約3,100	-
	鈴鹿市	約2,200	約100	約2,100	-
	亀山市	約400	約30	約300	-
	いなべ市	約40	-	約40	-
	木曾岬町	約600	約90	約500	-
	東員町	約200	約30	約200	-
	菰野町	約200	約40	約200	-
	朝日町	約100	約20	約100	-
	川越町	約800	約100	約600	-
	(小計)	約13,000	約1,400	約12,000	-
中勢伊賀	津市	約6,000	約600	約5,300	-
	名張市	約300	-	約300	-
	伊賀市	約500	約30	約500	-
	(小計)	約6,800	約700	約6,100	-
南勢志摩	伊勢市	約5,500	約500	約5,000	-
	松阪市	約3,400	約200	約3,100	-
	鳥羽市	約800	約100	約700	-
	志摩市	約2,100	約200	約1,900	-
	多気町	約200	約30	約200	-
	明和町	約700	約100	約600	-
	大台町	約200	約20	約100	-
	玉城町	約300	約40	約300	-
	度会町	約200	約20	約100	-
	大紀町	約300	約40	約200	-
	南伊勢町	約900	約100	約800	-
(小計)	約15,000	約1,500	約13,000	-	
東紀州	尾鷲市	約700	約70	約600	-
	熊野市	約500	約60	約400	-
	紀北町	約1,200	約200	約1,000	-
	御浜町	-	-	-	-
	紀宝町	約200	約20	約200	-
	(小計)	約2,600	約300	約2,300	-
県計		約37,000	約3,900	約33,000	約10

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

表 IV-4.10 過去最大クラスの南海トラフ地震における日常受療困難者数
(夏昼発災ケース)

二次 医療圏	市町名	日常受療困難者数 (建物被害、火災被害による医療機能低下による)			
		計	入院	外来	出生
北勢	四日市市	約4,800	約500	約4,300	-
	桑名市	約3,600	約500	約3,100	-
	鈴鹿市	約2,200	約100	約2,100	-
	亀山市	約400	約30	約300	-
	いなべ市	約40	-	約40	-
	木曾岬町	約600	約90	約500	-
	東員町	約200	約30	約200	-
	菰野町	約200	約40	約200	-
	朝日町	約100	約20	約100	-
	川越町	約800	約100	約600	-
	(小計)	約13,000	約1,400	約12,000	-
中勢 伊賀	津市	約6,000	約600	約5,300	-
	名張市	約300	-	約300	-
	伊賀市	約500	約30	約500	-
	(小計)	約6,800	約700	約6,100	-
南勢 志摩	伊勢市	約5,500	約500	約5,000	-
	松阪市	約3,400	約200	約3,100	-
	鳥羽市	約800	約100	約700	-
	志摩市	約2,100	約200	約1,900	-
	多気町	約200	約30	約200	-
	明和町	約700	約100	約600	-
	大台町	約200	約20	約100	-
	玉城町	約300	約40	約300	-
	度会町	約200	約20	約100	-
	大紀町	約300	約40	約200	-
	南伊勢町	約900	約100	約800	-
(小計)	約15,000	約1,500	約13,000	-	
東紀州	尾鷲市	約700	約70	約600	-
	熊野市	約500	約60	約400	-
	紀北町	約1,200	約200	約1,000	-
	御浜町	-	-	-	-
	紀宝町	約200	約20	約200	-
	(小計)	約2,600	約300	約2,300	-
県計	約37,000	約3,900	約33,000	約10	

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

表 IV-4.1.1 理論上最大クラスの南海トラフ地震における日常受療困難者数
 (地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦)
 (冬深夜発災ケース)

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数 (建物被害、火災被害による医療機能低下による)			
		計	入院	外来	出生
北勢	四日市市	約7,600	約700	約6,900	-
	桑名市	約4,400	約500	約3,900	-
	鈴鹿市	約3,800	約200	約3,600	-
	亀山市	約600	約50	約600	-
	いなべ市	約100	-	約100	-
	木曾岬町	約600	約90	約500	-
	東員町	約300	約50	約300	-
	菰野町	約400	約50	約300	-
	朝日町	約200	約30	約200	-
	川越町	約900	約100	約700	-
	(小計)	約19,000	約1,900	約17,000	-
中勢伊賀	津市	約8,900	約900	約8,000	-
	名張市	約400	-	約400	-
	伊賀市	約1,000	約70	約900	-
	(小計)	約10,000	約1,000	約9,300	-
南勢志摩	伊勢市	約7,200	約700	約6,600	-
	松阪市	約5,300	約400	約5,000	-
	鳥羽市	約1,100	約100	約900	-
	志摩市	約2,800	約300	約2,500	-
	多気町	約400	約40	約400	-
	明和町	約1,000	約100	約900	-
	大台町	約300	約20	約200	-
	玉城町	約600	約60	約500	-
	度会町	約300	約30	約300	-
	大紀町	約400	約50	約300	-
	南伊勢町	約1,100	約200	約1,000	-
	(小計)	約20,000	約1,900	約18,000	約10
東紀州	尾鷲市	約900	約70	約900	-
	熊野市	約700	約80	約600	-
	紀北町	約1,500	約200	約1,200	-
	御浜町	約40	-	約40	-
	紀宝町	約300	約40	約300	-
	(小計)	約3,400	約400	約3,000	-
県計		約53,000	約5,200	約48,000	約10

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

表 IV-4.12 理論上最大クラスの南海トラフ地震における日常受療困難者数
 (地震動：陸側ケース、津波：ケース⑦)
 (夏昼発災ケース)

二次医療圏	市町名	日常受療困難者数 (建物被害、火災被害による医療機能低下による)			
		計	入院	外来	出生
北勢	四日市市	約7,700	約700	約6,900	-
	桑名市	約4,400	約500	約3,900	-
	鈴鹿市	約3,800	約200	約3,600	-
	亀山市	約600	約50	約600	-
	いなべ市	約100	-	約100	-
	木曾岬町	約600	約90	約500	-
	東員町	約300	約50	約300	-
	菰野町	約400	約50	約300	-
	朝日町	約200	約30	約200	-
	川越町	約900	約100	約700	-
	(小計)	約19,000	約1,900	約17,000	-
中勢伊賀	津市	約8,900	約900	約8,000	-
	名張市	約400	-	約400	-
	伊賀市	約1,000	約70	約900	-
	(小計)	約10,000	約1,000	約9,400	-
南勢志摩	伊勢市	約7,300	約700	約6,600	-
	松阪市	約5,400	約400	約5,000	-
	鳥羽市	約1,100	約100	約900	-
	志摩市	約2,800	約300	約2,500	-
	多気町	約400	約40	約400	-
	明和町	約1,000	約100	約900	-
	大台町	約300	約20	約200	-
	玉城町	約600	約60	約500	-
	度会町	約300	約30	約300	-
	大紀町	約400	約50	約300	-
	南伊勢町	約1,100	約200	約1,000	-
(小計)	約20,000	約1,900	約19,000	約10	
東紀州	尾鷲市	約900	約70	約900	-
	熊野市	約700	約80	約600	-
	紀北町	約1,500	約200	約1,200	-
	御浜町	約40	-	約40	-
	紀宝町	約300	約40	約300	-
(小計)	約3,400	約400	約3,000	-	
県計		約53,000	約5,200	約48,000	約10

※災害拠点病院及び災害医療支援病院が機能する場合

IV-5. 住機能支障

1 中期的住機能支障（発災後約1ヶ月～約2年の応急住宅）

発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障は、次の区分により想定する。

○パターン

		住宅の被災状況	
		全壊・半壊いずれでも希望どおり	半壊の場合、応急仮設住宅（借上げ型含む）及び公営住宅一時入居を不可とする
既存住宅☆ の空き家 数の考慮	考慮しない	パターンA	パターンB
	全県単位で考慮	パターンC	パターンD
	市町単位で考慮	パターンE	パターンF

☆ 借上げ型応急住宅数、民間賃貸住宅の空き家数は平成20年住宅・土地統計調査に基づき設定
公営住宅の提供可能戸数は平成26年1月22日時点

表 IV-5.1 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】
 ((ア) 過去最大クラスの南海トラフ地震)

パターンA

地域区分	市町名	中期的住機能支障(世帯) [避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし
		し 自 居 宅 を 応 急 修 理	新 従 築 前 場 所 で 自 宅	仮 従 設 前 場 所 で 自 力	築 別 ・ の 購 入 所 に 新	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計	
北勢	桑名市	8,010	1,974	567	444	1,333	735	959	706	1,000	580	317	271	16,896	34,565
	いなべ市	80	9	3	2	7	4	4	3	4	3	1	2	123	15,831
	木曽岬町	437	451	126	85	193	49	118	128	194	101	65	50	1,998	2,949
	東員町	130	21	6	4	13	5	7	6	9	6	3	3	213	8,350
	四日市市	8,421	1,256	353	313	1,091	747	865	520	691	443	208	192	15,101	104,760
	菟野町	103	12	3	3	9	5	6	4	6	4	2	2	158	13,387
	朝日町	254	39	11	9	29	17	21	14	19	12	6	6	437	2,949
	川越町	1,863	402	119	109	371	280	316	188	254	150	78	58	4,188	1,408
	鈴鹿市	4,259	522	144	131	479	334	380	218	283	191	83	84	7,109	68,681
亀山市	295	37	10	9	33	22	25	15	20	13	6	6	492	18,706	
(小計)	23,854	4,723	1,343	1,110	3,557	2,198	2,702	1,802	2,480	1,502	768	674	46,714	268,887	
中勢	津市	14,652	2,156	605	522	1,796	1,171	1,376	853	1,141	733	345	331	25,682	87,170
	松阪市	8,136	1,525	435	358	1,157	708	867	579	798	485	247	222	15,517	47,992
	多気町	373	55	15	11	31	9	15	15	22	14	7	9	575	4,684
	明和町	1,159	363	102	70	182	57	106	104	155	87	51	47	2,483	4,920
	大台町	375	62	17	12	36	12	19	18	25	16	8	9	610	3,286
	(小計)	24,695	4,162	1,175	973	3,203	1,958	2,384	1,569	2,140	1,335	657	618	44,868	148,051
伊賀	伊賀市	264	37	10	9	30	18	22	14	19	12	6	6	447	34,421
	名張市	157	19	5	4	14	7	9	6	8	6	3	3	240	29,205
	(小計)	421	56	15	13	44	25	31	20	27	18	8	9	687	63,626
伊勢志摩	伊勢市	11,810	3,792	1,092	821	2,312	1,142	1,607	1,288	1,862	1,041	600	496	27,864	21,423
	鳥羽市	1,315	586	167	120	310	124	203	184	272	147	89	72	3,588	4,461
	志摩市	3,502	1,589	449	312	781	263	485	472	703	381	232	193	9,364	11,157
	玉城町	531	117	33	24	68	28	42	36	52	31	17	16	994	4,062
	南伊勢町	948	933	259	170	371	68	215	252	384	201	129	102	4,033	1,885
	大紀町	454	237	66	44	103	23	58	65	98	53	33	28	1,262	2,635
	度会町	274	58	16	11	29	7	15	15	23	13	7	8	477	2,123
	(小計)	18,835	7,312	2,082	1,502	3,974	1,656	2,625	2,313	3,394	1,868	1,107	916	47,582	47,746
東紀州	尾鷲市	1,039	930	270	193	480	198	326	300	450	232	149	109	4,677	4,472
	紀北町	1,306	1,119	319	222	530	181	343	339	510	266	170	129	5,434	2,438
	熊野市	1,255	345	99	74	209	99	141	114	165	94	53	46	2,694	6,249
	御浜町	645	231	65	45	117	40	71	68	101	56	33	29	1,501	2,492
	紀宝町	663	180	51	37	103	44	67	57	82	47	27	24	1,382	3,737
	(小計)	4,908	2,805	804	571	1,440	563	949	879	1,308	695	431	337	15,688	19,388
県計	72,712	19,057	5,419	4,168	12,217	6,400	8,690	6,582	9,349	5,418	2,972	2,554	155,539	547,698	

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表 IV-5.2 発災後約1ヶ月～2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】
 ((ア) 過去最大クラスの南海トラフ地震)

パターンB

地域区分	市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]														住機能支障なし
		し 自 居 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅 新 築	仮 従 前 場 所 で 自 力 仮 設	築 別 の 場 所 に 新 築 ・ 購 入	親 族 、 知 人 宅	勤 務 先 の 提 供 す る 施 設	民 間 賃 貸	借 上 げ 型 応 急 住 宅	応 急 仮 設 住 宅	公 営 住 宅 一 時 使 用	避 難 所	そ の 他	合 計		
北勢	桑名市	8,572	2,027	581	461	1,407	806	1,035	429	652	319	327	280	16,896	34,565	
	いなべ市	86	10	3	2	8	4	5	1	1	1	1	2	123	15,831	
	木曾岬町	463	453	127	86	195	51	120	118	180	90	65	50	1,998	249	
	東員町	138	21	6	4	14	6	8	3	4	2	3	3	213	8,350	
	四日市市	9,057	1,318	368	335	1,185	843	966	186	283	137	221	201	15,101	104,760	
	菰野町	109	13	4	3	10	5	7	1	2	1	2	2	158	13,387	
	朝日町	271	41	11	9	31	19	23	6	9	4	6	6	437	2,949	
	川越町	2,022	418	123	116	398	310	348	97	146	69	81	60	4,188	1,408	
	鈴鹿市	4,577	553	151	142	526	381	429	53	81	39	90	89	7,109	68,681	
亀山市	317	39	11	10	36	25	29	4	6	3	6	6	492	18,706		
	(小計)	25,612	4,893	1,384	1,168	3,810	2,450	2,968	897	1,364	665	803	700	46,714	268,887	
中勢	津市	15,722	2,259	630	557	1,948	1,321	1,534	307	466	226	365	347	25,682	87,170	
	松阪市	8,724	1,581	448	377	1,239	789	952	282	428	209	258	230	15,517	47,992	
	多気町	394	57	16	11	33	10	16	7	10	5	7	9	575	4,684	
	明和町	1,228	369	104	72	188	61	111	76	116	58	52	48	2,483	4,920	
	大台町	396	64	18	13	38	14	21	9	13	7	8	10	610	3,286	
		(小計)	26,464	4,331	1,216	1,030	3,446	2,195	2,634	680	1,034	505	690	644	44,868	148,051
伊賀	伊賀市	283	39	11	9	32	21	24	5	7	4	6	6	447	34,421	
	名張市	167	19	5	4	15	8	10	2	2	1	3	3	240	29,205	
		(小計)	450	58	16	14	47	29	34	6	10	5	9	9	687	63,626
伊勢志摩	伊勢市	12,615	3,867	1,111	845	2,413	1,236	1,706	902	1,373	674	614	508	27,864	21,423	
	鳥羽市	1,400	594	169	122	319	132	211	145	222	110	90	74	3,588	4,461	
	志摩市	3,717	1,608	454	317	803	280	503	380	581	290	235	196	9,364	11,157	
	玉城町	564	120	34	25	72	31	45	21	33	16	17	17	994	4,062	
	南伊勢町	1,002	937	260	171	375	70	218	232	356	180	130	103	4,033	1,885	
	大紀町	480	239	67	44	105	24	60	55	84	42	33	28	1,262	2,635	
	度会町	290	59	16	11	30	8	15	9	15	7	8	8	477	2,123	
		(小計)	20,068	7,424	2,111	1,535	4,116	1,781	2,759	1,745	2,663	1,320	1,127	934	47,582	47,746
東紀州	尾鷲市	1,109	936	272	195	488	206	334	268	408	201	150	110	4,677	4,472	
	紀北町	1,388	1,127	321	224	539	188	351	303	463	230	171	130	5,434	2,438	
	熊野市	1,338	353	101	76	219	108	151	75	115	57	54	47	2,694	6,249	
	御浜町	685	234	66	46	121	43	74	51	79	39	34	30	1,501	2,492	
	紀宝町	705	184	52	38	108	48	71	38	58	29	27	25	1,382	3,737	
		(小計)	5,224	2,834	811	579	1,475	593	981	735	1,122	555	436	342	15,688	19,388
県計		77,819	19,540	5,538	4,326	12,894	7,047	9,376	4,063	6,192	3,050	3,065	2,629	155,539	547,698	

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表 IV-5.3 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）
【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】
（（ア）過去最大クラスの南海トラフ地震）

パターンC

地域区分	市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし
		し自 居宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅 新 築	仮 従 前 場 所 で 自 力 仮 設	築 別 の 場 所 に 新 購 入	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住 宅	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使 用	避 難 所	そ の 他	合 計	
北勢	桑名市	8,010	1,991	579	452	1,354	735	1,002	706	1,407	72	317	271	16,896	34,565
	いなべ市	80	9	3	2	7	4	4	3	4	3	1	2	123	15,831
	木曾岬町	437	451	126	85	193	49	118	217	194	13	65	50	1,998	249
	東員町	131	21	6	4	13	5	7	6	13	1	3	3	213	8,350
	四日市市	8,425	1,264	360	319	1,117	749	865	520	1,026	55	208	192	15,101	104,760
	菰野町	103	12	3	3	9	5	6	4	8	0	2	2	158	13,387
	朝日町	254	39	11	9	29	17	21	25	19	2	6	6	437	2,949
	川越町	1,863	402	119	109	371	280	316	319	254	19	78	58	4,188	1,408
	鈴鹿市	4,261	524	146	133	490	335	380	218	431	24	83	84	7,109	68,681
	亀山市	296	37	10	9	34	22	25	15	30	2	6	6	492	18,706
(小計)	23,860	4,750	1,364	1,126	3,616	2,201	2,745	2,032	3,387	190	768	674	46,714	268,887	
中勢	津市	14,659	2,169	617	532	1,841	1,174	1,376	853	1,694	92	345	331	25,682	87,170
	松阪市	8,136	1,525	435	358	1,157	708	867	1,004	798	61	247	222	15,517	47,992
	多気町	373	56	16	11	32	9	15	15	31	2	7	9	575	4,684
	明和町	1,159	363	102	70	182	57	106	181	155	11	51	47	2,483	4,920
	大台町	375	62	17	12	36	12	19	18	25	16	8	9	610	3,286
	(小計)	24,701	4,175	1,187	984	3,248	1,961	2,384	2,070	2,703	181	657	618	44,868	148,051
伊賀	伊賀市	264	37	10	9	30	18	22	14	19	12	6	6	447	34,421
	名張市	157	19	5	4	14	7	9	6	8	6	3	3	240	29,205
	(小計)	421	56	15	13	44	25	31	20	27	18	8	9	687	63,626
伊勢志摩	伊勢市	11,810	3,792	1,092	821	2,312	1,142	1,607	2,199	1,862	130	600	496	27,864	21,423
	鳥羽市	1,315	586	167	120	310	124	203	313	272	18	89	72	3,588	4,461
	志摩市	3,503	1,610	465	320	805	267	485	472	965	48	232	193	9,364	11,157
	玉城町	531	117	33	24	68	28	42	63	52	4	17	16	994	4,062
	南伊勢町	948	933	259	170	371	68	215	428	384	25	129	102	4,033	1,885
	大紀町	454	237	66	44	103	23	58	111	98	7	33	28	1,262	2,635
	度会町	274	58	16	11	29	7	15	27	23	2	7	8	477	2,123
	(小計)	18,836	7,332	2,097	1,509	3,998	1,659	2,625	3,613	3,655	233	1,107	916	47,582	47,746
東紀州	尾鷲市	1,039	930	270	193	480	198	326	504	450	29	149	109	4,677	4,472
	紀北町	1,306	1,119	319	222	530	181	343	572	510	33	170	129	5,434	2,438
	熊野市	1,255	349	101	75	216	100	141	114	231	12	53	46	2,694	6,249
	御浜町	645	231	65	45	117	40	71	117	101	7	33	29	1,501	2,492
	紀宝町	663	180	51	37	103	44	67	98	82	6	27	24	1,382	3,737
	(小計)	4,908	2,808	807	573	1,446	563	949	1,405	1,374	87	431	337	15,688	19,388
県計		72,727	19,121	5,471	4,204	12,351	6,410	8,733	9,140	11,146	709	2,972	2,554	155,539	547,698

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表 IV-5.4 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】
 （（ア）過去最大クラスの南海トラフ地震）

パターンD

地域区分	市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]												合計	住機能支障なし
		し 住宅を 居宅を 応急修 理	新 従 築 前 場 所 で 自 宅	仮 従 設 前 場 所 で 自 力	築 別 ・ の 購 場 入 所 に 新	親 族 、 知 人 宅	る 勤 施 務 先 の 提 供 不 足	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他		
北勢	桑名市	8,572	2,042	590	468	1,426	806	1,049	429	834	73	327	280	16,896	34,565
	いなべ市	86	10	3	2	8	4	5	1	1	1	1	2	123	15,831
	木曽岬町	463	453	127	86	195	51	120	187	180	21	65	50	1,998	249
	東員町	138	21	6	4	14	6	8	3	6	0	3	3	213	8,350
	四日市市	9,058	1,324	373	339	1,198	844	966	186	360	31	221	201	15,101	104,760
	菰野町	109	13	4	3	10	5	7	1	2	0	2	2	158	13,387
	朝日町	271	41	11	9	31	19	23	9	9	1	6	6	437	2,949
	川越町	2,022	418	123	116	398	310	348	150	146	16	81	60	4,188	1,408
	鈴鹿市	4,577	554	153	143	529	381	429	53	102	9	90	89	7,109	68,681
亀山市	317	39	11	10	36	25	29	4	6	3	6	6	492	18,706	
(小計)	25,613	4,915	1,400	1,180	3,845	2,450	2,982	1,023	1,646	155	803	700	46,714	268,887	
中勢	津市	15,724	2,269	638	563	1,969	1,321	1,534	307	594	52	365	347	25,682	87,170
	松阪市	8,724	1,581	448	377	1,239	789	952	443	428	48	258	230	15,517	47,992
	多気町	394	57	16	11	33	10	16	7	13	1	7	9	575	4,684
	明和町	1,228	369	104	72	188	61	111	121	116	13	52	48	2,483	4,920
	大台町	396	64	18	13	38	14	21	9	13	7	8	10	610	3,286
	(小計)	26,466	4,341	1,224	1,036	3,467	2,195	2,634	886	1,165	121	690	644	44,868	148,051
伊賀	伊賀市	283	39	11	9	32	21	24	5	7	4	6	6	447	34,421
	名張市	167	19	5	4	15	8	10	2	2	1	3	3	240	29,205
	(小計)	450	58	16	14	47	29	34	6	10	5	9	9	687	63,626
伊勢志摩	伊勢市	12,615	3,899	1,132	858	2,450	1,236	1,738	902	1,758	154	614	508	27,864	21,423
	鳥羽市	1,400	599	173	124	324	132	217	145	285	25	90	74	3,588	4,461
	志摩市	3,718	1,625	466	323	820	282	503	380	750	66	235	196	9,364	11,157
	玉城町	564	120	34	25	72	31	45	34	33	4	17	17	994	4,062
	南伊勢町	1,002	937	260	171	375	70	218	370	356	41	130	103	4,033	1,885
	大紀町	480	239	67	44	105	24	60	87	84	10	33	28	1,262	2,635
	度会町	290	59	16	11	30	8	15	15	15	2	8	8	477	2,123
(小計)	20,069	7,479	2,148	1,555	4,176	1,782	2,796	1,934	3,280	302	1,127	934	47,582	47,746	
東紀州	尾鷲市	1,109	936	272	195	488	206	334	423	408	46	150	110	4,677	4,472
	紀北町	1,388	1,127	321	224	539	188	351	480	463	53	171	130	5,434	2,438
	熊野市	1,338	356	103	77	224	109	151	75	147	13	54	47	2,694	6,249
	御浜町	685	234	66	46	121	43	74	82	79	9	34	30	1,501	2,492
	紀宝町	705	184	52	38	108	48	71	60	58	7	27	25	1,382	3,737
	(小計)	5,225	2,837	813	581	1,479	593	981	1,120	1,154	127	436	342	15,688	19,388
県計	77,823	19,630	5,601	4,366	13,015	7,050	9,428	4,969	7,255	709	3,065	2,629	155,539	547,698	

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。
 ※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表 IV-5.5 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（市町単位）を考慮した場合】
 （（ア）過去最大クラスの南海トラフ地震）

パターンE

地域区分	市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]												合計	住機能支障なし
		し 自宅を 居 住 を 応 急 修 理	新 従 築 前 場 所 で 自 宅	仮 従 設 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 入	親 族、 知 人 宅	勤 務 先 の 提 供 予	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他		
北勢	桑名市	8,022	1,990	587	459	1,407	750	827	817	1,196	253	317	271	16,896	34,565
	いなべ市	80	9	3	2	7	4	4	3	4	3	1	2	123	15,831
	木曾岬町	439	496	160	115	245	71	0	0	357	0	65	50	1,998	249
	東員町	130	21	6	4	13	5	7	11	9	1	3	3	213	8,350
	四日市市	8,421	1,256	353	313	1,091	747	865	878	691	85	208	192	15,101	104,760
	菟野町	103	12	3	3	9	5	6	8	6	0	2	2	158	13,387
	朝日町	256	41	14	11	41	19	0	0	43	0	6	6	437	2,949
	川越町	1,899	431	147	133	554	329	0	0	560	0	78	58	4,188	1,408
	鈴鹿市	4,259	522	144	131	479	334	380	389	283	20	83	84	7,109	68,681
	亀山市	295	37	10	9	33	22	25	25	20	3	6	6	492	18,706
	(小計)	23,906	4,815	1,426	1,181	3,878	2,286	2,115	2,130	3,168	365	768	674	46,714	268,887
中勢	津市	14,652	2,156	605	522	1,796	1,171	1,376	1,470	1,141	116	345	331	25,682	87,170
	松阪市	8,212	1,595	515	430	1,534	791	190	188	1,574	20	247	222	15,517	47,992
	多気町	373	55	15	11	31	9	15	25	22	3	7	9	575	4,684
	明和町	1,162	382	119	85	213	66	45	45	269	0	51	47	2,483	4,920
	大台町	376	64	20	15	43	14	0	0	40	19	8	9	610	3,286
		(小計)	24,775	4,253	1,274	1,062	3,618	2,051	1,627	1,728	3,046	158	657	618	44,868
伊賀	伊賀市	264	37	10	9	30	18	22	14	19	12	6	6	447	34,421
	名張市	157	19	5	4	14	7	9	6	8	6	3	3	240	29,205
		(小計)	421	56	15	13	44	25	31	20	27	18	8	9	687
伊勢志摩	伊勢市	11,859	3,928	1,218	926	2,698	1,251	943	931	3,001	12	600	496	27,864	21,423
	鳥羽市	1,316	597	176	126	329	128	182	180	389	4	89	72	3,588	4,461
	志摩市	3,502	1,605	460	316	794	263	513	511	943	33	232	193	9,364	11,157
	玉城町	534	124	41	31	90	33	0	0	105	2	17	16	994	4,062
	南伊勢町	951	1,016	319	226	450	98	25	25	677	16	129	102	4,033	1,885
	大紀町	456	257	82	60	127	32	0	0	172	16	33	28	1,262	2,635
	度会町	275	61	20	15	36	9	0	0	46	0	7	8	477	2,123
		(小計)	18,893	7,589	2,316	1,699	4,523	1,814	1,662	1,646	5,333	83	1,107	916	47,582
東紀州	尾鷲市	1,044	985	312	228	576	237	153	151	727	5	149	109	4,677	4,472
	紀北町	1,312	1,199	379	273	647	228	116	114	867	0	170	129	5,434	2,438
	熊野市	1,255	347	100	74	211	99	145	167	195	2	53	46	2,694	6,249
	御浜町	649	250	82	61	151	51	0	0	195	2	33	29	1,501	2,492
	紀宝町	668	193	64	49	138	54	0	0	166	0	27	24	1,382	3,737
		(小計)	4,928	2,974	935	685	1,723	669	414	433	2,151	9	431	337	15,688
	県計	72,923	19,687	5,968	4,641	13,786	6,845	5,848	5,958	13,725	633	2,972	2,554	155,539	547,698

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表 IV-5.6 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅（借上げ型含む）及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（市町単位）を考慮した場合】
 （（ア）過去最大クラスの南海トラフ地震）

パターンF

地域区分	市町名	中期的住機能支障(世帯)〔避難先別あるいは住宅再建方法別〕												合計	住機能支障なし
		し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 設 従 前 場 所 で 自 力	築 別 ・ 購 入 所 に 新	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他		
北勢	桑名市	8,572	2,027	581	461	1,407	806	827	702	652	253	327	280	16,896	34,565
	いなべ市	86	10	3	2	8	4	5	1	1	1	1	2	123	15,831
	木曽岬町	465	498	160	116	248	71	0	0	324	0	65	50	1,998	249
	東員町	138	21	6	4	14	6	8	4	4	1	3	3	213	8,350
	四日市市	9,057	1,318	368	335	1,185	843	966	238	283	85	221	201	15,101	104,760
	菰野町	109	13	4	3	10	5	7	2	2	0	2	2	158	13,387
	朝日町	274	42	14	12	43	20	0	0	19	0	6	6	437	2,949
	川越町	2,062	446	149	139	590	346	0	0	313	0	81	60	4,188	1,408
	鈴鹿市	4,577	553	151	142	526	381	429	72	81	20	90	89	7,109	68,681
	亀山市	317	39	11	10	36	25	29	4	6	3	6	6	492	18,706
(小計)	25,658	4,968	1,447	1,224	4,066	2,508	2,270	1,023	1,686	363	803	700	46,714	268,887	
中勢	津市	15,722	2,259	630	557	1,948	1,321	1,534	417	466	116	365	347	25,682	87,170
	松阪市	8,806	1,634	521	441	1,624	847	190	188	757	20	258	230	15,517	47,992
	多気町	394	57	16	11	33	10	16	9	10	3	7	9	575	4,684
	明和町	1,231	386	119	85	218	69	45	45	186	0	52	48	2,483	4,920
	大台町	397	66	20	15	42	14	0	0	19	19	8	10	610	3,286
(小計)	26,550	4,402	1,306	1,108	3,866	2,261	1,786	659	1,438	158	690	644	44,868	148,051	
伊賀	伊賀市	283	39	11	9	32	21	24	5	7	4	6	6	447	34,421
	名張市	167	19	5	4	15	8	10	2	2	1	3	3	240	29,205
	(小計)	450	58	16	14	47	29	34	6	10	5	9	9	687	63,626
伊勢志摩	伊勢市	12,668	3,961	1,220	930	2,793	1,327	943	931	1,957	12	614	508	27,864	21,423
	鳥羽市	1,401	602	177	127	336	136	182	180	280	4	90	74	3,588	4,461
	志摩市	3,717	1,617	460	319	809	280	512	511	675	33	235	196	9,364	11,157
	玉城町	568	127	41	32	94	35	0	0	62	2	17	17	994	4,062
	南伊勢町	1,004	1,019	320	226	454	99	25	25	613	16	130	103	4,033	1,885
	大紀町	482	259	83	60	129	32	0	0	140	16	33	28	1,262	2,635
	度会町	291	62	20	15	37	9	0	0	27	0	8	8	477	2,123
	(小計)	20,131	7,647	2,320	1,709	4,651	1,918	1,661	1,646	3,754	83	1,127	934	47,582	47,746
東紀州	尾鷲市	1,115	988	312	229	585	243	153	151	636	5	150	110	4,677	4,472
	紀北町	1,395	1,204	379	274	656	232	116	114	763	0	171	130	5,434	2,438
	熊野市	1,338	353	101	76	219	108	151	130	115	2	54	47	2,694	6,249
	御浜町	689	253	82	61	155	52	0	0	144	2	34	30	1,501	2,492
	紀宝町	711	197	64	50	143	56	0	0	110	0	27	25	1,382	3,737
	(小計)	5,247	2,995	938	689	1,758	691	420	396	1,768	9	436	342	15,688	19,388
県計	78,036	20,070	6,026	4,744	14,389	7,405	6,171	3,730	8,656	617	3,065	2,629	155,539	547,698	

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表 IV-5.7 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】
 ((イ) 理論上最大クラスの南海トラフ地震)

パターンA

地域区分	市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし
		し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 ・ 購 入 場 所 に 新	親 族 、 知 人 宅	勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計	
北勢	桑名市	9,698	3,562	1,036	787	2,208	1,142	1,575	1,246	1,806	993	583	461	25,097	26,364
	いなべ市	1,091	180	50	38	120	57	77	58	82	51	26	27	1,857	14,097
	木曽岬町	311	514	144	97	214	52	132	146	222	114	75	56	2,079	168
	東員町	912	188	53	38	107	40	63	56	81	48	26	26	1,638	6,925
	四日市市	15,335	8,039	2,407	1,873	5,253	2,992	3,928	3,024	4,410	2,331	1,431	1,029	52,053	67,808
	菟野町	1,114	195	55	41	127	60	82	63	89	55	28	29	1,940	11,605
	朝日町	576	156	45	34	99	51	70	54	77	44	25	21	1,252	2,134
	川越町	1,541	582	180	154	479	338	393	259	368	199	117	80	4,689	907
	鈴鹿市	12,980	3,295	959	782	2,411	1,482	1,838	1,272	1,785	1,029	562	456	28,849	46,941
	亀山市	2,079	466	134	109	342	207	257	177	247	145	77	66	4,309	14,889
(小計)	45,637	17,178	5,064	3,953	11,361	6,422	8,415	6,356	9,167	5,010	2,949	2,250	123,762	191,839	
中勢	津市	20,150	9,039	2,669	2,054	5,748	3,137	4,217	3,288	4,784	2,571	1,549	1,158	60,364	52,488
	松阪市	9,224	6,768	2,010	1,505	3,987	2,021	2,871	2,393	3,542	1,835	1,163	831	38,147	25,362
	多気町	855	475	132	87	202	42	114	129	195	105	65	55	2,456	2,803
	明和町	1,361	981	275	186	434	117	264	280	423	223	141	112	4,797	2,606
	大台町	653	282	79	54	131	36	76	80	119	65	40	34	1,649	2,247
	(小計)	32,243	17,545	5,166	3,886	10,500	5,353	7,542	6,170	9,062	4,798	2,958	2,190	107,413	85,506
伊賀	伊賀市	3,145	656	187	150	466	267	338	239	334	199	104	93	6,178	28,690
	名張市	1,780	293	82	62	193	91	123	94	132	82	42	44	3,018	26,427
	(小計)	4,925	949	270	212	659	358	461	333	466	281	146	137	9,196	55,117
伊勢志摩	伊勢市	5,204	8,872	2,601	1,858	4,517	1,876	3,106	2,902	4,376	2,205	1,458	1,019	39,993	9,294
	鳥羽市	1,425	1,113	319	225	549	204	361	346	518	270	172	130	5,631	2,418
	志摩市	2,899	3,387	960	656	1,510	450	958	997	1,509	778	505	378	14,988	5,533
	玉城町	738	635	181	125	297	98	190	191	287	149	96	73	3,058	1,998
	南伊勢町	688	1,378	381	250	527	90	313	373	570	293	192	145	5,201	717
	大紀町	635	477	133	88	198	42	115	131	198	105	66	54	2,242	1,655
	度会町	408	283	79	52	116	22	66	76	116	62	39	32	1,350	1,250
(小計)	11,997	16,145	4,653	3,253	7,713	2,781	5,110	5,016	7,574	3,862	2,528	1,830	72,462	22,866	
東紀州	尾鷲市	1,089	1,714	499	354	853	338	579	550	830	420	277	196	7,701	1,448
	紀北町	775	1,643	470	323	738	235	481	495	751	380	252	181	6,722	1,150
	熊野市	1,669	917	264	191	492	210	332	296	439	234	144	111	5,300	3,643
	御浜町	665	455	129	88	210	64	131	134	201	106	67	53	2,303	1,690
	紀宝町	817	254	72	52	142	59	91	80	116	65	38	33	1,819	3,300
(小計)	5,015	4,983	1,434	1,008	2,434	906	1,615	1,555	2,338	1,206	778	574	23,845	11,231	
県計	99,817	56,799	16,587	12,312	32,668	15,820	23,142	19,429	28,607	15,157	9,358	6,981	336,678	366,559	

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表 IV-5.8 発災後約1ヶ月～2年における中期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅(借上げ型含む)及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】
 ((イ) 理論上最大クラスの南海トラフ地震)

パターンB

地域区分	市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													住機能支障なし	
		し 自 居 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 入	親 族 、 知 人 宅	勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計		
北勢	桑名市	10,378	3,627	1,052	808	2,298	1,228	1,667	911	1,385	677	595	471	25,097	26,364	
	いなべ市	1,161	186	52	40	127	64	84	27	41	20	27	28	1,857	14,097	
	木曽岬町	330	516	145	97	215	53	134	139	212	106	75	56	2,079	168	
	東員町	967	193	54	39	112	44	67	32	50	25	27	27	1,638	6,925	
	四日市市	16,492	8,151	2,435	1,913	5,425	3,167	4,112	2,417	3,667	1,774	1,454	1,046	52,053	67,808	
	菟野町	1,186	202	57	43	135	67	89	31	47	23	29	30	1,940	11,605	
	朝日町	615	160	46	35	104	56	75	35	53	26	25	22	1,252	2,134	
	川越町	1,672	595	183	159	502	363	418	184	278	132	120	82	4,689	907	
	鈴鹿市	13,948	3,389	982	814	2,552	1,624	1,988	769	1,167	566	581	470	28,849	46,941	
亀山市	2,231	481	138	114	364	228	280	100	151	73	80	68	4,309	14,889		
	(小計)	48,980	17,499	5,142	4,063	11,837	6,894	8,912	4,644	7,052	3,423	3,014	2,299	123,762	191,839	
中勢	津市	21,621	9,180	2,704	2,102	5,956	3,343	4,435	2,538	3,854	1,874	1,578	1,180	60,364	52,488	
	松阪市	9,890	6,831	2,026	1,526	4,080	2,112	2,967	2,055	3,123	1,521	1,175	840	38,147	25,362	
	多気町	903	479	133	88	205	44	116	110	169	85	66	56	2,456	2,803	
	明和町	1,441	988	277	188	441	122	269	247	378	189	142	113	4,797	2,606	
	大台町	692	285	80	54	134	38	79	64	98	49	40	35	1,649	2,247	
		(小計)	34,548	17,764	5,220	3,959	10,816	5,660	7,866	5,014	7,623	3,718	3,001	2,224	107,413	85,506
	伊賀市	3,367	677	193	156	495	295	368	129	196	96	109	96	6,178	28,690	
伊賀	名張市	1,893	303	85	65	206	101	134	43	66	33	43	46	3,018	26,427	
	(小計)	5,260	980	277	221	701	397	502	172	262	129	152	142	9,196	55,117	
伊勢志摩	伊勢市	5,558	8,905	2,609	1,868	4,562	1,918	3,150	2,732	4,160	2,043	1,464	1,024	39,993	9,294	
	鳥羽市	1,517	1,122	321	227	559	212	370	304	464	230	173	131	5,631	2,418	
	志摩市	3,077	3,402	964	660	1,527	464	973	921	1,408	702	507	381	14,988	5,533	
	玉城町	784	639	182	126	301	101	194	170	260	130	96	73	3,058	1,998	
	南伊勢町	727	1,381	382	251	530	91	315	358	550	278	193	146	5,201	717	
	大紀町	672	480	134	89	201	43	117	117	179	90	67	54	2,242	1,655	
	度会町	431	285	79	52	117	23	67	68	104	52	39	32	1,350	1,250	
		(小計)	12,766	16,215	4,671	3,273	7,798	2,853	5,186	4,669	7,125	3,525	2,540	1,842	72,462	22,866
東紀州	尾鷲市	1,162	1,721	501	356	862	346	588	516	787	387	278	197	7,701	1,448	
	紀北町	824	1,647	471	324	743	239	485	473	723	359	253	181	6,722	1,150	
	熊野市	1,780	927	267	194	505	221	345	245	373	184	146	113	5,300	3,643	
	御浜町	705	459	130	89	214	67	134	116	178	89	67	53	2,303	1,690	
	紀宝町	869	258	73	53	147	64	97	56	86	43	39	34	1,819	3,300	
	(小計)	5,340	5,012	1,442	1,017	2,471	938	1,649	1,406	2,146	1,062	783	579	23,845	11,231	
県計		106,895	57,470	16,752	12,534	33,622	16,741	24,116	15,907	24,208	11,857	9,489	7,086	336,678	366,559	

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表 IV-5.9 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】
 ((イ) 理論上最大クラスの南海トラフ地震)

パターンC

地域区分	市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]													合計	住機能支障なし
		し 自 居 宅 を 応 急 修 理	新 従 築 前 場 所 で 自 宅	仮 従 設 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 入	親 族 、 知 人 宅	る 勤 施 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他			
北勢	桑名市	9,742	3,716	1,159	893	2,586	1,261	976	697	2,976	46	583	461	25,097	26,364	
	いなべ市	1,091	181	52	39	123	58	77	58	122	2	26	27	1,857	14,097	
	木曾岬町	312	541	163	112	241	63	82	82	347	5	75	56	2,079	168	
	東員町	912	190	55	39	110	41	63	56	118	2	26	26	1,638	6,925	
	四日市市	15,411	8,247	2,633	2,051	6,092	3,265	2,435	3,024	6,327	109	1,431	1,029	52,053	67,808	
	菰野町	1,115	197	57	42	131	61	82	63	132	3	28	29	1,940	11,605	
	朝日町	578	162	50	39	116	56	43	30	130	2	25	21	1,252	2,134	
	川越町	1,553	609	200	173	579	372	243	145	608	9	117	80	4,689	907	
	鈴鹿市	13,042	3,362	1,045	852	2,804	1,567	1,139	1,272	2,699	48	562	456	28,849	46,941	
	亀山市	2,080	471	138	112	353	208	257	177	362	7	77	66	4,309	14,889	
(小計)	45,838	17,677	5,552	4,353	13,135	6,950	5,397	5,604	13,821	234	2,949	2,250	123,762	191,839		
中勢	津市	20,240	9,268	2,918	2,248	6,636	3,407	2,614	3,288	6,916	120	1,549	1,158	60,364	52,488	
	松阪市	9,272	7,110	2,260	1,718	4,689	2,294	1,779	1,338	5,606	86	1,163	831	38,147	25,362	
	多気町	855	483	137	90	207	43	114	129	273	5	65	55	2,456	2,803	
	明和町	1,363	1,029	311	216	489	137	163	157	670	10	141	112	4,797	2,606	
	大台町	654	294	89	62	147	41	47	45	193	3	40	34	1,649	2,247	
	(小計)	32,386	18,184	5,715	4,334	12,169	5,922	4,718	4,957	13,658	224	2,958	2,190	107,413	85,506	
伊賀	伊賀市	3,147	662	193	153	480	268	338	239	491	9	104	93	6,178	28,690	
	名張市	1,781	295	85	63	199	91	123	94	198	4	42	44	3,018	26,427	
	(小計)	4,927	957	277	217	679	360	461	333	688	13	146	137	9,196	55,117	
伊勢志摩	伊勢市	5,226	9,349	2,934	2,136	5,251	2,192	1,925	1,623	6,776	103	1,458	1,019	39,993	9,294	
	鳥羽市	1,430	1,168	360	258	630	234	224	193	819	13	172	130	5,631	2,418	
	志摩市	2,906	3,560	1,083	758	1,716	531	594	558	2,364	36	505	378	14,988	5,533	
	玉城町	740	667	204	144	338	113	118	107	452	7	96	73	3,058	1,998	
	南伊勢町	689	1,450	431	291	586	112	194	209	889	14	192	145	5,201	717	
	大紀町	636	500	150	102	221	50	71	73	314	5	66	54	2,242	1,655	
	度会町	409	297	89	60	128	26	41	43	184	3	39	32	1,350	1,250	
	(小計)	12,036	16,991	5,250	3,749	8,871	3,258	3,167	2,805	11,798	181	2,528	1,830	72,462	22,866	
東紀州	尾鷲市	1,094	1,806	563	407	988	395	359	308	1,289	20	277	196	7,701	1,448	
	紀北町	777	1,730	530	373	843	279	298	277	1,164	18	252	181	6,722	1,150	
	熊野市	1,676	960	297	219	569	237	206	166	704	11	144	111	5,300	3,643	
	御浜町	666	477	145	102	238	74	81	75	319	5	67	53	2,303	1,690	
	紀宝町	819	264	81	60	163	65	57	45	193	3	38	33	1,819	3,300	
(小計)	5,032	5,237	1,616	1,160	2,801	1,051	1,001	870	3,669	56	778	574	23,845	11,231		
県計	100,219	59,045	18,411	13,813	37,655	17,540	14,744	14,568	43,634	709	9,358	6,981	336,678	366,559		

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表 IV-5.10 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅（借上げ型含む）及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（全県単位）を考慮した場合】
 （（イ）理論上最大クラスの南海トラフ地震）

パターンD

地域区分	市町名	中期的住機能支障（世帯）〔避難先別あるいは住宅再建方法別〕													住機能支障なし
		し 自 居 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 従 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 入	親 族 、 知 人 宅	勤 務 先 の 提 供 す る 施 設	民 間 賃 貸	借 上 げ 型 応 急 住 宅	応 急 仮 設 住 宅	公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他	合 計	
北勢	桑名市	10,443	3,734	1,157	893	2,716	1,322	987	785	1,953	41	595	471	25,097	26,364
	いなべ市	1,161	187	53	41	129	64	84	27	55	1	27	28	1,857	14,097
	木曽岬町	331	536	160	109	241	63	79	119	303	6	75	56	2,079	168
	東員町	968	194	55	39	114	44	67	32	67	1	27	27	1,638	6,925
	四日市市	16,619	8,362	2,665	2,095	6,430	3,448	2,435	2,417	4,975	106	1,454	1,046	52,053	67,808
	菰野町	1,186	203	58	44	137	67	89	31	64	1	29	30	1,940	11,605
	朝日町	619	164	50	39	123	59	44	30	75	2	25	22	1,252	2,134
	川越町	1,691	613	201	175	616	390	248	159	387	8	120	82	4,689	907
	鈴鹿市	14,049	3,456	1,069	886	3,064	1,710	1,177	769	1,585	34	581	470	28,849	46,941
	亀山市	2,232	485	141	117	372	229	280	100	202	4	80	68	4,309	14,889
	（小計）	49,298	17,935	5,610	4,438	13,942	7,396	5,489	4,470	9,665	205	3,014	2,299	123,762	191,839
中勢	津市	21,770	9,411	2,957	2,301	7,032	3,619	2,626	2,538	5,241	112	1,578	1,180	60,364	52,488
	松阪市	9,961	7,070	2,239	1,696	4,805	2,346	1,757	1,772	4,396	91	1,175	840	38,147	25,362
	多気町	904	486	138	90	210	45	116	110	231	5	66	56	2,456	2,803
	明和町	1,445	1,023	307	210	495	139	159	213	539	11	142	113	4,797	2,606
	大台町	693	294	88	61	150	42	47	55	140	3	40	35	1,649	2,247
		（小計）	34,773	18,285	5,729	4,358	12,691	6,190	4,705	4,688	10,547	222	3,001	2,224	107,413
伊賀	伊賀市	3,368	682	197	159	505	296	368	129	263	6	109	96	6,178	28,690
	名張市	1,894	305	86	66	208	101	134	43	90	2	43	46	3,018	26,427
		（小計）	5,261	988	283	225	714	397	502	172	352	8	152	142	9,196
伊勢志摩	伊勢市	5,591	9,245	2,891	2,085	5,272	2,197	1,865	2,355	5,881	122	1,464	1,024	39,993	9,294
	鳥羽市	1,524	1,162	355	253	641	238	219	262	658	14	173	131	5,631	2,418
	志摩市	3,087	3,530	1,067	737	1,726	534	576	794	2,006	42	507	381	14,988	5,533
	玉城町	787	662	201	141	343	115	115	147	370	8	96	73	3,058	1,998
	南伊勢町	728	1,435	424	281	585	111	186	309	787	17	193	146	5,201	717
	大紀町	673	497	148	99	223	50	69	100	256	5	67	54	2,242	1,655
	度会町	432	296	87	58	129	26	39	58	149	3	39	32	1,350	1,250
		（小計）	12,821	16,827	5,173	3,654	8,919	3,271	3,071	4,026	10,108	211	2,540	1,842	72,462
東紀州	尾鷲市	1,168	1,787	555	397	992	396	348	445	1,113	23	278	197	7,701	1,448
	紀北町	827	1,711	522	362	843	278	287	408	1,028	21	253	181	6,722	1,150
	熊野市	1,789	958	295	216	586	244	204	211	528	11	146	113	5,300	3,643
	御浜町	707	475	143	100	242	76	79	100	254	5	67	53	2,303	1,690
	紀宝町	872	266	81	59	170	68	57	48	122	3	39	34	1,819	3,300
	（小計）	5,365	5,196	1,595	1,134	2,833	1,063	977	1,213	3,044	63	783	579	23,845	11,231
	県計	107,518	59,231	18,390	13,809	39,099	18,317	14,744	14,568	33,717	709	9,489	7,086	336,678	366,559

注：借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の需要数は、当該市町内の供給可能数よりも多くなっている場合がある。この場合は、従前居住市町外への県内移動が前提となっている。

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表 IV-5.11 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（市町単位）を考慮した場合】
 （（イ）理論上最大クラスの南海トラフ地震）

パターンE

地域区分	市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]												合計	住機能支障なし
		し 自宅を 居 住宅 を 応急 修 修理	新 従 築 前 場 所 で 自 宅	仮 従 設 前 場 所 で 自 力	築 別 の 場 所 に 新 入	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 予	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他		
北勢	桑名市	9,748	3,703	1,162	894	2,619	1,272	827	817	2,758	253	583	461	25,097	26,364
	いなべ市	1,091	180	50	38	120	57	77	105	82	4	26	27	1,857	14,097
	木曾岬町	313	568	182	131	272	78	0	0	404	0	75	56	2,079	168
	東員町	912	189	54	38	108	40	67	69	107	1	26	26	1,638	6,925
	四日市市	15,362	8,157	2,518	1,965	5,626	3,090	3,461	3,419	5,909	85	1,431	1,029	52,053	67,808
	菟野町	1,114	195	55	41	127	60	82	118	89	0	28	29	1,940	11,605
	朝日町	582	168	56	44	137	62	0	0	158	0	25	21	1,252	2,134
	川越町	1,572	638	225	191	708	421	0	0	737	0	117	80	4,689	907
	鈴鹿市	13,004	3,331	999	815	2,579	1,515	1,592	1,573	2,404	20	562	456	28,849	46,941
	亀山市	2,079	466	134	109	342	207	257	320	247	3	77	66	4,309	14,889
	(小計)	45,778	17,596	5,435	4,268	12,638	6,803	6,362	6,422	12,895	366	2,949	2,250	123,762	191,839
中勢	津市	20,200	9,208	2,835	2,185	6,301	3,286	3,403	3,362	6,759	116	1,549	1,158	60,364	52,488
	松阪市	9,334	7,419	2,505	1,926	5,440	2,642	190	188	6,489	20	1,163	831	38,147	25,362
	多気町	855	475	132	87	202	42	114	231	195	3	65	55	2,456	2,803
	明和町	1,366	1,062	337	242	535	156	45	45	755	0	141	112	4,797	2,606
	大台町	656	305	98	72	164	47	0	0	213	19	40	34	1,649	2,247
		(小計)	32,411	18,470	5,908	4,513	12,643	6,173	3,752	3,826	14,411	158	2,958	2,190	107,413
伊賀	伊賀市	3,145	656	187	150	466	267	338	373	334	65	104	93	6,178	28,690
	名張市	1,780	293	82	62	193	91	123	149	132	28	42	44	3,018	26,427
		(小計)	4,925	949	270	212	659	358	461	521	466	93	146	137	9,196
伊勢志摩	伊勢市	5,242	9,579	3,110	2,290	5,678	2,415	943	931	7,317	12	1,458	1,019	39,993	9,294
	鳥羽市	1,431	1,176	366	264	647	241	182	180	837	4	172	130	5,631	2,418
	志摩市	2,907	3,578	1,098	772	1,745	544	517	511	2,400	33	505	378	14,988	5,533
	玉城町	743	698	228	167	387	135	0	0	529	2	96	73	3,058	1,998
	南伊勢町	689	1,511	474	336	644	138	25	25	1,006	16	192	145	5,201	717
	大紀町	637	522	166	120	246	60	0	0	355	16	66	54	2,242	1,655
	度会町	409	310	99	71	143	31	0	0	215	0	39	32	1,350	1,250
		(小計)	12,059	17,374	5,542	4,019	9,490	3,565	1,666	1,646	12,660	83	2,528	1,830	72,462
東紀州	尾鷲市	1,097	1,856	601	441	1,076	441	153	151	1,406	5	277	196	7,701	1,448
	紀北町	779	1,783	569	409	918	317	116	114	1,284	0	252	181	6,722	1,150
	熊野市	1,677	964	302	222	584	242	170	167	714	2	144	111	5,300	3,643
	御浜町	668	499	162	119	271	88	0	0	373	2	67	53	2,303	1,690
	紀宝町	823	274	90	69	188	73	0	0	231	0	38	33	1,819	3,300
		(小計)	5,045	5,376	1,724	1,260	3,038	1,161	438	433	4,009	9	778	574	23,845
	県計	100,218	59,764	18,879	14,272	38,468	18,059	12,680	12,849	44,441	709	9,358	6,981	336,678	366,559

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

表 IV-5.12 発災後約1ヶ月～約2年における中期的住機能支障（世帯）
 【自宅建物が半壊の場合、応急仮設住宅（借上げ型含む）及び公営住宅一時入居の割合を0としたケース】
 【借上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限（市町単位）を考慮した場合】
 （（イ）理論上最大クラスの南海トラフ地震）

パターンF

地域区分	市町名	中期的住機能支障(世帯)[避難先別あるいは住宅再建方法別]												合計	住機能支障なし
		し 自 宅 を 応 急 修 理	新 従 前 場 所 で 自 宅	仮 設 前 場 所 で 自 力	別 の 購 入 所 に 新	親 族 、 知 人 宅	る 勤 務 先 の 提 供 す	民 間 賃 貸	宅 借 上 げ 型 応 急 住	応 急 仮 設 住 宅	用 公 営 住 宅 一 時 使	避 難 所	そ の 他		
北勢	桑名市	10,434	3,726	1,161	897	2,705	1,340	827	817	1,870	253	595	471	25,097	26,364
	いなべ市	1,161	186	52	40	127	64	84	43	41	4	27	28	1,857	14,097
	木曽岬町	332	569	183	132	274	78	0	0	381	0	75	56	2,079	168
	東員町	967	193	54	39	112	44	67	56	50	1	27	27	1,638	6,925
	四日市市	16,528	8,235	2,526	1,985	5,779	3,276	3,461	3,419	4,257	85	1,454	1,046	52,053	67,808
	菟野町	1,186	202	57	43	135	67	89	54	47	0	29	30	1,940	11,605
	朝日町	622	171	56	45	143	65	0	0	103	0	25	22	1,252	2,134
	川越町	1,707	650	227	196	738	434	0	0	534	0	120	82	4,689	907
	鈴鹿市	13,960	3,395	993	823	2,615	1,638	1,592	1,573	1,190	20	581	470	28,849	46,941
	亀山市	2,231	481	138	114	364	228	280	170	151	3	80	68	4,309	14,889
(小計)	49,128	17,809	5,447	4,314	12,993	7,234	6,399	6,133	8,625	366	3,014	2,299	123,762	191,839	
中勢	津市	21,683	9,307	2,845	2,213	6,492	3,500	3,403	3,362	4,685	116	1,578	1,180	60,364	52,488
	松阪市	10,017	7,471	2,512	1,942	5,557	2,687	190	188	5,546	20	1,175	840	38,147	25,362
	多気町	903	479	133	88	205	44	116	193	169	3	66	56	2,456	2,803
	明和町	1,447	1,067	338	242	543	158	45	45	655	0	142	113	4,797	2,606
	大台町	695	308	99	72	168	49	0	0	165	19	40	35	1,649	2,247
(小計)	34,745	18,633	5,927	4,558	12,965	6,438	3,755	3,788	11,220	158	3,001	2,224	107,413	85,506	
伊賀	伊賀市	3,367	677	193	156	495	295	368	160	196	65	109	96	6,178	28,690
	名張市	1,893	303	85	65	206	101	134	48	66	28	43	46	3,018	26,427
	(小計)	5,260	980	277	221	701	397	502	208	262	93	152	142	9,196	55,117
伊勢志摩	伊勢市	5,603	9,599	3,112	2,294	5,729	2,439	943	931	6,842	12	1,464	1,024	39,993	9,294
	鳥羽市	1,524	1,180	367	264	657	247	182	180	721	4	173	131	5,631	2,418
	志摩市	3,086	3,586	1,098	771	1,761	553	517	511	2,183	33	507	381	14,988	5,533
	玉城町	790	702	228	168	393	137	0	0	469	2	96	73	3,058	1,998
	南伊勢町	728	1,513	475	336	647	138	25	25	960	16	193	146	5,201	717
	大紀町	674	524	167	120	249	61	0	0	311	16	67	54	2,242	1,655
	度会町	432	312	99	71	144	32	0	0	187	0	39	32	1,350	1,250
	(小計)	12,837	17,416	5,546	4,025	9,580	3,607	1,666	1,646	11,674	83	2,540	1,842	72,462	22,866
東紀州	尾鷲市	1,171	1,861	602	442	1,087	445	153	151	1,309	5	278	197	7,701	1,448
	紀北町	829	1,786	569	410	924	319	116	114	1,221	0	253	181	6,722	1,150
	熊野市	1,789	969	302	223	597	251	170	167	572	2	146	113	5,300	3,643
	御浜町	710	502	162	119	276	89	0	0	321	2	67	53	2,303	1,690
	紀宝町	876	278	91	70	195	76	0	0	162	0	39	34	1,819	3,300
	(小計)	5,374	5,396	1,727	1,264	3,078	1,180	438	433	3,585	9	783	579	23,845	11,231
県計	107,344	60,235	18,924	14,382	39,317	18,856	12,761	12,208	35,367	709	9,489	7,086	336,678	366,559	

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

2 長期的住機能支障（発災後約2年～数年以降の恒久的住宅）

発災後約2年～数年以降における長期的住機能支障は次の区分により想定する。

○パターン

		住宅の被災状況	
		全壊・半壊いずれでも希望どおり	半壊の場合、応急仮設住宅（借上げ型含む）及び公営住宅一時入居を不可とする
既存住宅☆ の空き家 数の考慮	考慮しない	パターンA	—
	全県単位で考慮	—	—
	市町単位で考慮	—	—

☆ 借上げ型応急住宅数、民間賃貸住宅の空き家数は平成20年住宅・土地統計調査に基づき設定
公営住宅の提供可能戸数は平成26年1月22日時点

表 IV-5.13 発災後約2年～数年以降における長期的住機能支障（世帯）【潜在的需要】
（ア）過去最大クラスの南海トラフ地震）

パターンA

地域区分	市町名	長期的住機能支障(世帯)〔避難先別あるいは住宅再建方法別〕										合計	住機能支障なし
		補修し居住	新築 従前 場所で 自宅	築別 ・ 購入 所に 新	民間 賃貸	親 族、 知 人宅	公営住宅			その他			
							全壊	うち年収 400万円未 満	半壊				
北勢	桑名市	7,233	3,208	1,234	2,013	847	1,980	996	518	984	382	16,896	34,565
	いなべ市	73	16	6	10	4	11	2	1	9	2	123	15,831
	木曽岬町	397	704	201	206	121	314	272	140	42	55	1,998	249
	東員町	119	35	12	15	8	20	7	2	13	4	213	8,350
	四日市市	7,579	2,066	961	1,886	714	1,575	434	245	1,141	320	15,101	104,760
	菰野町	93	21	8	13	6	14	3	1	11	3	158	13,387
	朝日町	230	65	27	45	19	43	13	7	30	9	437	2,949
	川越町	1,666	642	323	691	244	522	226	113	296	99	4,188	1,408
	鈴鹿市	3,835	870	419	835	315	691	123	66	568	144	7,109	68,681
	亀山市	266	62	29	56	21	48	9	5	38	10	492	18,706
	(小計)	21,491	7,690	3,219	5,770	2,299	5,217	2,085	1,098	3,132	1,028	46,714	268,887
中勢	津市	13,207	3,573	1,596	2,994	1,167	2,612	713	466	1,899	534	25,682	87,170
	松阪市	7,337	2,500	1,046	1,859	744	1,695	656	465	1,040	336	15,517	47,992
	多気町	340	95	30	32	19	49	15	10	34	11	575	4,684
	明和町	1,054	590	181	203	112	288	176	113	112	55	2,483	4,920
	大台町	341	105	35	40	22	56	20	14	36	12	610	3,286
		(小計)	22,277	6,863	2,888	5,128	2,063	4,700	1,580	1,069	3,120	948	44,868
伊賀	伊賀市	238	62	27	48	19	44	11	8	33	9	447	34,421
	名張市	143	32	13	19	9	21	4	2	17	4	240	29,205
		(小計)	381	94	39	67	28	64	15	10	50	14	687
伊勢志摩	伊勢市	10,677	6,109	2,189	3,289	1,457	3,487	2,094	1,384	1,393	656	27,864	21,423
	鳥羽市	1,192	935	304	395	194	480	337	270	143	88	3,588	4,461
	志摩市	3,180	2,535	782	917	487	1,236	880	788	356	228	9,364	11,157
	玉城町	482	193	65	86	42	105	50	38	55	21	994	4,062
	南伊勢町	864	1,456	396	354	233	621	536	536	85	109	4,033	1,885
	大紀町	413	376	107	102	64	168	127	97	42	31	1,262	2,635
	度会町	250	96	29	28	17	46	22	17	24	9	477	2,123
		(小計)	17,057	11,700	3,871	5,172	2,495	6,144	4,045	3,130	2,099	1,142	47,582
東紀州	尾鷲市	940	1,462	473	631	300	741	621	589	120	129	4,677	4,472
	紀北町	1,185	1,758	536	637	332	840	702	664	138	147	5,434	2,438
	熊野市	1,135	561	199	290	132	318	175	175	143	61	2,694	6,249
	御浜町	586	371	116	137	73	184	119	119	65	35	1,501	2,492
	紀宝町	601	293	99	135	65	159	88	88	71	31	1,382	3,737
		(小計)	4,447	4,445	1,423	1,828	901	2,242	1,705	1,634	536	403	15,688
	県計	65,653	30,792	11,440	17,966	7,786	18,368	9,431	6,940	8,937	3,535	155,539	547,698

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

V-2. 一般廃棄物（生活ごみ）

表 V-2.1 一般廃棄物の排出量予測 [t/月]

地域区分	市町名	発災～3ヶ月後		3ヶ月後～半年		半年～1年後		発災後1年間計		
		家庭ごみ	粗大ごみ	家庭ごみ	粗大ごみ	家庭ごみ	粗大ごみ	家庭ごみ	粗大ごみ	計
北勢	桑名市	約 3,700	約 1,000	約 3,600	約 500	約 3,600	約 400	約 44,000	約 6,700	約 50,000
	いなべ市	約 800	約 600	約 800	約 300	約 800	約 200	約 9,700	約 4,100	約 14,000
	木曽岬町	約 100	約 40	約 100	約 20	約 100	約 10	約 1,500	約 300	約 1,700
	東員町	約 400	約 500	約 400	約 200	約 400	約 200	約 5,100	約 3,300	約 8,300
	四日市市	約 6,900	約 4,400	約 6,800	約 2,000	約 6,800	約 1,600	約 82,000	約 29,000	約 111,000
	菟野町	約 1,000	約 100	約 1,000	約 50	約 1,000	約 40	約 12,000	約 700	約 12,000
	朝日町	約 100	約 100	約 100	約 50	約 100	約 40	約 1,600	約 700	約 2,400
	川越町	約 200	約 200	約 200	約 70	約 200	約 60	約 2,400	約 1,000	約 3,500
	鈴鹿市	約 4,800	約 1,800	約 4,700	約 800	約 4,700	約 600	約 57,000	約 12,000	約 69,000
	亀山市	約 1,300	約 500	約 1,300	約 200	約 1,300	約 200	約 16,000	約 3,200	約 19,000
(小計)	約 19,000	約 9,300	約 19,000	約 4,300	約 19,000	約 3,300	約 231,000	約 60,000	約 291,000	
中勢	津市	約 7,400	約 2,200	約 7,300	約 1,000	約 7,300	約 800	約 88,000	約 14,000	約 102,000
	松阪市	約 4,300	約 1,400	約 4,200	約 600	約 4,200	約 500	約 51,000	約 9,000	約 60,000
	多気町	約 300	約 200	約 300	約 70	約 300	約 60	約 3,300	約 1,000	約 4,400
	明和町	約 500	約 100	約 500	約 60	約 500	約 50	約 6,500	約 900	約 7,400
	大台町	約 200	約 100	約 200	約 70	約 200	約 50	約 2,800	約 900	約 3,700
	(小計)	約 13,000	約 4,000	約 13,000	約 1,900	約 13,000	約 1,400	約 151,000	約 26,000	約 177,000
伊賀	伊賀市	約 2,000	約 500	約 2,000	約 200	約 2,000	約 200	約 24,000	約 3,200	約 27,000
	名張市	約 1,500	約 900	約 1,500	約 400	約 1,500	約 300	約 18,000	約 5,600	約 24,000
	(小計)	約 3,500	約 1,300	約 3,500	約 600	約 3,500	約 500	約 42,000	約 8,700	約 51,000
伊勢志摩	伊勢市	約 3,900	約 800	約 3,900	約 400	約 3,900	約 300	約 46,000	約 5,100	約 51,000
	鳥羽市	約 800	約 400	約 800	約 200	約 800	約 100	約 9,300	約 2,300	約 12,000
	志摩市	約 1,600	約 700	約 1,500	約 300	約 1,500	約 300	約 18,000	約 4,700	約 23,000
	玉城町	約 400	約 70	約 300	約 30	約 300	約 20	約 4,200	約 400	約 4,600
	南伊勢町	約 400	約 100	約 400	約 50	約 400	約 40	約 4,300	約 700	約 5,000
	大紀町	約 200	約 50	約 200	約 20	約 200	約 20	約 2,500	約 300	約 2,800
	度会町	約 200	約 20	約 200	約 10	約 200	約 10	約 2,300	約 100	約 2,400
	(小計)	約 7,300	約 2,100	約 7,300	約 1,000	約 7,300	約 700	約 87,000	約 14,000	約 101,000
東紀州	尾鷲市	約 700	約 70	約 700	約 30	約 700	約 20	約 8,000	約 400	約 8,400
	紀北町	約 600	約 500	約 600	約 300	約 600	約 200	約 7,300	約 3,500	約 11,000
	熊野市	約 500	約 200	約 500	約 80	約 500	約 60	約 6,500	約 1,100	約 7,700
	御浜町	約 200	約 50	約 200	約 20	約 200	約 20	約 2,500	約 300	約 2,800
	紀宝町	約 300	約 100	約 300	約 50	約 300	約 40	約 3,100	約 700	約 3,800
	(小計)	約 2,300	約 900	約 2,300	約 400	約 2,300	約 300	約 27,000	約 6,100	約 33,000
県計	約 45,000	約 18,000	約 45,000	約 8,200	約 45,000	約 6,200	約 538,000	約 115,000	約 653,000	

VI 経済被害に係る想定結果

VI-1. 直接的経済被害

表 VI-1.1 直接的経済被害額

被害項目		資産等の被害（兆円）	
		三重県 南海トラフ （過去最大）	三重県 南海トラフ （理論上最大）
民間	住宅	3.94	10.16
	オフィスビル等	1.78	3.86
	家財	1.55	3.97
	その他償却資産	0.38	0.84
	在庫資産	0.24	0.51
ライフ ライン	上水道	0.03	0.03
	下水道	0.11	0.33
	電力	0.10	0.10
	通信	0.16	0.16
	都市ガス	0.00	0.03
交通	道路	0.25	0.37
	鉄道	0.09	0.12
	港湾	0.06	0.13
漁港		0.14	0.15
養殖魚介類		0.01	0.01
農地		0.16	0.18
その他公共土木		0.09	0.18
計		9.08	21.13

VI－2. 間接的経済被害

表 VI－2.1 間接的経済被害額

産業種別	生産・サービス低下による影響（兆円）	
	三重県 （過去最大）	三重県 （理論上最大）
農林水産業	0.09	0.15
鉱業	0.02	0.04
製造業	0.74	2.27
建設	0.14	0.33
公益事業（電気・ガス・水道）	0.11	0.28
商業	0.10	0.30
金融・保険・不動産	0.37	0.89
運輸	0.10	0.29
情報通信	0.09	0.24
公務等	0.05	0.12
サービス	0.26	0.61
その他	0.06	0.15
計	2.12	5.67

VII その他被害に係る想定結果

VII-1. 孤立集落の発生可能性

表 VII-1.1 孤立する可能性の高い集落数

地域区分	市町名	過去最大クラス	理論上最大クラス (地震動:陸側ケース、津波:ケース⑦)
北勢	桑名市	0	0
	いなべ市	0	0
	木曾岬町	0	0
	東員町	0	0
	四日市市	0	0
	菰野町	0	0
	朝日町	0	0
	川越町	0	0
	鈴鹿市	0	0
	亀山市	0	0
	(小計)	0	0
	中勢	津市	0
松阪市		0	4
多気町		0	2
明和町		0	0
大台町		0	3
(小計)		0	21
伊賀	伊賀市	0	1
	名張市	0	0
	(小計)	0	1
伊勢志摩	伊勢市	3	3
	鳥羽市	17	17
	志摩市	13	14
	玉城町	0	0
	南伊勢町	27	32
	大紀町	1	1
	度会町	2	7
	(小計)	63	74
東紀州	尾鷲市	13	16
	紀北町	30	38
	熊野市	9	30
	御浜町	10	19
	紀宝町	2	3
	(小計)	64	106
県計		127	202

※調査対象となっている集落は、農林業センサスにおける農業集落のうち地勢「平野」、形態「密居」を除いた農業集落と、漁業センサスにおける漁業集落である(対象となる三重県内の集落数は、農業集落で437、漁業集落で174)。

※このうち孤立可能性のある集落数(三重県内は農業集落315、漁業集落85)は、平成21年5月14日～8月31日に実施された「中山間地等の集落散在地域における孤立集落発生の可能性に関する状況フォローアップ調査」(内閣府)によるものであり、さらに地震の震度や津波浸水の状況を加味して孤立する可能性が高い集落数を絞り込んだものである。

(参考) 孤立の定義

本調査での孤立の定義は、中山間地域、沿岸地域、島嶼部などの地区及び集落において、以下の要因等により、道路交通及び海上交通による外部からのアクセス(四輪自動車で行き来可能かどうかを目安)が途絶し、人の移動・物資の流通が困難もしくは不可能となる状態とする。

- ・地震、風水害に伴う土砂災害や液状化等による道路構造物の損傷、道路への土砂堆積
- ・地震動に伴う液状化による道路構造物の損傷
- ・津波による浸水、道路構造物の損傷、流出物の堆積
- ・地震または津波による船舶の停泊施設の被災

(「中山間地等の集落散在地域における孤立集落発生の可能性に関する状況フォローアップ調査」(内閣府)より抜粋)